Tohoku University Fact Book 2023

東北大学概要 2023



TOHOKU
UNIVERSITY

CONTENTS

〈はじめに〉
歴史的背景・東北大学学章・ロゴマーク・スクールカラー … 01
東北大学の使命・基本的な目標・学生歌・校友歌 … 02
総長挨拶 … 03
歴代総長 … 04
沿革図 … 05
ノーベル賞・文化勲章等受賞者 … 07
学内表彰 … 11

〈組　織〉
運営組織 … 13
機構図 … 14
役員・主な役職者 … 15
総長選考・監察会議 … 19
役員会 … 19
経営協議会 … 19
教育研究評議会 … 20
役員・職員数 … 21
学部 … 22
大学院 … 23
附置研究所・研究施設・組織・機構等 … 25
附属図書館 … 27
病院 … 28

〈学　生〉
学生数 … 29
入学状況 … 30
学部卒業生数・学位授与者数 … 32
卒業後の状況 … 33
産業別就職者数 … 35
学友会 … 36

〈財　務〉
2023年度収入・支出予算 … 37
研究費等受入状況 … 37
土地・建物 … 39

〈特色ある研究・教育・社会貢献活動〉
共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT） … 41
知の創出センター … 41
科学技術イノベーション創出に向けた
大学フェローシップ創設事業・
次世代研究者挑戦的研究プログラム … 41
スーパーグローバル大学創成支援 … 42
ムーンショット型研究開発事業 … 42
教育 … 43
寄附講座・寄附研究部門 … 44
共同研究講座・共同研究部門 … 44
共創研究所の設置状況 … 45
産学連携 … 46
組織的連携等 … 47
社会との連携協力 … 49

〈国際交流〉
学術交流協定締結等 … 51
研究者等交流状況 … 59
外国人留学生数 … 61
国際的な大学連合への加盟 … 65
海外拠点 … 66

〈キャンパス〉
施設所在地一覧 … 67
建物配置図 … 69

歴史的背景

東北大学は、1907年（明治40年）に東北帝国大学として創立し、当初から、専門学校、高等師範学校の卒業生にも門戸を開き、1913年（大正2年）には、当時の政府からの圧力にも屈せず、日本の大学として初めて、3名の女子の入学を許可し、「門戸開放」が本学の不動の理念であることを世に示した。

また、創立に当たって、世界の学界でトレーニングを積んだ若き俊秀が教授として集まったこともあって、研究者が独創的な研究成果を次々と生み出しながら、それを学生に対する教育にも生かすという「研究第一主義」の精神が確立された。さらに、いち早く大学発のベンチャー企業を設立して地域産業の育成を図ったり、日常生活に最も密着した法律である家族法の研究の日本の中心になるなど、世界最先端の研究成果を社会や人々の日常生活に役立てる「実学尊重」の伝統も育んできた。

2011年（平成23年）3月11日に発生した東日本大震災では、全学を挙げて本学の教育・研究機能の回復と被災地の復旧に努め、その経験と知見を生かして、東北の復興、日本の新生に向けて取り組んでいる。

東北大学学章・ロゴマーク・スクールカラー

東北大学では、公式ロゴマークを2005年（平成17年）3月に制定した。「Creativity」「Global」「Tradition」をキーコンセプトに、仙台を象徴する植物、「萩」をモチーフとし、世界に大きく広がっていく動きがデザインされている。また、公式カラーは、「紫」と「黒」の二色を採用しており、「紫」は知性と創造力を、「黒」は勤勉と実践力を表現している。

2007年（平成19年）6月には東北大学ロゴマークを学章とするとともに、「紫」をスクールカラーとした。

東北大学の使命

東北大学は、建学以来の伝統である「研究第一」と「門戸開放」の理念を掲げ、世界最高水準の研究・教育を創造する。また、研究の成果を社会が直面する諸問題の解決に役立て、指導的人材を育成することによって、平和で公正な人類社会の実現に貢献する。

大学の基本的な目標

東北大学は、開学以来の「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念及び「実学尊重」の精神を基に、数々の教育研究の成果を挙げてきた実績を踏まえ、これらの伝統、理念等を積極的に踏襲し、独創的な研究を基盤として高等教育を推進する総合大学として、以下の目標を掲げる。

1 教育目標・教育理念 ―「指導的人材の養成」

・学部教育では、豊かな教養と人間性を持ち、人間・社会や自然の事象に対して「科学する心」を持って知的探究を行うような行動力のある人材及びグローバルな視野に立ち多様な分野で専門性を発揮して指導的・中核的役割を果たす人材を養成する。

・大学院教育では、世界水準の研究を理解し、これに創造的知見を加えて新たな展開を遂行できる創造力豊かな研究者及び高度な専門的知識を持つ高度専門職業人を養成する。

2 使命 ―「研究中心大学」

・東北大学の伝統である「研究第一主義」に基づき、真理の探究等を目指す基礎科学を推進するとともに、研究中心大学として人類と社会の発展に貢献するため、研究科と研究所等が一体となって、人間・社会、自然に関する広範な分野の研究を行う。それとともに、「実学尊重」の精神を活かした新たな知識・技術・価値の創造に努め、常に世界最高水準の研究成果を創出し、広く国内外に発信する。

・知の創造・継承及び普及の拠点として、人間への深い理解と社会への広い視野・倫理観を持ち、高度な専門性を兼ね備えた行動力ある指導的人材を養成する。

3 基本方針 ―「世界と地域に開かれた世界リーディング・ユニバーシティ」

・人類社会の様々な課題に挑戦し、人類社会の発展に貢献する「世界リーディング・ユニバーシティ」（世界三十傑大学）であることを目指す。

・世界と地域に開かれた大学として、自由と人権を尊重し、社会と文化の繁栄に貢献するため、「門戸開放」の理念に基づいて、国内外から、国籍、人種、性別、宗教等を問わず、豊かな資質を持つ学生と教育研究上の優れた能力や実績を持つ教員を迎え入れる。それとともに、産業界はもとより、広く社会と地域との連携研究、研究成果の社会への還元や有益な提言等の社会貢献を積極的に行う。

・市民の知的関心を受け止め、支え、育んでいける教育研究活動を積極的に推進するとともに、市民が学術文化に触れつつ憩える環境に配慮したキャンパスづくりを行う。

学生歌・校友歌

半世紀以上に渡って親しまれてきた「青葉もゆるこのみちのく」を、2007年（平成19年）の創立百周年を機に正式に学生歌として制定した。また、2013年（平成25年）には「緑の丘」を卒業生、在校生、教職員、そして東北大学を支えるすべての関係者のための歌である校友歌とし、今後、この2曲を大切に歌い継いでいくこととした。

総長挨拶



はじめに

東北大学は、1907 年に東京、京都に次ぐ第三の国立大学として、「杜の都」仙台の地に創設されて以来、多くの指導的人材を輩出するとともに、独創的かつ世界的な研究成果をあげてきました。創設当初より民間や自治体からの多大な期待と支援を受けて発展してきたことから、本学は長年にわたり「社会とともにある大学」をアイデンティティとして、その歴史を築いてきました。

現在、10 の学部と 15 の大学院、3 の専門職大学院、6 の附置研究所、病院、附属図書館に加え、教育研究に携わる多くの機構やセンターを擁し、日本を代表する総合研究大学として成長を続けています。

東北大学の３つの理念

本学は創立以来、「研究第一」「門戸開放」「実学尊重」の理念を掲げ、社会を先導する人材の育成と新たな価値の創造に取り組んできました。

「研究第一」の源流は東北大学の創設期に遡ります。初代総長・澤柳政太郎は、最初の入学宣誓式において「我東北大学はこの点（研究）に於いては（世界の）何れの大学にも退けを取らざる覚悟なり」と述べ、日本の大学として先駆けて国際的な「研究大学」となることを宣言しました。このことはまた、世界的に卓越した研究こそが、優れた教育や社会価値創造の原動力であり、社会からの信頼の源泉であることを意味します。イギリスの高等教育専門誌 “Times Higher Education（THE）” が発表する THE 世界大学ランキング日本版では、本学は４年連続 1 位を獲得しており、その優れた教育研究実績が外部からも高く評価されていることを表しています。

「門戸開放」は、今の言葉で言えばダイバーシティ（多様性）の尊重と推進です。本学は早くから旧制高校以外の出身者にも広くその門戸を開き、1913 年には、我が国の大学として初めて女子学生の入学を認めました。日本初の「女子大学生」がこの東北大学で誕生し、今年は「東北大学女子大生誕生 110 周年」記念事業が行われます。この時入学した 3 名の女子学生はその後、女性初の「学士」となって、女性研究者のパイオニアとしてその名を残しました。さらに、中国の文豪であり思想家の魯迅が、本学医学部の前身である仙台医学専門学校で学び、まだ外国人留学生が珍しかった時代に藤野厳九郎先生から懇切丁寧な指導を受けたことは広く知られています。出身校や性別、国籍等にとらわれず、幅広く優秀な人材を受け入れる「門戸開放」の理念は、時代を経ても決して揺るぐことはなく、昨年４月に発出した「ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン（DEI）推進宣言」へと引き継がれ、すべての構成員がダイバーシティを尊重し、かつ尊重されるよう「門戸開放」をさらに深めています。

「実学尊重」は、新たな社会価値の創造を意味します。大学における価値創造を産業へと進化させるなど社会との共創を通して、社会の発展と人々のウェルビーイングのために役立てることは、東北大学が果たしてきた重要な役割の一つです。2011 年の東日本大震災は、本学の長い歴史の中でも、そして私たちの社会全体としても決して忘れることのできない出来事です。この大震災で得た経験と教訓、さらにはその後の復興・新生の取組みにより、本学が「社会とともにある大学」であることを学生、教職員が改めて深く胸に刻むこととなりました。特に、本学が強みとする災害科学の分野では、災害や危機などを受けとめ跳ね返す力、すなわち社会のレジリエンスを一層向上させるべく、文理融合の研究や幅広い活動を行っています。今年、第３回となる世界防災フォーラムを仙台で開催し、多くの関係者とともに、レジリエントな世界の構築に向けた提言を国連防災機関（UNDRR）に提出しました。これは、2015 年に採択された「仙台防災枠組 2015 − 2030」に対し、現在行われている国連の中間評価に貢献するものです。加えて、2021 年に本学はグリーン未来創造機構を設置し、2015 年に採択された世界の三大アジェンダ、すなわち仙台防災枠組、SDGs、パリ協定の目標を見据え、多くのステークホルダーと協働してカーボンニュートラルをはじめとする新たな社会の実現に向けた取り組みを推進しています。このように、さまざまな領域が融合する「総合知」を活用した取組みは、「社会との共創」としてより良い世界の構築のために社会に貢献するという本学の「実学尊重」の理念に深く根差した活動です。

新たな価値創造に向けて

青葉山新キャンパスでは、我が国初の官民地域パートナーシップにより整備が進められてきた次世代放射光施設 NanoTerasu（ナノテラス）がいよいよ来年度、運用開始の運びとなります。同施設と連動して産学共創を展開するサイエンスパークは、ナノテラス西側の約 4 万㎡の土地を中心に整備を進めており、産学官金のチームが集う共創の場となります。本年５月に開催された G７仙台科学技術大臣会合では、本学災害科学国際研究所の視察が行われるとともに、ナノテラスを会場として本学及び Q-STAR（一般社団法人量子技術による新産業創出協議会）が公式サイドイベントを主催し、担当大臣ら各国代表の出席を得て、今後の量子技術に関する国際協力や社会実装に向けた活動について認識を共有しました。本学は、課題解決やイノベーションに正面から取り組み、社会や世界における活動を進めています。医学系の星陵キャンパスでは、日本最大規模の一般住民バイオバンクを擁する東北メディカル・メガバンク機構（ToMMO）を中心に、個別化医療等の産学共創を推進し、サイエンスパークとも連携してオープンイノベーションに取り組みます。

新しい大学の姿、価値創造のプラットフォームへ

東北大学がこれから目指すべき姿とは、これまで以上に研究・教育の卓越性を追求するとともに、従来型の高等教育機関の枠を超えた機能拡張を進めて、社会とのエンゲージメントと共創を通して価値創造を行う現代的プラットフォームへと進化していくことであると考えます。本学は、世界に変化をもたらす新たな研究大学のエコシステムに向けて、多様で多彩な才能を受け入れ伸ばしていく徹底した開放性、国際性の追求、研究者とりわけ若手研究者が躍進できる研究支援体系、スタートアップ創出や資金循環も含めたエンゲージメントの加速、研究と共創を通して社会価値を創造する人材の育成とアントレプレナーシップの浸透、そしてそれらを支える経営改革に戦略的に取り組んでいます。

最後に

東北大学が公共財として今後一層社会に貢献するためには、地域、産業界･経済界、自治体や国などの公的機関、同窓生を含めた本学関係者など、多様なセクターとアクターからのご支援、ご協力が欠かせません。本概要には本学の教育･研究活動や社会貢献、特色ある研究など、本学の最新の情報が記載されています。また、東北大学ホームページ（https://www.tohoku.ac.jp/japanese/）では、大学の最新情報を発信しています。皆様には、本学のさらなる挑戦への決意にご理解をいただき、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和５年（2023 年）８月
東北大学総長　大　野　英　男

歴代総長

歴代総長

代数	氏名	在任期間
初代	澤柳政太郎	明治44(1911)年 3月24日～ 大正 2(1913)年 5月 8日
第2代	北條時敬	大正 2(1913)年 5月 9日～ 大正 6(1917)年 8月24日
(事務取扱)	小川正孝	大正 6(1917)年 8月25日～ 大正 6(1917)年10月14日
第3代	福原鐐二郎	大正 6(1917)年10月15日～ 大正 8(1919)年 6月20日
第4代	小川正孝	大正 8(1919)年 6月21日～ 昭和 3(1928)年 6月14日
第5代	井上仁吉	昭和 3(1928)年 6月15日～ 昭和 6(1931)年 6月14日
第6代	本多光太郎	昭和 6(1931)年 6月15日～ 昭和15(1940)年 5月30日
第7代	熊谷岱蔵	昭和15(1940)年 5月31日～ 昭和21(1946)年 2月11日
第8代	佐武安太郎	昭和21(1946)年 2月12日～ 昭和24(1949)年 3月31日
第9代	高橋里美	昭和24(1949)年 4月 1日～ 昭和32(1957)年 6月30日
第10代	黒川利雄	昭和32(1957)年 7月 1日～ 昭和38(1963)年 6月30日
第11代	石津照璽	昭和38(1963)年 7月 1日～ 昭和40(1965)年10月 4日
(事務取扱)	元村勲	昭和40(1965)年10月 5日～ 昭和40(1965)年11月19日

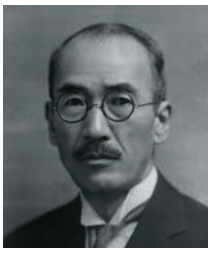
代数	氏名	在任期間
第12代	本川弘一	昭和40(1965)年11月20日～ 昭和46(1971)年 2月 2日
(事務取扱)	水野弥彦	昭和46(1971)年 2月 3日～ 昭和46(1971)年 4月30日
第13代	加藤陸奥雄	昭和46(1971)年 5月 1日～ 昭和52(1977)年 4月30日
第14代	前田四郎	昭和52(1977)年 5月 1日～ 昭和58(1983)年 4月30日
第15代	石田名香雄	昭和58(1983)年 5月 1日～ 平成 元(1989)年 4月30日
第16代	大谷茂盛	平成 元(1989)年 5月 1日～ 平成 2(1990)年 9月30日
(事務取扱)	吉永馨	平成 2(1990)年10月 1日～ 平成 2(1990)年11月 5日
第17代	西澤潤一	平成 2(1990)年11月 6日～ 平成 8(1996)年11月 5日
第18代	阿部博之	平成 8(1996)年11月 6日～ 平成14(2002)年11月 5日
第19代	吉本高志	平成14(2002)年11月 6日～ 平成18(2006)年11月 5日
第20代	井上明久	平成18(2006)年11月 6日～ 平成24(2012)年 3月31日
第21代	里見進	平成24(2012)年 4月 1日～ 平成30(2018)年 3月31日
第22代	大野英男	平成30(2018)年 4月 1日～


初代　澤柳政太郎


第2代　北條時敬


第3代　福原鐐二郎


第4代　小川正孝


第5代　井上仁吉


第6代　本多光太郎


第7代　熊谷岱蔵


第8代　佐武安太郎


第9代　高橋里美


第10代　黒川利雄


第11代　石津照璽


第12代　本川弘一


第13代　加藤陸奥雄


第14代　前田四郎


第15代　石田名香雄


第16代　大谷茂盛


第17代　西澤潤一


第18代　阿部博之


第19代　吉本高志


第20代　井上明久


第21代　里見進

沿革図

明治9(1876)年8月 札幌農学校
明治40(1907)年 **創立**
明治40(1907)年9月 農科大学
大正7(1918)年4月 分離独立·北海道帝国大学
明治40(1907)年6月 **東北帝国大学**
大正8(1919)年4月 大学令
昭和22(1947)年10月 **東北大学**
昭和24(1949)年5月 新制大学

明治44(1911)年1月 理科大学
大正8(1919)年4月 理学部

大正4(1915)年7月 医科大学
大正8(1919)年4月 医学部
明治20(1887)年8月 第二高等中学校医学部
明治34(1901)年4月 仙台医学専門学校
明治45(1912)年4月 医学専門部
大正7(1918)年4月 廃止
昭和14(1939)年5月 臨時附属医学専門部
昭和19(1944)年3月 附属医学専門部

大正8(1919)年5月 工学部
明治39(1906)年4月 仙台高等工業学校
明治45(1912)年4月 工学専門部
大正10(1921)年4月 分離独立·仙台高等工業学校
昭和19(1944)年4月 仙台工業専門学校

昭和22(1947)年4月 農学部


正門(昭和初期)


史料館(旧図書館・昭和初期)

大正11(1922)年8月 法文学部
昭和24(1949)年4月 3学部に分立

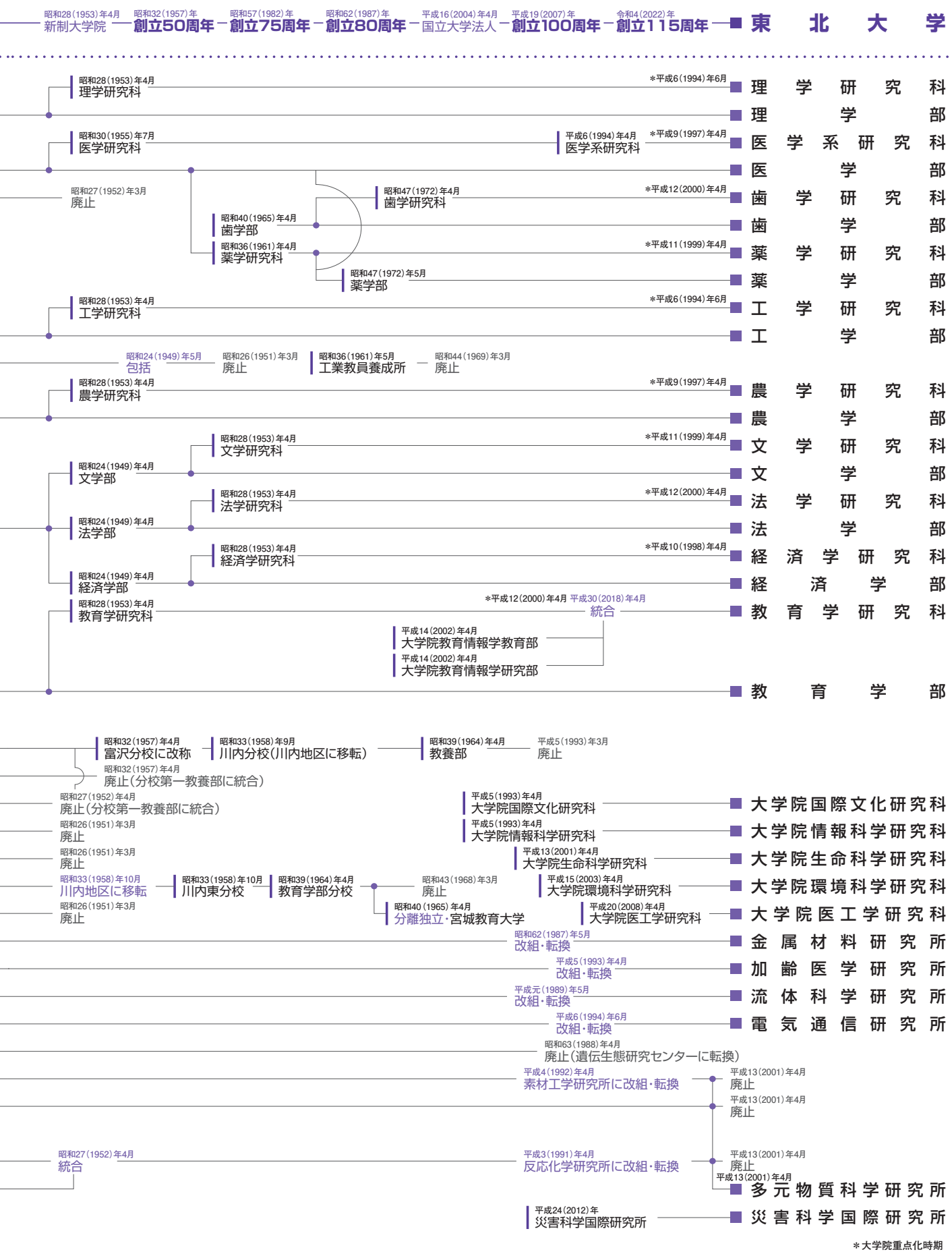
昭和24(1949)年5月 教育学部
明治20(1887)年4月 第二高等中学校
明治27(1894)年6月 第二高等学校大学予科
大正8(1919)年4月 第二高等学校
昭和24(1949)年5月 包括
昭和25(1950)年3月 廃止
昭和24(1949)年6月 分校第一教養部
昭和24(1949)年6月 分校第二教養部
昭和24(1949)年6月 分校第三教養部

大正15(1926)年4月 宮城県女子専門学校
昭和24(1949)年5月 併合
明治19(1886)年4月 宮城県尋常師範学校
明治31(1898)年4月 宮城県師範学校
昭和18(1943)年4月 宮城師範学校
昭和24(1949)年5月 包括
大正2(1913)年4月 宮城県女子師範学校
昭和24(1949)年6月 分校教育教養部
昭和32(1957)年4月 北分校に改称
昭和20(1945)年4月 宮城青年師範学校
昭和24(1949)年6月 包括


片平キャンパス 正門

大正8(1919)年5月 附属鉄鋼研究所
大正11(1922)年8月 金属材料研究所
昭和16(1941)年12月 抗酸菌病研究所
昭和18(1943)年10月 高速力学研究所
昭和10(1935)年9月 附属電気通信研究所
昭和19(1944)年1月 電気通信研究所
昭和14(1939)年8月 農学研究所
昭和16(1941)年3月 選鉱製錬研究所
昭和18(1943)年1月 科学計測研究所
昭和18(1943)年10月 航空医学研究所
昭和21(1946)年1月 廃止
昭和19(1944)年1月 非水溶液化学研究所
昭和20(1945)年1月 硝子研究所(ガラス研究所)

（2023年7月現在）



＊大学院重点化時期

ノーベル賞・文化勲章等 受賞者

（2023年7月1日現在）

ノーベル賞受賞者

受賞年	氏　名	部局（誉博…名誉博士）	受賞理由
1987年	ハンス・ハインリッヒ・ローラー	金属材料研究所（客）、誉博	走査型トンネル電子顕微鏡の開発
1999年	アハメッド・ズウェイル	ユニバーシティプロフェッサー、誉博	化学反応の超短時間解析技術の開発
2002年	田中耕一	工学部、誉博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
2007年	ピーター・グリュンベルグ	ユニバーシティプロフェッサー、金属材料研究所（客）、誉博	巨大磁気抵抗効果（GMR）の発見
2011年	ダニエル・シェヒトマン	ユニバーシティプロフェッサー	準結晶の発見

文化勲章受章者、文化功労者

文化勲章受章者　33名・文化功労者　54名

文化勲章受章	文化功労者	氏　名	部　局	主な業績
昭和12年	昭和26年	本多光太郎	金属材料研究所	鉄に関する金属物理学研究、特にKS鋼・新KS鋼の発明
昭和19年	昭和26年	岡部金治郎	工学部	分割陽極マグネトロンの発見等の極超短波に関する研究
昭和21年		宮部金吾	農科大学	植物病理学の基礎構築と北方における植物の新種発見
昭和24年	昭和26年	真島利行	理学部	漆等の天然物有機化学の研究
昭和24年	昭和26年	岡田武松	理学部（併）	気象学の先駆的研究と気象予報体制の整備
昭和25年	昭和26年	田辺元	理学部	絶対弁証法による田辺哲学体系を確立
昭和25年	昭和26年	土井晩翠	法文学部	雄渾な漢文調に思想を含めた詩風を確立
昭和27年	昭和27年	熊谷岱蔵	医学部	膵ホルモンのインシュリン発見と結核医学の研究
昭和28年	昭和27年	矢部長克	理学部	糸魚川・静岡地質構造線提唱等の地質学・古生物学研究
昭和28年	昭和27年	宇井伯寿	法文学部	近代的インド哲学研究の基礎を構築
昭和29年	昭和29年	萩原雄祐	理学部	天体力学の研究および天文台の整備充実
昭和30年	昭和30年	増本量	金属材料研究所	不銹不変鋼をはじめとする特殊合金に関する研究
昭和31年	昭和31年	村上武次郎	金属材料研究所	特殊鋼の物理冶金学的研究、村上試薬の発明
昭和31年	昭和31年	八木秀次	工学部	八木アンテナ発明等の電気工学研究
昭和32年	昭和28年	山田孝雄	法文学部	日本語文法の理論的体系化
昭和33年	昭和33年	野副鉄男	理学部	ヒノキチオールおよび関連有機化合物の研究
昭和34年	昭和34年	吉田富三	医学部	がんの発生・成長過程の研究、吉田肉腫癌の発見
昭和39年	昭和39年	茅誠司	金属材料研究所	強磁性結晶体の磁気的研究および戦後学術研究体制刷新の推進
昭和40年	昭和40年	赤堀四郎	理学部	アミノ酸等に関する生物有機化学研究
昭和43年	昭和43年	黒川利雄	医学部	がんの研究とがん集団検診の創始者
昭和46年	昭和46年	安井琢磨	経済学部	我が国の近代経済学の発展に貢献
昭和48年	昭和37年	石原謙	法文学部	キリスト教史の研究
昭和50年	昭和50年	広中平祐	理学部（併）	代数幾何学の研究、特に代数多様体の特異点解消
昭和59年	昭和54年	高橋信次	医学部	X線CTの基礎となる回転横断撮影法の開発等の放射線医学研究
昭和62年	昭和54年	桑原武夫	法文学部	人文科学百般にわたりスケール大きく行動した学者・文化人
平成元年	昭和58年	西澤潤一	電気通信研究所	トランジスタ、半導体、ダイオードおよび光通信三大要素に関する研究
平成14年	平成14年	田中耕一	工学部、誉博	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
平成19年	平成11年	中西香爾	理学部	機能性天然物有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
平成20年	平成14年	ドナルド・キーン	文学部（客）、誉博	日本文学・文化の研究および海外への紹介・解説
平成21年	昭和61年	日沼頼夫	歯学部	成人T細胞白血病のウィルス病因に関する研究
平成21年	平成15年	飯島澄男	科学計測研究所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
平成24年	平成19年	小田滋	法学部	国際法学の研究、国際司法裁判所裁判官として国際貢献に尽力
平成25年	昭和62年	岩崎俊一	電気通信研究所	高密度磁気記録等の電子工学研究
—	昭和29年	松村松年	農科大学	昆虫学全般に関する研究
—	昭和33年	高橋里美	法文学部	哲学、特に包弁証法等を通して独自の思想体系を展開
—	昭和34年	伊藤誠哉	農科大学	我が国の作物病害と菌類に関する植物病理学研究
—	昭和35年	武内義雄	法文学部	中国哲学、特に老子に関する研究
—	昭和38年	原龍三郎	非水溶液化学研究所	液体アンモニア・青化物および非水溶液化学の応用に関する応用化学研究
—	昭和40年	真島正市	理科大学	計測工学、特に高速衝撃破壊に関する研究
—	昭和45年	渡辺寧	工学部	二重帰還増幅器・仙台放電管等の電磁機器発明・電子工学の先駆的研究
—	昭和51年	坂村徹	農科大学	小麦の染色体に関する植物細胞学やカビ類の植物生理学に関する研究
—	昭和51年	沼知福三郎	高速力学研究所	機械工学、特に翼型のキャビテーション性能に関する研究
—	昭和53年	武井武	理学部	酸化金属磁性材料に関する研究、特にOP磁石の発明
—	昭和60年	金倉圓照	文学部	インド哲学、特にインド中世精神史
—	平成4年	今井勇之進	金属材料研究所	鉄鋼の熱処理加工に関する金属学研究
—	平成4年	島田謹二	法文学部	日本における外国文学の比較文学研究
—	平成12年	横堀武夫	工学部	金属材料の強度に関する研究
—	平成12年	増本健	金属材料研究所	アモルファス金属に関する基礎的および応用的研究
—	平成15年	岩田靖夫	文学部	哲学、ギリシア倫理思想、特にプラトン、ソクラテス研究
—	平成18年	伊藤英覺	高速力学研究所	曲がり管・回転管の流動における管摩擦抵抗法則の確立
—	平成19年	櫻井英樹	理学部	有機ケイ素化学を学問体系として確立
—	平成23年	遠藤章	農学部	高コレステロール血症の治療薬スタチンを開発
—	平成25年	舛岡富士雄	電気通信研究所	フラッシュメモリの発明
—	令和3年	鈴木厚人	理学部	ニュートリノに関する研究
—	令和4年	小山貞夫	法学部	法制史学界の視野の拡大

日本学士院会員

選定年月日	氏　名	部　局
大正 11年 12月 26日	本多 光太郎	金属材料研究所
大正 14年 6月 27日	藤原 松三郎	理学部
大正 14年 6月 27日	矢部 長克	理学部
大正 15年 5月 5日	真島 利行	理学部
昭和 7年 3月 2日	神津 俶祐	理学部
昭和 9年 7月 31日	掛谷 宗一	理学部
昭和 12年 3月 23日	加藤 武夫	理学部
昭和 12年 5月 8日	大類 伸	法文学部
昭和 12年 12月 1日	片山 正夫	理学部
昭和 14年 5月 27日	柴田 桂太	農科大学
昭和 17年 5月 30日	武内 義雄	法文学部
昭和 18年 12月 11日	熊谷 岱蔵	医学部
昭和 19年 7月 10日	萩原 雄祐	理学部
昭和 20年 12月 12日	宇井 伯寿	法文学部
昭和 21年 2月 8日	布施 現之助	医学部
昭和 22年 2月 5日	田辺 元	理学部
昭和 22年 6月 25日	阿部 次郎	法文学部
昭和 22年 6月 25日	窪田 忠彦	理学部
昭和 22年 7月 19日	河村 又介	法文学部
昭和 22年 10月 1日	雨宮 育作	農学研究所
昭和 24年 10月 5日	土居 光知	法文学部
昭和 25年 10月 6日	伊藤 誠哉	農科大学
昭和 25年 10月 6日	小町谷 操三	法学部
昭和 25年 10月 6日	佐武 安太郎	医学部
昭和 25年 10月 6日	高橋 里美	法文学部
昭和 25年 10月 6日	真島 正市	理科大学
昭和 25年 10月 6日	松村 松年	農科大学
昭和 25年 10月 6日	村上 武次郎	金属材料研究所
昭和 26年 10月 17日	小宮 豊隆	法文学部
昭和 26年 10月 17日	八木 秀次	工学部
昭和 28年 10月 22日	青木 正児	法文学部
昭和 28年 10月 22日	石原 謙	法文学部
昭和 28年 10月 22日	長谷部 言人	医学部
昭和 32年 3月 12日	田中 義麿	農科大学
昭和 32年 3月 12日	原 龍三郎	非水溶液化学研究所
昭和 33年 3月 12日	鮫島 実三郎	理学部
昭和 35年 4月 12日	加藤 豊治郎	医学部
昭和 35年 4月 12日	勝本 正晃	法学部
昭和 35年 4月 12日	増本 量	金属材料研究所
昭和 36年 12月 12日	茅 誠司	金属材料研究所
昭和 38年 2月 12日	金倉 圓照	文学部
昭和 39年 2月 12日	赤堀 四郎	理学部
昭和 39年 2月 12日	坂村 徹	農科大学
昭和 39年 2月 12日	田岡 良一	法文学部
昭和 39年 2月 12日	中川 善之助	法学部
昭和 40年 1月 12日	岡崎 義恵	文学部
昭和 40年 1月 12日	黒川 利雄	医学部
昭和 40年 1月 12日	吉田 富三	医学部
昭和 40年 11月 12日	沼知 福三郎	高速力学研究所
昭和 41年 11月 12日	小川 鼎三	医学部
昭和 41年 11月 12日	堀 経夫	法文学部
昭和 42年 11月 13日	木村 亀二	法学部
昭和 42年 11月 13日	清宮 四郎	法学部
昭和 43年 11月 12日	三宅 剛一	文学部
昭和 43年 11月 12日	本川 弘一	医学部
昭和 45年 11月 12日	半沢 洵	農科大学
昭和 49年 12月 12日	小竹 無二雄	理学部
昭和 49年 12月 12日	山本 義一	理学部
昭和 51年 11月 12日	広中 平祐	理学部（併）
昭和 51年 11月 12日	新明 正道	文学部
昭和 51年 11月 12日	杉 捷夫	法文学部
昭和 51年 11月 12日	高柳 真三	法学部
昭和 52年 11月 12日	岡本 耕造	医学部
昭和 52年 11月 12日	永井 健三	工学部
昭和 52年 11月 12日	野副 鐵男	理学部
昭和 52年 11月 12日	柳瀬 良幹	法学部
昭和 54年 11月 12日	今井 勇之進	金属材料研究所
昭和 54年 11月 12日	鳥山 四男	工学部
昭和 56年 12月 12日	高橋 信次	医学部
昭和 58年 12月 12日	矢島 羊吉	文学部
昭和 60年 11月 12日	加藤 愛雄	理学部
昭和 61年 12月 12日	熊谷 尚夫	経済学部
平成 元年 12月 12日	小川 環樹	法文学部
平成 4年 12月 14日	辻 廣	工学部（併）
平成 6年 12月 12日	伊藤 英覺	高速力学研究所
平成 6年 12月 12日	小田 滋	法学部
平成 7年 12月 12日	西澤 潤一	電気通信研究所
平成 8年 12月 12日	横堀 武夫	工学部
平成 9年 12月 12日	樋渡 宏一	理学部
平成 10年 12月 14日	鈴木 禄彌	法学部
平成 12年 12月 12日	樋口 陽一	法学部
平成 13年 12月 12日	源 了圓	文学部
平成 14年 12月 12日	金谷 治	文学部
平成 15年 12月 12日	岩崎 俊一	電気通信研究所
平成 18年 12月 12日	田中 耕一	工学部、誉博
平成 18年 12月 12日	井上 明久	金属材料研究所
平成 22年 12月 13日	小山 貞夫	法学部
平成 22年 12月 13日	飯島 澄男	科学計測研究所
平成 25年 12月 12日	藤田 宙靖	法学研究科
平成 29年 12月 12日	安元 健	農学部
令和 4年 12月 12日	鈴木 厚人	理学部

ノーベル賞・文化勲章等 受賞者

（2023年7月現在）

日本学士院賞受賞者

学士院賞受賞	氏　名	部　局	受賞理由
第４回 大正３年	日下部 四郎太	理科大学	岩石の力学的研究
第６回 大正５年	本多 光太郎	理科大学	鉄に関する研究
第７回 大正６年	真島 利行	理科大学	漆の主成分に関する研究
○ 第８回 大正７年	柴田 桂太	農科大学	植物界に於けるフラヴォン体の研究
○ 第９回 大正８年	石原 純	理学部	相対性原理、万有引力論及び量子論の研究
第９回 大正８年	市川 厚一	農科大学	癌腫の人工的発生研究（共同研究）
○ 第11回 大正10年	布施 現之助	医学部	脳の解剖的研究
第11回 大正10年	松本 彦七郎	理学部	蛇尾綱（クモヒトデ）の研究
第15回 大正14年	畑井 新喜司	理学部	白鼠に関する研究
△ 第15回 大正14年	曽禰 武	金属材料研究所	気体の磁気係数の測定
△ 第17回 昭和２年	村上 武次郎	金属材料研究所	特殊鋼の物理冶金学的研究
○ 第18回 昭和３年	掛谷 宗一	理学部	連立積分方程式及び之に関連せる函数論的研究
第21回 昭和６年	宇井 伯寿	法文学部	印度哲学研究（全六巻）
第21回 昭和６年	増本 量	金属材料研究所	強磁性元素及び其の合金の物理冶金学的研究
△ 第22回 昭和７年	宇田 新太郎	工学部	超短波長電波の研究
△ 第23回 昭和８年	野村 博	理学部	生薑の辛味成分の研究
第24回 昭和９年	田所 芳秋	理学部	耐火物に関する研究
第25回 昭和10年	海野 三朗	理学部	鉄炭素系合金の比熱及び其の諸相の変化に伴う熱量に関する研究
○ 第26回 昭和11年	吉田 富三	医学部	o-Amidoazotoluol の経口的投与による肝臓癌成生の実験的共同研究
△ 第26回 昭和11年	星野 敏雄	理学部	インドールの誘導体の合成的研究
第30回 昭和15年	菊田 多利男	臨時理化学研究所	鋳鉄の研究
○ 第31回 昭和16年	岡部 金治郎	工学部	磁電管に関する研究
第31回 昭和16年	尾形 輝太郎	理学部	感光色素合成に関する研究
第32回 昭和17年	茅 誠司	金属材料研究所	強磁性結晶体の磁気的研究
第33回 昭和18年	木原 玉汝	医学部	樟脳の強心作用の本態に関する研究（共同研究）
第34回 昭和19年	小竹 無二雄	理学部	蠶毒の化学的研究
第34回 昭和19年	寺尾 博	農学研究所	水稲冷害の生理学的研究
○ 第36回 昭和21年	増本 量	金属材料研究所	異常特性を有する鉄合金の研究
第37回 昭和22年	真島 正市	理科大学	高速衝撃破壊とこれに関連せる二三の現象
第40回 昭和25年	沼知 福三郎	工学部	翼型のキャビテーション性能に関する研究
第41回 昭和26年	小川 鼎三	医学部	錐体外路系に関する研究（共同研究）
第42回 昭和27年	鮫島 實三郎	理学部	膠質学に関する研究
第43回 昭和28年	金倉 圓照	文学部	印度中世精神史
第43回 昭和28年	野副 鐵男	理学部	ヒノキチオール及びその関連化合物に関する研究
第43回 昭和28年	成瀬 政男	工学部	歯車に関する研究（共同研究）
○ 第43回 昭和28年	吉田 富三	医学部	吉田肉腫の病理学的研究
第44回 昭和29年	本川 弘一	医学部	脳電図の研究
第45回 昭和30年	金倉 圓照	文学部	西蔵撰述仏典目録（共同研究）
第45回 昭和30年	山田 龍城	文学部	西蔵撰述仏典目録（共同研究）
第45回 昭和30年	羽田野 伯猷	文学部	西蔵撰述仏典目録（共同研究）
第45回 昭和30年	多田 等観	文学部	西蔵撰述仏典目録（共同研究）
第45回 昭和30年	赤堀 四郎	理学部	蛋白質を構成するアミノ酸の結合状態に関する研究
第46回 昭和31年	堀 一郎	文学部	我が国民間信仰史の研究
第47回 昭和32年	折茂 豊	法学部	国際私法の統一性
○ 第47回 昭和32年	中村 元	文学部	初期のヴェーダーンタ哲学
第49回 昭和34年	高田 修	文学部	居庸関（共同研究）
○ 第50回 昭和35年	高田 修	文学部	醍醐寺五重塔の壁画（共同研究）
○ 第50回 昭和35年	宮 次男	文学部	醍醐寺五重塔の壁画（共同研究）
第50回 昭和35年	神田 英蔵	理学部	低温度における疑縮気体の性質及び極低温における磁性の研究
第51回 昭和36年	佐藤 知雄	工学部	鉄鋼中の炭化物に関する研究
第51回 昭和36年	磯 永吉	農科大学	亜熱帯における稲の育種に関する研究
第53回 昭和38年	関口 春次郎	金属材料研究所	鋼の溶接棒ならびに炭酸ガス酸素アーク溶接法に関する研究
第57回 昭和42年	今井 勇之進	金属材料研究所	鉄鋼の熱処理加工に関する基礎研究
第58回 昭和43年	加藤 愛雄	理学部	地磁気の変化磁場の測定とその微細変動の原因に関する研究
第58回 昭和43年	神立 誠	農学研究所	反芻胃内消化に対する繊毛虫類の機能に関する生化学的研究
第59回 昭和44年	宮田 光雄	法学部	西ドイツの精神構造
第59回 昭和44年	水島 宇三郎	農学部	ジュウジバナ科アブラナ類の核遺伝学的研究

日本学士院賞受賞者

学士院賞受賞	氏　名	部　局	受賞理由
第６０回　昭和45年	山本義一	理学部	大気放射の研究
第６０回　昭和45年	広中平祐	理学部(併)	代数的多様体の研究
第６１回　昭和46年	横堀武夫	工学部	金属材料の強度に関する研究(共同研究)
第６２回　昭和47年	岡本耕造	医学部	糖尿病と高血圧症の基礎的研究
第６３回　昭和48年	西山善次	金属材料研究所	合金のマルテンサイト変態に関する研究
第６４回　昭和49年	西澤潤一	電気通信研究所	半導体及びトランジスタに関する研究
第６５回　昭和50年	北住敏夫	文学部	写生説の研究、写生派歌人の研究、写生俳句及び写生文の研究
第６５回　昭和50年	樋口陽一	法学部	近代立憲主義と現代国家
第６５回　昭和50年	伊藤英覚	高速力学研究所	管内流れ特に曲がり管内の流れに関する流体力学的研究
第６５回　昭和50年	久保田尚志	理学部	植物の苦味物質に関する研究
※ 第６７回　昭和52年	髙橋信次	医学部	X線による生体病理解剖の研究
第６７回　昭和52年	島田謹二	法文学部	日本における外国文学―比較文学研究―
第６７回　昭和52年	赤祖父俊一	理学部	磁気圏撹乱の研究
第６９回　昭和54年	佐藤武敏	法文学部	中国古代絹織物史研究
第７０回　昭和55年	亀谷哲治	薬学部	「レトロマススペクトル法」による天然物の全合成
第７１回　昭和56年	木下彰	経済学部	名子遺制の構造とその崩壊―農村における封建的労働の構造分析―
※ 第７２回　昭和57年	角谷静夫	理学部	函数解析の研究
第７３回　昭和58年	増本健	金属材料研究所	アモルファス金属テープの創製とその基礎的および応用的研究
第７７回　昭和62年	石田名香雄	医学部	センダイウィルスの発見及びその構造と機能に関する研究
第７７回　昭和62年	岩崎俊一	電気通信研究所	高密度磁気記録の研究
第７７回　昭和62年	坪井善勝	工学部	曲面構造の研究と大空間建築構造への適用
◎ 第７８回　昭和63年	沼田眞	農学研究所(併)	植物群落の構造と動態に関する研究とその応用
※ 第７９回　平成元年	日沼頼夫	歯学部	成人Ｔ細胞白血病のウイルス病因に関する研究
※ 第８０回　平成２年	中西香爾	理学部	機能性天然有機化合物の構造および生体内機能発現に関する研究
第８０回　平成２年	辻廣	工学部(併)	火災の構造および基礎的特性の研究
第８２回　平成４年	鈴木秀次	金属材料研究所	固体ヘリウムの塑性変形及び機械的性質の転位論的研究
第８３回　平成５年	山本肇	歯学部	レーザー照射による齲蝕予防その他歯科応用に関する研究
第８３回　平成５年	多田啓也	医学部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
第８３回　平成５年	菊地吾郎	医学部	高グリシン血症に関する研究(共同研究)
※ 第８４回　平成６年	櫻井英樹	理学部	有機ケイ素化学に関する研究(共同研究)
第８４回　平成６年	丸山雍成	文学部	日本近世交通史の研究
第８８回　平成10年	杉原高嶺	法学部	国際司法裁判制度
※ 第９２回　平成14年	飯島澄男	科学計測研究所	高分解能電子顕微鏡の開発とカーボンナノチューブの発見
◎ 第９２回　平成14年	栗原康	理学部	生態系解析手法の研究とその環境保全への応用
第９２回　平成14年	井上明久	金属材料研究所	過冷却金属液体の安定化とバルク金属ガラスの開拓
第９２回　平成14年	日向康吉	農学部	アブラナ科植物の自家不和合性にかかわる自他識別機構の研究(共同研究)
第９３回　平成15年	岡本宏	医学系研究科	実験糖尿病の発症とその防止に関する研究
第９３回　平成15年	遠藤實	医学部	筋細胞におけるカルシウム・イオン動員機構に関する研究
※ 第９４回　平成16年	安元健	農学部	海洋生物毒の化学とそれらの毒物の海洋生態系における動態解析
第９５回　平成17年	大野英男	電気通信研究所	半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究(共同研究)
第９６回　平成18年	鈴木厚人	理学研究科	反ニュートリノ科学の研究
第９７回　平成19年	加藤康司	工学研究科	トライボロジーに関する研究(共同研究)
第９７回　平成19年	平朝彦	理学部	プレート沈み込み帯の付加作用による日本列島形成過程の研究
※ 第９９回　平成21年	村上哲見	文学部	宋詞に関する研究
第９９回　平成21年	川人貞史	法学研究科	「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」
第100回　平成22年	大類洋	生命科学研究科	新規生物機能性分子の創製とその応用に関する研究(共同研究)
◎ 第100回　平成22年	西平守孝	生命科学研究科	沖縄を中心とした我が国のサンゴ礁の形成と保全の研究
第103回　平成25年	中沢正隆	電気通信研究所	エルビウム光ファイバ増幅器の実現とそれを用いた光通信の高度化に関する貢献
第103回　平成25年	佐藤英明	農学研究科	哺乳動物における卵子形成の制御機構に関する研究
第104回　平成26年	山本雅之	医学系研究科	生体の環境ストレス応答の分子機構の解明
第104回　平成26年	首藤伸夫	工学部	津波防災の総合的研究
第105回　平成27年	鈴木雅洲	医学部	ヒト体外受精・胚移植の確立と普及に関する研究
※ 第107回　平成29年	長谷川昭	理学研究科	沈み込み帯のテクトニクスに関する地震学的研究
第107回　平成29年	横堀壽光	工学研究科	メゾスケール力学に基づく材料の疲労および時間依存型強度学の基礎理論とその実用に関する研究
第109回　令和元年	平間正博	理学研究科	シガトキシンを始めとする複雑な構造を有する生理活性天然物の全合成研究
第111回　令和３年	内田龍男	工学研究科	液晶の物性解明と高性能液晶ディスプレイの研究
第112回　令和４年	齊藤英治	材料科学高等研究所	スピン流物理学の先駆的研究

○は恩賜賞のみ受賞
※は恩賜賞及び学士院賞両方を受賞
◎日本学士院賞エジンバラ公賞のみ受賞者
△日本学士院大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念賞のみ受賞者

学内表彰

総長特別賞受賞者

学術文化の発展に特に顕著な成果を挙げ、かつ、本学の教育研究の発展に多大な功績があった本学在職教職員を表彰するものです。

授賞年月日	氏　名	職　名　等	授　賞　理　由
平成29年　3月24日	遠藤哲郎	国際集積エレクトロニクス研究開発センター長 工学研究科教授	平成28年8月26日に「高性能不揮発性メモリとその評価・製造装置の開発、及び国際産学連携集積エレクトロニクス研究開発拠点の構築」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例を納めた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞した。
平成26年　3月26日	山本雅之	医学系研究科教授 東北メディカル・メガバンク機構長	平成26年3月12日に「生体の環境ストレス応答の分子機構の解明」を受賞題目として、「平成26年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成25年　3月27日	佐藤英明	農学研究科教授	平成25年3月12日に「哺乳動物における卵子形成の制御機構に関する研究」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成25年　3月27日	中沢正隆	電気通信研究所所長・教授	平成25年3月12日に「エルビウム光ファイバ増幅器の実現とそれを用いた光通信の高度化に関する貢献」を受賞題目として、「平成25年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成21年　9月25日	中沢正隆	電気通信研究所教授	平成21年6月20日に「エルビウム光ファイバ増幅器（EDFA）の開発とその高度化」を対象として、産学官連携活動において、優れた成功事例をおさめた研究者等に対して贈られる産学官連携功労者表彰の中で、最高権威である「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成21年　3月25日	川人貞史	法学研究科教授	平成21年3月12日に「選挙制度と政党システム」および「日本の国会制度と政党政治」を受賞題目として、「平成21年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成19年　3月27日	加藤康司	工学研究科教授	平成19年3月12日に「摩擦や磨耗、潤滑を包括するトライボロジーの研究」を受賞題目として、「平成19年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成18年　9月25日	井上明久	金属材料研究所所長・教授	平成18年6月11日に「革新的金属材料『金属ガラス』を用いた産業用小型・高性能デバイスの開発」を対象として、「内閣総理大臣賞」を受賞したため。
平成18年　7月31日	小柳光正	工学研究科教授	平成18年6月24日に「材料とデバイス科学技術又は応用への多大な貢献」を対象として、「Jun-ichi Nishizawa Medal」を日本人として初めて受賞したため。
平成18年　3月24日	鈴木厚人	副学長・理学研究科教授	平成18年3月13日に「反ニュートリノ科学の研究」を受賞題目として、「平成18年日本学士院賞」の受賞が決定したため。
平成17年11月26日	小谷元子	理学研究科教授	平成17年5月28日に「離散幾何解析学による結晶格子の研究」を対象として、自然科学の分野で優れた業績を収めた女性科学者に贈られる「第25回猿橋賞」を受賞したため。
平成17年　6月29日	大野英男	電気通信研究所教授	平成17年6月13日に「半導体ナノ構造による電子の量子制御と強磁性の研究」を対象として、「平成17年日本学士院賞」を受賞したため。

総長教育賞受賞者　令和４年度

授業やその支援と、課外活動、国際交流等における指導、教育方法及びその支援等について優れた教育上の成果を挙げた教職員を表彰するものです。

氏名・団体名	職　名　等	授　賞　理　由
中村　教博	高度教養教育・学生支援機構　教授	全学的な協力のもと進められた全学教育改革において、中核的なメンバーとして尽力した。TA 制度改革を先導するとともに、競争的資金を獲得するなど、新しい全学教育の構築に大きな貢献があった。自然科学総合実験の実施運営等、全学教育の開発と推進に関する実績も多く、全学教育全体に対する多大な貢献による。
永富　良一	医工学研究科　教授	学友会体育部長として、新型コロナウイルス感染症拡大下における体育部所属団体の活動をニューノーマル会議など多様な形でサポートし、さらに七大戦開催に向け尽力した。また、感染症蔓延以前から、体育部常任委員会の主催するイベントへの出席に加え、欠席願出届の発行など体育部の活性化に対する多大な貢献による。
日本学国際共同大学院プログラム（GPJS）		日本学国際共同大学院プログラム（GPJS）は、国際的な舞台での学生の育成に大きな成果をあげています。ことに、令和４年９月に開催した「支倉サミット」は、GPJS が本学人文社会科学系の教育・研究における国際展開の中心的存在たることを示す等の多大な貢献による。
日引　聡	経済学研究科　教授	「オープンラボ型研究教育スタイルの開発と実践」、すなわち①学生と教員が一堂に集まる環境の整備、②著名な海外研究者の招聘による大学院学生との共同研究の促進、③学内外コンテストに対する学生の応募の推進・大学院学生自身による外部研究費獲得の支援・学生による国際貢献活動の援助などを、みずからが指導する学生のみならず経済学部・経済学研究科の関心あるすべての学生を対象として実践し、国際的視野と社会的リーダーシップをそなえた学生の育成に対する多大な貢献による。
工学部・工学研究科 工学教育院国際戦略講座		国際戦略講座は平成２６年度から、激変する国際社会にあって物事を数字で読み解き国際戦略を立てる能力を持ったタフな人材の育成に取り組んできました。産学共創による独特かつ国際性のある教育の枠組を構築したことで、工学だけでなく理学・農学・経済学の学生の関心を集め、「学生自ら考える」教育は経営者から高く評価された等、多大な貢献にる。

総長賞受賞者　令和４年度

本学の教育目標にかない、かつ、学業成績が特に優秀な学生を表彰するものです。

学士

石垣　華子	文学部
根本　侑実	文学部
澤口　暉人	教育学部
山野内　晴菜	法学部
佐藤　蒔和人	法学部
東　雅貴	経済学部
千葉　喬介	経済学部
宗形　勇輝	経済学部
菅野　翼	理学部
大平　陽向	理学部
藤林　瑞季	理学部
荒井　啓太	医学部医学科
石井　佳恵	医学部医学科
清水　夏海	医学部保健学科
千葉　洵子	歯学部
清水　達斗	薬学部
三瓶　翔太	工学部
江波戸　優介	工学部
小島　蒼生	工学部
森田　雄大	工学部
髙橋　里菜	工学部
大室　和也	工学部
掛川　直樹	工学部
目黒　諒	工学部
茂澄　知宏	工学部
前川　紗佳子	農学部
菊地　渉	農学部

修士

岩下　翔太	工学研究科
小林　奎斗	工学研究科
山田　朋幸	工学研究科
山下　大輝	工学研究科
鈴木　涼太	農学研究科
五十鈴川　頼宗	情報科学研究科

専門職

萩原　毅志	法学研究科

博士

廣瀬　航也	文学研究科
西塚　孝平	教育学研究科
周　慧	経済学研究科
SONIA Mahmoudi	理学研究科
有沢　洋希	理学研究科
中村　勇貴	理学研究科
大橋　智典	理学研究科
松本　勇貴	医学系研究科
髙　勇羅	医学系研究科
佐々木　晴香	歯学研究科
李　思涵	薬学研究科
黄　莹	工学研究科
伊藤　亘輝	工学研究科
伊神　翼	工学研究科
外里　健太	工学研究科
叶　戎玲	農学研究科
呉　佩遥	国際文化研究科
高橋　昌希	情報科学研究科
中根　啓太	生命科学研究科
伊藤　健太郎	環境科学研究科
廣瀬　理美	医工学研究科

総長優秀学生賞受賞者　令和４年度

日本学術振興会育志賞受賞者を表彰するものです。

小池　太智	理学研究科

総長業務功績賞受賞者　令和４年度

職員の職務遂行意識の高揚並びに本学の業務改善及び効率化の推進を図ることを目的として、業務上特に顕著な功績があった職員を表彰するものです。
【表彰対象者】事務部門：本学の事務その他の運営に関する職務において、本学のビジョン実現、業務改善、大学改革の推進等への顕著な貢献その他の業務上特に顕著な功績があった者
技術部門：本学の研究を技術面から支援する職務において、研究成果の創出に係る顕著な貢献その他の業務上特に顕著な功績があった者

部門	氏名・団体名	職名等	授賞題目	授賞理由
事務部門	労務管理係（勤務時間管理担当）		東北大学独自のフレックスタイム制管理ツール構築による多様な働き方の推進	フレックスタイム制の導入にあたり、RPA を活用して既存の業務システムと Google Workspace とを連携させることで、業務システム改修のコストをかけずにフレックスタイム制における労働時間管理体制を構築し、フレックスタイム制の安定的な運用により「職員の多様な働き方」を推進した。
	ＤＥＩ推進事務局		全学に先駆けた DEI 推進に係る意識及び研究環境の醸成支援活動	東北大学が令和４年４月５日に発出した男女共同参画の更なる推進と多様性、公正性、包摂性を理念として掲げる「東北大学 DEI 推進宣言」の下、「工学研究科 DEI 推進プロジェクト」を立ち上げるとともに工学研究科 DEI 推進事務局を設置し、本プロジェクトの円滑な推進及び事務職員の意識啓発や教員の研究環境・支援制度の整備活動を積極的に行った。
技術部門	梅津裕生	総合技術部（理学部・理学研究科）技術一般職員	加速器原子核物理学実験に用いる特殊装置の設計・製作支援	２つの加速器施設で行われた原子核物理学実験のために、多数の検出器と機器を組み込み、移動・ドッキング機構も備えた２種類の大型装置を設計・製作・設置した。本装置開発により実験が効率的かつ安全に遂行され、その結果からプレスリリース２件、学会64件、論文19件の発表が行われ、研究結果創出に大きく貢献した。
	古内有希	総合技術部（工学部・工学研究科）技術一般職員	有機溶媒中の微量元素分析手法の開発と高感度化による技術支援	誘導結合プラズマ発光分光分析装置について、一般的に困難であった有機溶媒試料の直接測定法の開発に取り組み、装置改良や条件最適化を行うことでこれを実現した。この成果により分析可能な分野が拡大し、精度の高い効率的な分析を可能とすることで本学の研究成果の創出に大きな貢献を果たした。
	丸尾知佳子	総合技術部（工学部・工学研究科）技術専門職員	COVID－19の発生規模を推定するための下水調査法の確立	新型コロナウイルス感染者の一部はウイルス粒子を排泄物中に排出しているため、下水集水域に感染者がいた場合、下水中からウイルス遺伝子が検出される。同人の支援により、下水中から新型コロナウイルスを回収する方法が確立され、都市における新型コロナウイルス感染症の発生規模を推定することが可能となった。

東北大学藤野先生記念奨励賞受賞者

東北大学に在籍する中国からの優秀な大学院留学生であって、今後飛躍的な活躍が期待される留学生を表彰するものです。

授賞年度	氏名	部局
令和４年	李（リ） 欣晨（キン シン）	文学研究科
	田（テン） 東婷（トウ テイン）	医学系研究科

授賞年度	氏名	部局
令和４年	陳（チン） 玉潔（ギョク ケツ）	工学研究科
	叶（ヨウ） 戎玲（ジュウ リン）	農学研究科

授賞年度	氏名	部局
令和４年	薛（セツ） 意（イ）	環境科学研究科

澤柳記念賞（澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞）受賞者

「澤柳記念賞」は、男女共同参画社会をめざす活発な取り組みの一助となるよう、アカデミアにおける男女共同参画の先駆として各分野で活躍し、多大な貢献をなした方々を選考し顕彰する制度です。

	氏名・団体名	職名等	受賞部門	受賞課題名
令和３年度	大阪市立大学女性研究者支援室		本賞	南近畿圏における女性研究者支援活動の推進
	濵田真里	お茶の水女子大学ジェンダー研究所東アジアにおける政治とジェンダー研究チーム共同研究者・Stand by Women代表者	奨励賞	女性議員に対するハラスメント研究及び女性議員のサポート活動
令和２年度	宮浦千里	東京農工大学副学長（特命戦略・男女共同参画担当）女性未来育成機構長 工学研究院教授	本賞	科学技術分野の女性研究者支援と人材育成
令和元年度	相田美砂子	広島大学 理事・副学長	本賞	女性研究者の活躍促進と、大学のシステム改革の推進
	埼玉大学 みんなのトイレプロジェクト		奨励賞	埼玉大学におけるダイバーシティ環境整備としての「みんなのトイレ」プロジェクト
平成30年	九州大学研究戦略委員会		本賞	「女性枠設定による教員採用・養成システム」による先導的取組の推進とその成果
	大阪府立大学理系女子大学院生チームＩＲＩＳ		奨励賞	理系女子大学院生チーム IRIS（アイリス）による地域における理系進路支援の取り組み
平成29年	小川眞里子	三重大学 名誉教授	本賞	科学技術とジェンダー：歴史と展望の探求
	古山陽一	国際医療福祉大学 成田看護学部 助教	奨励賞	看護学分野における若手男性研究者として男性のケアワーク参画を支援する先導的活動
平成28年	名古屋大学男女共同参画室		本賞	大学における男女共同参画推進事業のモデル化による国際的拠点化
平成27年	大坪久子	日本大学薬学部・薬学研究所 上席研究員	本賞	日本の理工系女性研究者支援を牽引した先導的活動
	新大Ｗｉｔｓ（しんだいうぃっつ）		奨励賞	"新大 Wits"による出前授業活動から生まれた男女共同参画多世代キャリア教育

沢柳賞（東北大学男女共同参画奨励賞）受賞者

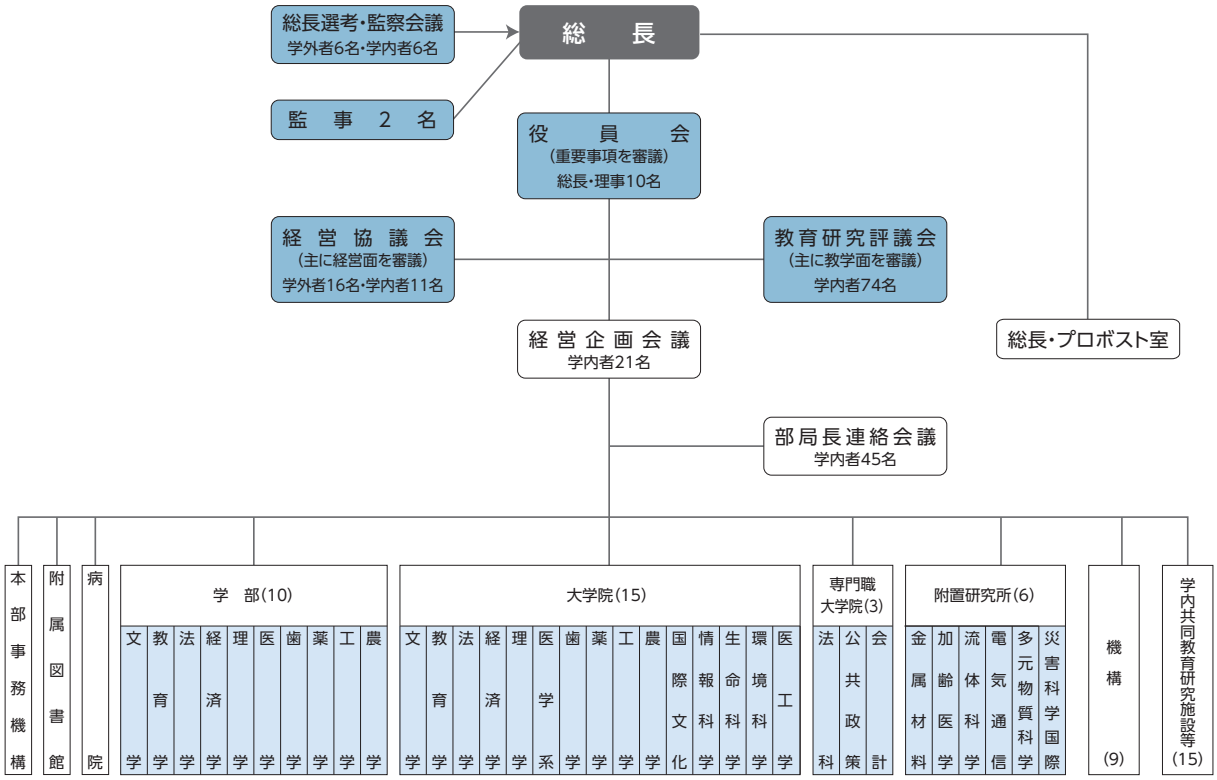
「沢柳賞」は、東北大学における男女共同参画を推進するため、男女共同参画に関連する研究や活動を行った人及び団体を表彰するものです。

授賞年度	氏名・団体名	職名等	受賞部門
平成２４年	アロナ	経済学研究科「留学生・研究者の出産・育児を支援する地域・大学協働プロジェクトチーム」代表	活動部門
平成２３年	朝倉京子	医学系研究科教授	研究部門
平成２２年	茂木洋平	法学研究科博士課程後期	研究部門
	阿部比佐久	理学研究科再雇用職員	プロジェクト部門（特別賞）
	久利美和	理学研究科助教	
	村上祐子	理学研究科准教授	
平成２１年	下夷美幸	文学研究科准教授	研究部門
	青葉理学振興会		活動部門
	女性と労働研究会		プロジェクト部門
	山崎都	病院 医員	活動部門（特別賞）
平成２０年	東北大学川内けやき保育園保護者会		活動部門
	ﾄｩﾙﾑﾝﾌ ｵﾄﾝﾄﾔ	環境科学研究科博士課程学生	プロジェクト部門（特別賞）
平成１９年	齊藤綾美	教育学研究科特別研究員	研究部門
	阿部未央	法学研究科博士課程学生	研究部門（特別賞）
	工学研究科 機械・知能系男女共同参画推進委員会同WGおよび女子学生交流会学生スタッフ		活動部門
	尾崎博美	教育学研究科博士課程学生	プロジェクト部門
	八木美保子	教育学研究科博士課程学生	
	水原克敏	教育学研究科教授	
	生田久美子	教育学研究科教授	
	ﾔﾏﾓﾄ ﾙｼｱ ｴﾐｺ	文学研究科専門研究員	プロジェクト部門（特別賞）
平成１８年	吉田浩	経済学研究科助教授	研究部門
	遠山智子	理学研究科教育研究支援者	活動部門
	鈴木美智子	理学研究科教育研究支援者	
	玉江京子	理学研究科助手	
	海老原孝枝	病院「子育てに関る女性医師の会」代表	活動部門
	橋本鉱市	教育学研究科助教授	プロジェクト部門

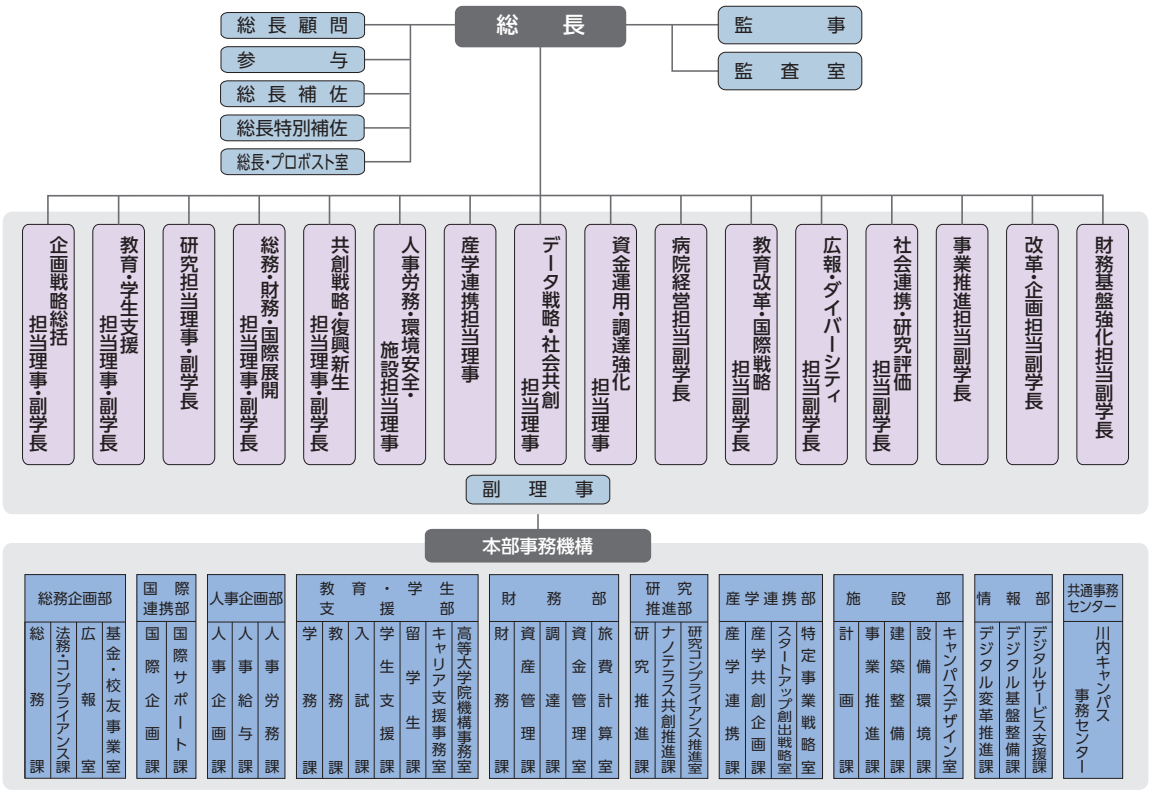
運営組織

（2023年7月1日現在）

運営組織

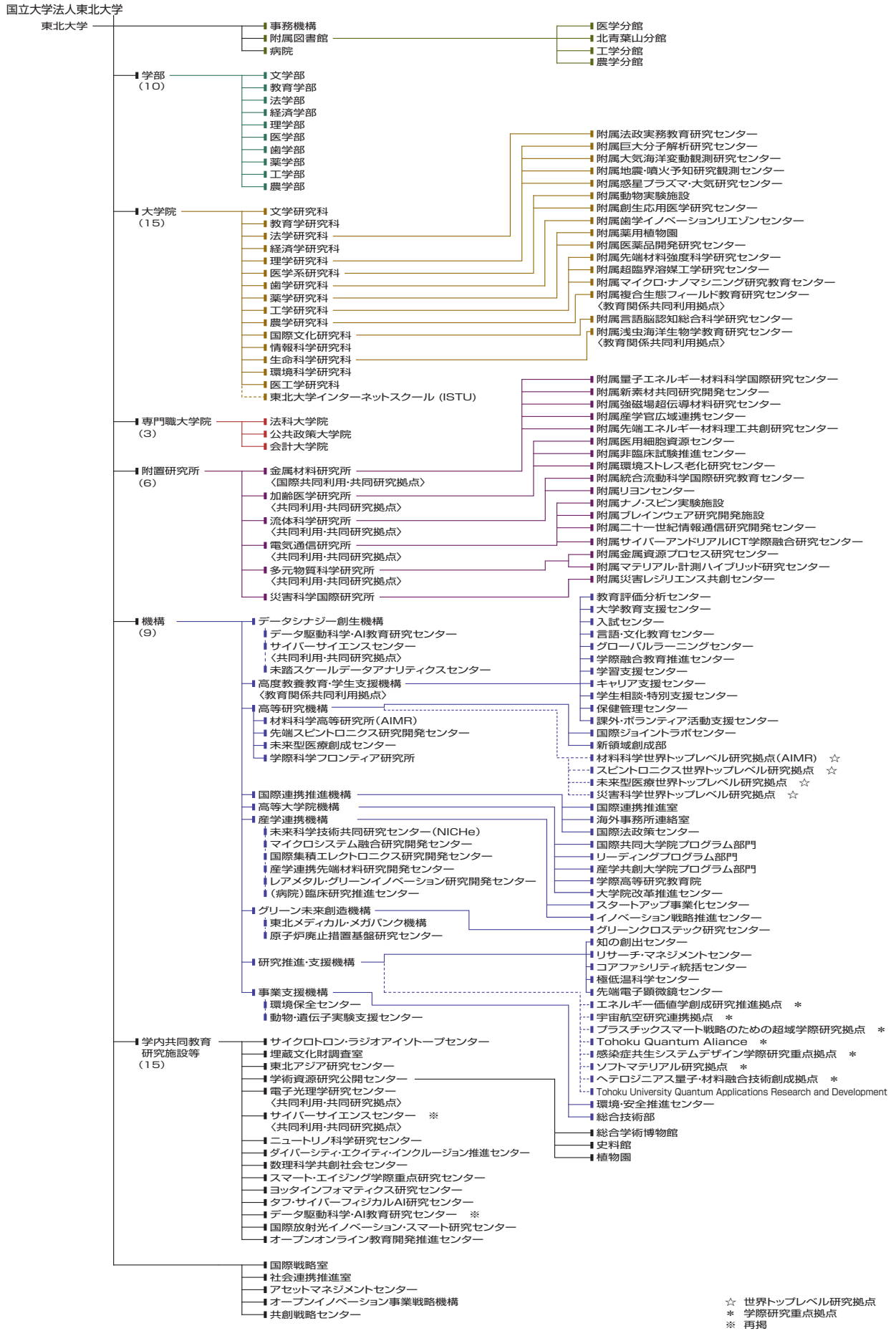


理事・副学長・副理事・本部事務機構



機構図

（2023年7月1日現在）



■ 役員・主な役職者

（2023年7月1日現在）

総　長	大野英男
理事・副学長（企画戦略総括担当）	青木孝文
理事・副学長（教育・学生支援担当）	滝澤博胤
理事・副学長（研究担当）	小谷元子
理事・副学長（総務・財務・国際展開担当）	植木俊哉
理事・副学長（共創戦略・復興新生担当）	冨永悌二
理　事（人事労務・環境安全・施設担当）	牛尾則文
理　事（産学連携担当）	植田拓郎
理　事（非常勤）（データ戦略・社会共創担当）	土井美和子
理　事（非常勤）（資金運用・調達強化担当）	宮田康弘
監　事	山田義輝
監　事（非常勤）	牛尾陽子
副学長（病院経営担当）	張替秀郎
副学長（教育改革・国際戦略担当）	山口昌弘
副学長（広報・ダイバーシティ担当）	大隅典子
副学長（社会連携・研究評価担当）	長坂徹也
副学長（事業推進担当）	村上尚久
副学長（改革・企画担当）	佐藤邦明
副学長（財務基盤強化担当）	伊豆仁志
総長補佐	戸澤英典
総長補佐	石井直人
総長補佐	伊藤彰則
総長補佐	丸田薫
総長顧問	天野平八郎
総長顧問	大山健太郎
総長顧問	鎌田宏
総長顧問	高橋宏明
参　与	磯谷桂介
参　与	遠藤信哉
参　与	小山茂典
参　与	川上伸昭
参　与	佐々木啓一
参　与	佐藤文一
参　与	髙原勇
参　与	竹中登一
参　与	早坂忠裕
参　与	原信義
参　与	福島洋
参　与	藤原洋
参　与	矢島敬雅
参　与	吉村隆
参　与	リチャード・ダッシャー

副理事（AI・データ戦略担当）	中尾光之
副理事（評価担当）	東谷篤志
副理事（入試担当）	長濱裕幸
副理事（研究担当）	寺田眞浩
副理事（研究担当）	塩入諭
副理事（研究公正担当）	佐々木孝彦
副理事（国際交流担当）	末松和子
副理事（グリーン未来担当）	湯上浩雄
副理事（復興新生担当）	今村文彦
副理事（オープンイノベーション事業戦略担当）	内田渡
副理事（産学連携担当）	杉本諭
副理事（産学連携担当）	小田喜夫
副理事（ソフトマテリアル担当）	村松淳司
副理事（男女共同参画担当）	田中真美
副理事（教育企画担当）	安藤晃
副理事（大学改革・コンプライアンス担当）	齋藤仁
総長特別補佐（大学改革担当）	成瀬幸典
総長特別補佐（大学改革担当）	中澤徹
総長特別補佐（大学改革担当）	髙村仁
総長特別補佐（大学改革担当）	越村俊一
総長特別補佐（情報基盤担当）	菅沼拓夫
総長特別補佐（情報基盤担当）	滝沢寛之
総長特別補佐（数理・データ教育担当）	尾畑伸明
総長特別補佐（学生支援担当）	中林暁生
総長特別補佐（学生支援担当）	菅原俊二
総長特別補佐（国際教育担当）	大西直文
総長特別補佐（研究担当）	中山啓子
総長特別補佐（研究担当）	高田昌樹
総長特別補佐（災害対策担当）	佐藤健
総長特別補佐（社会共創担当）	金井浩
総長特別補佐（社会共創担当）	永富良一
総長特別補佐（社会共創担当）	松八重一代
総長特別補佐（社会共創担当）	中川敦寛
総長特別補佐（復興新生担当）	渡邉豊
総長特別補佐（グリーン未来担当）	阿部敬悦
総長特別補佐（グリーン未来担当）	吉岡敏明
総長特別補佐（政策企画担当）	石山英顕
総長特別補佐（人事・業務改革担当）	藤本雅彦
総長特別補佐（知的財産担当）	蘆立順美
総長特別補佐（産学連携担当）	岡部朋永
総長特別補佐（国際戦略担当）	米澤彰純
総長特別補佐（国際共創担当）	平山祥郎
総長特別補佐（国際共創担当）	小林広明
総長特別補佐（国際共創担当）	田中陽一郎
総長特別補佐（共同参画担当）	芳賀満
総長特別補佐（広報・記念事業担当）	加藤諭
総長特別補佐（社会連携担当）	吉見享祐
総長特別補佐（萩友会担当）	安田聡

（2023年8月1日現在）

■ 本部

事務機構長	伊豆仁志
【総長・プロボスト室】	
総長・プロボスト室長	青木孝文
総長・プロボスト室副室長	山口昌弘
総長・プロボスト室副室長	佐藤邦明
総長・プロボスト室副室長	村上尚久
総長・プロボスト室副室長	伊豆仁志
総長・プロボスト室主任経営企画スタッフ	木村章浩
総長・プロボスト室主任経営企画スタッフ	吉田靖生
【総務企画部】	
総務企画部長	谷口善孝
総務企画部次長	菅原隆
総務企画部付課長	長岡幸司
総務課長	廣末賢太
法務・コンプライアンス課長	菅原隆
【国際連携部】	
国際連携部長	乳井まさこ
国際企画課長	田中みずき
国際サポート課長	宮元博央
【人事企画部】	
人事企画部長	佐藤龍彦
人事企画課長	佐藤政行
人事給与課長	原田誠也
人事労務課長	村上孝洋
【教育・学生支援部】	
教育・学生支援部長	渕村剛司
学務課長	吉越忠助
教務課長	高橋裕之
入試課長	嶋津貴宏
学生支援課長	小野寺清文
留学生課長	坂本直也

【財務部】	
財務部長	織田島孝広
財務課長	吉田卓司
資産管理課長	菊地崇
調達課長	高橋恵
【研究推進部】	
研究推進部長	中村明雄
研究推進部次長	櫛引加代子
研究推進部付課長	池田勉
研究推進課長	蜂谷俊幸
ナノテラス共創推進課長	鈴木忍
【産学連携部】	
産学連携部長	佐藤敬浩
産学連携部次長	菊田克也
産学連携課長	佐藤良和
産学共創企画課長	清野彰
【施設部】	
施設部長	木村吉宏
施設部次長	宍戸佳広
計画課長	扇谷圭一
事業推進課長	亀山信之
建築整備課長	佐藤秀樹
設備環境課長	一丸義幸
【情報部】	
情報部長	谷口善孝
情報部次長	菊地茂樹
デジタル変革推進課長	藤本一之
デジタル基盤整備課長	折内新司
デジタルサービス支援課長	菊地茂樹
【共通事務センター】	
共通事務センター長	谷口善孝
川内キャンパス事務センター事務長	中川原敬
【監査室】	
監査室長	新沼要

（2023年8月1日現在）

■ 学部・大学院研究科及び附属施設

【文学部・文学研究科】	
文学部長・文学研究科長	木村敏明
文学部副学部長・文学研究科副研究科長	佐倉由泰
文学部副学部長・文学研究科副研究科長	浜田宏
事務長	杉山泰啓
【教育学部・教育学研究科】	
教育学部長・教育学研究科長	野口和人
教育学部副学部長・教育学研究科副研究科長	小嶋秀樹
事務長	阿部文洋
【法学部・法学研究科】	
法学部長・法学研究科長	戸澤英典
法学部副学部長・法学研究科副研究科長	中林暁生
法学部副学部長・法学研究科副研究科長	森田果
法科大学院長	嵩さやか
公共政策大学院長	西岡晋
法政実務教育研究センター長	成瀬幸典
事務長	佐藤功
【経済学部・経済学研究科】	
経済学部長・経済学研究科長	小田中直樹
経済学部副学部長・経済学研究科副研究科長	北川章臣
経済学部副学部長・経済学研究科副研究科長	佐々木伯朗
会計大学院長	木村史彦
事務長	熊谷大
【理学部・理学研究科】	
理学部長・理学研究科長	都築暢夫
理学研究科副研究科長	岩本武明
理学研究科副研究科長	柴田尚和
理学研究科副研究科長	西村太志
巨大分子解析研究センター長	岩本武明
大気海洋変動観測研究センター長	早坂忠裕
地震・噴火予知研究観測センター長	三浦哲
惑星プラズマ・大気研究センター長	笠羽康正
事務部長	安藤正夫
総務課長	小谷美智
教務課長	大友利之
経理課長	佐藤利信
【医学部・医学系研究科】	
医学部長・医学系研究科長	石井直人
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	大和田祐二
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	片桐秀樹
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	清水律子
医学部副学部長・医学系研究科副研究科長	中澤徹
動物実験施設長	三好一郎
創生応用医学研究センター長	片桐秀樹
事務部長	芳賀昌史
総務課長	斎藤建一
教務課長	氏家努
経理課長	佐藤博昭
【歯学部・歯学研究科】	
歯学部長・歯学研究科長	小坂健
歯学部副学部長・歯学研究科副研究科長	洪光
歯学部副学部長・歯学研究科副研究科長	水田健太郎
歯学イノベーションリエゾンセンター長	江草宏
事務長	金子雅人

【薬学部・薬学研究科】	
薬学部長・薬学研究科長	岩渕好治
薬学部副学部長・薬学研究科副研究科長	土井隆行
薬学部副学部長・薬学研究科副研究科長	富岡佳久
薬用植物園長	岩渕好治
医薬品開発研究センター	平澤典保
事務長	我妻建史
【工学部・工学研究科】	
工学部長・工学研究科長	伊藤彰則
工学研究科副研究科長	足立幸志
工学研究科副研究科長	髙村仁
工学研究科副研究科長	服部徹太郎
先端材料強度科学研究センター長	小川和洋
超臨界溶媒工学研究センター長	渡邉賢
マイクロ・ナノマシニング研究教育センター長	田中秀治
マイクロ・ナノマシニング研究教育センター副センター長	戸田雅也
事務部長	阿部昭
工学部・工学研究科付課長	柴田一
総務課長	木皿卓郎
教務課長	髙杉一宏
経理課長	荒澤由美
研究推進課長	内藤美緒
【農学部・農学研究科】	
農学部長・農学研究科長	北澤春樹
農学研究科副研究科長	鳥山欽哉
農学研究科副研究科長	仲川清隆
複合生態フィールド教育研究センター長	小倉振一郎
複合生態フィールド教育研究センター副センター長	池田実
複合生態フィールド教育研究センター副センター長	西田瑞彦
事務長	安藤元光
【国際文化研究科】	
国際文化研究科長	江藤裕之
国際文化研究科副研究科長	寺本成彦
国際文化研究科副研究科長	劉庭秀
言語脳認知総合科学研究センター長	高橋大厚
事務長	志賀紀行
【情報科学研究科】	
情報科学研究科長	加藤寧
情報科学研究科副研究科長	田中和之
情報科学研究科副研究科長	橋本浩一
事務長	鎌田宏一
【生命科学研究科】	
生命科学研究科長	彦坂幸毅
生命科学研究科副研究科長	有本博一
浅虫海洋生物学教育研究センター長	熊野岳
事務長	石垣忠
【環境科学研究科】	
環境科学研究科長	川田達也
環境科学研究科副研究科長	壹岐伸彦
【医工学研究科】	
医工学研究科長	西條芳文
医工学研究科副研究科長	田中徹

■ 役員・主な役職者

■ 附置研究所及び附属施設

【金属材料研究所】	
金属材料研究所長	佐々木 孝 彦
金属材料研究所副研究所長	宮 坂 等
金属材料研究所副研究所長	梅 津 理 恵
量子エネルギー材料科学国際研究センター長	永 井 康 介
量子エネルギー材料科学国際研究センター副センター長	外 山 健
新素材共同研究開発センター長	加 藤 秀 実
強磁場超伝導材料研究センター長	淡 路 智
産学官広域連携センター長	正 橋 直 哉
先端エネルギー材料理工共創研究センター長	市 坪 哲
事務部長	船 田 正 幸
総務課長	村 上 亜矢子
経理課長	佐 藤 秀 敏
【加齢医学研究所】	
加齢医学研究所長	田 中 耕 三
加齢医学研究所副研究所長	本 橋 ほづみ
医用細胞資源センター長	松 居 靖 久
非臨床試験推進センター長	山 家 智 之
環境ストレス老化研究センター長	本 橋 ほづみ
事務長	髙 橋 智
【流体科学研究所】	
流体科学研究所長	丸 田 薫
流体科学研究所副研究所長	小 原 拓
統合流動科学国際研究教育センター長	内 一 哲 哉
リヨンセンター長	内 一 哲 哉
事務長	鈴 木 吉 崇

【電気通信研究所】	
電気通信研究所長	羽 生 貴 弘
電気通信研究所副研究所長	北 村 喜 文
電気通信研究所副研究所長	佐 藤 茂 雄
ナノ・スピン実験施設長	堀 尾 喜 彦
ブレインウェア研究開発施設長	石 黒 章 夫
サイバーアンドリアル ICT 学術融合研究センター長	北 村 喜 文
21 世紀情報通信研究開発センター長	末 松 憲 治
事務長	三 上 洋 一
【多元物質科学研究所】	
多元物質科学研究所長	寺 内 正 己
多元物質科学研究所副研究所長	芥 川 智 行
多元物質科学研究所副研究所長	佐 藤 卓
多元物質科学研究所副研究所長	福 山 博 之
金属資源プロセス研究センター長	本 間 格
マテリアル・計測ハイブリッド研究センター長	中 川 勝
事務部長	曽 根 芳 則
総務課長	江 口 晶 子
経理課長	友 兼 恵
【災害科学国際研究所】	
災害科学国際研究所長	栗 山 進 一
災害科学国際研究所副研究所長	小 野 裕 一
災害科学国際研究所副研究所長	越 村 俊 一
災害レジリエンス共創センター長	江 川 新 一
災害レジリエンス共創センター副センター長	越 村 俊 一
事務長	木 戸 龍 輔

■ 附属図書館及び分館

図書館長	大 隅 典 子	情報サービス課長	半 澤 智 絵
図書館副館長	有 光 秀 行	医学分館長	藤 森 研 司
事務部長	佐 藤 初 美	北青葉山分館長	大 野 泰 生
総務課長	三 角 太 郎	工学分館長	小 玉 哲 也
情報管理課長	木 下 直	農学分館長	佐 藤 幹

■ 病院

病院長	張 替 秀 郎	事務部長	富 田 有 一
総括副病院長	江 草 宏	事務部次長	木 村 賢 一
副病院長	飯久保 正 弘	総務課長	木 村 賢 一
副病院長	石 岡 千加史	経営管理課長	岩 渕 隆 行
副病院長	亀 井 尚	経理課長	松 本 憲 一
副病院長	香 取 幸 夫	医事課長	末 永 洋 子
副病院長	齋 藤 正 寛	地域医療連携課長	富 田 有 一
副病院長	浦 山 美 輪	施設企画課長	富 田 有 一

■ 機構

【データシナジー創生機構】	
データシナジー創生機構長	青 木 孝 文
データシナジー創生機構副機構長	菅 沼 拓 夫
データ駆動科学・AI 教育研究センター長	早 川 美 徳
サイバーサイエンスセンター長	菅 沼 拓 夫
サイバーサイエンスセンター副センター長	滝 沢 寛 之
未踏スケールデータアナリティクスセンター長	中 尾 光 之
未踏スケールデータアナリティクスセンター副センター長	菅 沼 拓 夫
【高度教養教育・学生支援機構】	
高度教養教育・学生支援機構長	滝 澤 博 胤
高度教養教育・学生支援機構副機構長	伊 藤 千 裕
高度教養教育・学生支援機構副機構長	山 口 昌 弘
高等教育開発部門長	杉 本 和 弘
教育内容開発部門長	菅 谷 奈津恵
学生支援開発部門長	池 田 忠 義
教養教育院長	滝 澤 博 胤
【高等研究機構】	
高等研究機構長	小 谷 元 子
材料科学高等研究所長	折 茂 慎 一
材料科学高等研究所副研究所長	水 藤 寛

材料科学高等研究所研究支援部門長	西 山 信 行
先端スピントロニクス研究開発センター長	深 見 俊 輔
先端スピントロニクス研究開発センター副センター長	遠 藤 哲 郎
未来型医療創成センター長	本 橋 ほづみ
未来型医療創成センター副センター長	石 井 直 人
未来型医療創成センター副センター長	木 下 賢 吾
学際科学フロンティア研究所長	早 瀬 敏 幸
国際ジョイントラボセンター長	小 谷 元 子
新領域創成部長	小 谷 元 子
高等研究機構等事務長	我 妻 靖
【国際連携推進機構】	
国際連携推進機構長	植 木 俊 哉
国際連携推進機構副機構長	山 口 昌 弘
国際連携推進室長	山 口 昌 弘
海外事務所連絡室長	植 木 俊 哉
国際法政策センター長	植 木 俊 哉
国際法政策センター副センター長	西 本 健太郎
【高等大学院機構】	
高等大学院機構長	山 口 昌 弘
高等大学院機構副機構長	安 藤 晃

（2023年8月1日現在）

高等大学院機構副機構長	日笠健一
国際共同大学院プログラム部門長	山口昌弘
リーディングプログラム部門長	湯上浩雄
産学共創大学院プログラム部門長	風間聡
学際高等研究教育院長	日笠健一
大学院改革推進センター長	安藤晃
【産学連携機構】	
産学連携機構長	植田拓郎
産学連携機構副機構長	杉本諭
産学連携機構副機構長	長坂徹也
産学連携機構副機構長	小田喜夫
産学連携機構副機構長	内田渡
未来科学技術共同研究センター長	長坂徹也
未来科学技術共同研究センター副センター長	赤池孝章
未来科学技術共同研究センター副センター長	仲川清隆
未来科学技術共同研究センター副センター長	猪股宏
未来科学技術共同研究センター副センター長	岩瀬恵一
マイクロシステム融合研究開発センター長	戸津健太郎
マイクロシステム融合研究開発センター副センター長	小野崇人
国際集積エレクトロニクス研究開発センター長	遠藤哲郎
国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長	池田正二
国際集積エレクトロニクス研究開発センター副センター長	品田賢宏
産学連携先端材料研究開発センター長	丸田薫
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	石本淳
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	石山和志
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	福山博之
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	加藤秀実
産学連携先端材料研究開発センター副センター長	吉田栄吉
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター長	成島尚之
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長	小川和洋
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター副センター長	桐島陽
（病院）臨床研究推進センター長	青木正志
スタートアップ事業化センター長	植田拓郎
スタートアップ事業化センター副センター長	早坂昌彦
イノベーション戦略推進センター長	植田拓郎
【グリーン未来創造機構】	
グリーン未来創造機構長	湯上浩雄
グリーン未来創造機構副機構長	今村文彦
グリーンクロステック研究センター長	岡部朋永
グリーンクロステック研究センター副センター長	足立幸志
グリーンクロステック研究センター副センター長	久田真
東北メディカル・メガバンク機構長	山本雅之
東北メディカル・メガバンク機構副機構長	布施昇男
東北メディカル・メガバンク機構副機構長	泉陽子
東北メディカル・メガバンク機構副機構長	木下賢吾
東北メディカル・メガバンク機構事務長	日野謙二
東北メディカル・メガバンク機構特任教授（企画・調整担当）	神部匡毅
原子炉廃止措置基盤研究センター長	渡邉豊
原子炉廃止措置基盤研究センター副センター長	前田匡樹
原子炉廃止措置基盤研究センター副センター長	桐島陽
【研究推進・支援機構】	
研究推進・支援機構長	小谷元子
知の創出センター長	小谷元子
知の創出センター副センター長	髙木敏行
リサーチ・マネジメントセンター長	塩入諭
リサーチ・マネジメントセンター副センター長	佐藤準
リサーチ・マネジメントセンター副センター長	荘司弘樹
コアファシリティ統括センター長	小谷元子
コアファシリティ統括センター副センター長	牛尾則文
コアファシリティ統括センター副センター長	中山啓子
極低温科学センター長	佐々木孝彦
先端電子顕微鏡センター長	津田健治
【事業支援機構】	
事業支援機構長	牛尾則文
環境保全センター長	松本祐司
動物・遺伝子実験支援センター長	清水律子
環境・安全推進センター長	牛尾則文
総合技術部長	牛尾則文
総合技術部副部長	伊東久美子

■ 学内共同教育研究施設等

【サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター】	
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター長	渡部浩司
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター副センター長	田代学
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター副センター長	寺川貴樹
【埋蔵文化財調査室】	
埋蔵文化財調査室長	鹿又喜隆
【東北アジア研究センター】	
東北アジア研究センター長	千葉聡
東北アジア研究センター副センター長	高倉浩樹
東北アジア研究センター副センター長	佐野勝宏
【学術資源研究公開センター】	
学術資源研究公開センター長	藤澤敦
総合学術博物館長	高嶋礼詩
史料館長	有光秀行
植物園長	牧雅之
【電子光理学研究センター】	
電子光理学研究センター長	大西宏明
電子光理学研究センター副センター長	須田利美
【ニュートリノ科学研究センター】	
ニュートリノ科学研究センター長	井上邦雄
【ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センター】	
ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センター長	田中真美
ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センター副センター長	秋山正幸
ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センター副センター長	松八重一代
【数理科学共創社会センター】	
数理科学共創社会センター長	水藤寛
数理科学共創社会センター副センター長	原田昌晃
【スマート・エイジング学際重点研究センター】	
スマート・エイジング学際重点研究センター長	瀧靖之
スマート・エイジング学際重点研究センター副センター長	魏范研
【ヨッタインフォマティクス研究センター】	
ヨッタインフォマティクス研究センター長	坂井信之
ヨッタインフォマティクス研究センター副センター長	大町真一郎
ヨッタインフォマティクス研究センター副センター長	塩入諭
【タフ・サイバーフィジカルAI研究センター】	
タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター長	田所諭
タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター副センター長	乾健太郎
【国際放射光イノベーション・スマート研究センター】	
国際放射光イノベーション・スマート研究センター長	千葉大地
【オープンオンライン教育開発推進センター】	
オープンオンライン教育開発推進センター長	滝澤博胤
オープンオンライン教育開発推進センター副センター長	中島平
【国際戦略室】	
国際戦略室長	山口昌弘
国際戦略室副室長	米澤彰純
【社会連携推進室】	
社会連携推進室長	長坂徹也
【アセットマネジメントセンター】	
アセットマネジメントセンター長	植木俊哉
アセットマネジメントセンター副センター長	織田島孝広
【オープンイノベーション事業戦略機構】	
オープンイノベーション事業戦略機構長	青木孝文
オープンイノベーション事業戦略機構副機構長	植田拓郎
オープンイノベーション事業戦略機構副機構長	石井直人
オープンイノベーション事業戦略機構副機構長	内田渡
【共創戦略センター】	
共創戦略センター長	冨永悌二

総長選考・監察会議・役員会・経営協議会・教育研究評議会

（2023年7月1日現在）

総長選考・監察会議

学外委員	
小野寺　正	KDDI 株式会社元代表取締役社長
海　輪　誠	東北電力株式会社特別顧問
	一般社団法人東北経済連合会名誉会長
榊　裕之	国立大学法人奈良国立大学機構理事長
	日本学士院会員
	東京大学名誉教授
遠山敦子	公益財団法人トヨタ財団顧問
	静岡県富士山世界遺産センター館長
	元文部科学大臣
原山優子	東北大学名誉教授
東　哲郎	Rapidus 株式会社取締役会長
	最先端半導体技術センター (LSTC) 理事長
	東京エレクトロン株式会社チェアマンエメリタス

学内委員	
石井直人	総長補佐（医学系研究科長）
伊藤彰則	総長補佐（工学研究科長）
小田中直樹	経済学研究科長
佐々木孝彦	金属材料研究所長
寺田眞浩	理学研究科教授
戸澤英典	総長補佐（法学研究科長）

役　員　会

大野英男	総　長
青木孝文	理　事・副学長
滝澤博胤	理　事・副学長
小谷元子	理　事・副学長
植木俊哉	理　事・副学長
冨永悌二	理　事・副学長
牛尾則文	理　事
植田拓郎	理　事
土井美和子	理　事（非常勤）
宮田康弘	理　事（非常勤）

経営協議会

学外委員	
大谷和子	株式会社日本総合研究所執行役員法務部長
長田公平	日本経済新聞社参与
小野寺　正	KDDI 株式会社元代表取締役社長
帯野久美子	株式会社インターアクト・ジャパン代表取締役
海　輪　誠	東北電力株式会社特別顧問
	一般社団法人東北経済連合会名誉会長
川田順一	清水建設株式会社取締役
	ENEOS ホールディングス株式会社参与
黒田玲子	中部大学先端研究センター特任教授
	東京大学名誉教授
小林英文	株式会社七十七銀行取締役頭取
榊　裕之	国立大学法人奈良国立大学機構理事長
	日本学士院会員
	東京大学名誉教授
清野　智	東日本旅客鉄道株式会社顧問
中鉢良治	国立研究開発法人産業技術総合研究所最高顧問
	学校法人滋慶学園東京情報デザイン専門職大学学長
遠山敦子	公益財団法人トヨタ財団顧問
	静岡県富士山世界遺産センター館長
	元文部科学大臣
原山優子	東北大学名誉教授
東　哲郎	Rapidus 株式会社取締役会長
	最先端半導体技術センター (LSTC) 理事長
	東京エレクトロン株式会社チェアマンエメリタス

学外委員	
吉武博通	学校法人東京家政学院理事長
	筑波大学名誉教授
渡邉光一郎	第一生命保険株式会社特別顧問

学内委員	
大野英男	総　長
青木孝文	理　事・副学長
滝澤博胤	理　事・副学長
小谷元子	理　事・副学長
植木俊哉	理　事・副学長
冨永悌二	理　事・副学長
牛尾則文	理　事
植田拓郎	理　事
土井美和子	理　事（非常勤）
宮田康弘	理　事（非常勤）
張替秀郎	副学長（病院長）

教育研究評議会

（2023年7月1日現在）

大野英男	総　長
青木孝文	理　事・副学長
滝澤博胤	理　事・副学長（高度教養教育・学生支援機構長）
小谷元子	理　事・副学長
植木俊哉	理　事・副学長
冨永悌二	理　事・副学長
牛尾則文	理　事
植田拓郎	理　事
土井美和子	理　事（非常勤）
宮田康弘	理　事（非常勤）
張替秀郎	副学長（病院長）
山口昌弘	副学長
大隅典子	副学長
長坂徹也	副学長（未来科学技術共同研究センター長）
村上尚久	副学長
佐藤邦明	副学長
伊豆仁志	副学長
戸澤英典	総長補佐（法学研究科長）
石井直人	総長補佐（医学系研究科長）
伊藤彰則	総長補佐（工学研究科長）
丸田　薫	総長補佐（流体科学研究所長）
木村敏明	文学研究科長
野口和人	教育学研究科長
小田中直樹	経済学研究科長
都築暢夫	理学研究科長
小坂　健	歯学研究科長
岩渕好治	薬学研究科長
北澤春樹	農学研究科長
江藤裕之	国際文化研究科長
加藤　寧	情報科学研究科長
彦坂幸毅	生命科学研究科長
川田達也	環境科学研究科長
西條芳文	医工学研究科長
佐々木孝彦	金属材料研究所長
田中耕三	加齢医学研究所長
羽生貴弘	電気通信研究所長
寺内正己	多元物質科学研究所長
栗山進一	災害科学国際研究所長
江草　宏	病院総括副病院長
千葉　聡	東北アジア研究センター長
折茂慎一	材料科学高等研究所長
山本雅之	東北メディカル・メガバンク機構長
佐倉由泰	文学研究科教授
甲斐健人	教育学研究科教授
久保野恵美子	法学研究科教授
北川章臣	経済学研究科教授
西出優子	経済学研究科教授
寺田眞浩	理学研究科教授
大和田祐二	医学系研究科教授
青木洋子	医学系研究科教授
洪　光	歯学研究科教授
土井隆行	薬学研究科教授
足立幸志	工学研究科教授
鳥山欽哉	農学研究科教授
山下まり	農学研究科教授
劉　庭秀	国際文化研究科教授
橋本浩一	情報科学研究科教授
荒木由布子	情報科学研究科教授
田口友彦	生命科学研究科教授
杉本亜砂子	生命科学研究科教授
吉岡敏明	環境科学研究科教授
松八重一代	環境科学研究科教授
小玉哲也	医工学研究科教授
田中真美	医工学研究科教授
梅津理恵	金属材料研究所教授
瀧　靖之	加齢医学研究所教授
佐藤岳彦	流体科学研究所教授
石山和志	電気通信研究所教授
佐藤　卓	多元物質科学研究所教授
永次　史	多元物質科学研究所教授
奥村　誠	災害科学国際研究所教授
伊藤千裕	高度教養教育・学生支援機構教授
末松和子	高度教養教育・学生支援機構教授
泉　陽子	東北メディカル・メガバンク機構教授

役員・職員数

（2023年5月1日現在）

部局 ＼ 職種		総長	理事	監事	教授	准教授	講師	助教	助手	教員計	事務・技術職員等	計
総長		1										1
理事			9(2)									9
監事				2(1)								2
本部事務機構等	本部事務機構等										4	4
	総長・プロボスト室						5			5	10	15
	総務企画部								1	1	45	46
	国際連携部										24	24
	人事企画部										65	65
	教育・学生支援部										82	82
	財務部										73	73
	研究推進部				1					1	20	21
	産学連携部										26	26
	施設部										42	42
	情報部										21	21
	共通事務センター										25	25
	監査室										6	6
文学部・文学研究科					48	25		14	1	88	10	98
教育学部・教育学研究科					14	18	1	9		42	7	49
法学部・法学研究科					38	13		5	1	57	10	67
経済学部・経済学研究科					29	21	3	4	3	60	12	72
理学部・理学研究科					79	80	6	73	3	241	70	311
医学部・医学系研究科					77	68	31	90	18	284	42	326
歯学部・歯学研究科					23	15	9	40		87	19	106
薬学部・薬学研究科					18	15	4	26	3	66	15	81
工学部・工学研究科					131	106	8	109	9	363	102	465
農学部・農学研究科					41	30		42	1	114	29	143
国際文化研究科					16	13	4	1		34	10	44
情報科学研究科					31	38	1	24		94	12	106
生命科学研究科					27	12	1	42		82	15	97
環境科学研究科					18	14	1	25	4	62	7	69
医工学研究科					16	7		3		26	5	31
金属材料研究所					25	31	1	50	4	111	39	150
加齢医学研究所					13	11	3	21	3	51	12	63
流体科学研究所					17	11		17		45	10	55
電気通信研究所					24	19		21		64	16	80
多元物質科学研究所					39	23	10	52		124	29	153
災害科学国際研究所					22	24	1	17	2	66	10	76
図書館	図書館										26	26
	医学分館										6	6
	北青葉山分館										2	2
	工学分館										6	6
	農学分館										4	4
病院					9	27	74	256	64	430	1,850	2,280
データシナジー創生機構					1			1		2	1	3
高度教養教育・学生支援機構					28	34	16	21	2	101	16	117
高等研究機構	高等研究機構										10	10
	材料科学高等研究所				13	11	1	37		62	5	67
	先端スピントロニクス研究開発センター				1	2		6		9		9
	未来型医療創成センター				4		1	6		11		11
	学際科学フロンティア研究所				5	6		43		54	3	57
高等大学院機構					1					1	1	2
産学連携機構					2					2	35	37
グリーン未来創造機構					10					10		10
研究推進・支援機構											15	15
事業支援機構					3	1				4	327	331
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター					6		1	3	3	13		13
埋蔵文化財調査室											3	3
東北アジア研究センター					8	8		8		24		24
学術資源研究公開センター					3	3		5		11		11
電子光理学研究センター					4	5		6		15		15
サイバーサイエンスセンター					4	4		2		10	1	11
ニュートリノ科学研究センター					3	3		8		14	1	15
男女共同参画推進センター							1			1		1
数理科学共創社会センター					2			4		6		6
スマート・エイジング学際重点研究センター					1	1	2	1	3	8		8
タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター					1	2		4		7		7
データ駆動科学・AI 教育研究センター					3	4		5	1	13		13
国際放射光イノベーション・スマート研究センター					10	9	2	4		25		25
オープンオンライン教育開発推進センター											1	1
未来科学技術共同研究センター					25	15	1	11	5	57	7	64
環境保全センター					1		1			2		2
動物・遺伝子実験支援センター						1				1		1
東北メディカル・メガバンク機構					8	8	10	17	9	52	18	70
マイクロシステム融合研究開発センター					3	3		1		7	1	8
国際集積エレクトロニクス研究開発センター					9	4			1	14	7	21
産学連携先端材料研究開発センター					1					1		1
原子炉廃止措置基盤研究センター					1					1		1
国際戦略室					1					1		1
オープンイノベーション事業戦略機構					3					3	10	13
共創戦略センター											2	2
未踏スケールデータアナリティクスセンター					4			1		5		5
合計		1	9(2)	2(1)	925	745	199	1,135	141	3,145	3,282	6,439

※再雇用職員含む。 ※休職者含む。 ※（　）は非常勤で内数。

学部

	学科	学科目数	学科目
文学部 1学科5学科目	人文社会学科	5	日本文化、東洋文化、西洋文化、人間文化、社会文化
教育学部 1学科2学科目	教育科学科	2	教育学、教育心理学
法学部 1学科1学科目	法学科	1	法学・政治学
経済学部 2学科6学科目	経済学科	3	基礎理論、応用経済、経済史
	経営学科	3	経営学、会計学、統計・数理科学
理学部 7学科7学科目	数学科	1	数学
	物理学科	1	物理学
	宇宙地球物理学科	1	宇宙地球物理学
	化学科	1	化学
	地圏環境科学科	1	地圏環境科学
	地球惑星物質科学科	1	地球惑星物質科学
	生物学科	1	生物学
医学部 2学科15学科目 7講座	医学科	15	人体発生・構造学、分子生物・生化学、生理学、薬理学、病理学、感染・免疫学、内科学、外科学、小児科学、精神医学、皮膚科学、泌尿・産婦人科学、感覚器病学、麻酔・救急医学、社会医学
	保健学科	7 （講座）	基礎看護学、臨床看護学、地域保健看護学、放射線基礎技術学、放射線医療技術学、基礎検査学、臨床検査学
歯学部 1学科5学科目	歯学科	5	口腔基礎生物学、解剖生理歯科学、口腔機能再建学、口腔保健発育学、口腔病態基礎外科学
薬学部 2学科2学科目	薬学科	1	薬学
	創薬科学科	1	創薬科学
工学部 5学科50学科目	機械知能・航空工学科	17	機能システム学、エネルギー学、材料メカニクス、ナノメカニクス、ロボットシステム、ナノシステム、航空システム、宇宙システム、原子核システム安全工学、エネルギー物理工学、粒子ビーム工学、太陽地球システム・エネルギー学、自然共生システム学、資源循環プロセス学、環境創成計画学、バイオ・メディカルデバイス、バイオ・メディカルシステム
	電気情報物理工学科	11	エネルギーデバイス工学、電気エネルギーシステム工学、通信システム工学、波動工学、電子物性工学、電子システム工学、計算機基礎工学、知能情報処理工学、システム情報工学、応用物性物理学、応用材料物理学
	化学・バイオ工学科	9	環境資源化学、分子システム化学、プロセス要素工学、有機材料合成化学、量子無機材料科学、プロセスシステム工学、超臨界流体工学、生体分子化学、生体機能化学
	材料科学総合学科	7	創形創質プロセス学、先端マテリアル物理化学、材料環境学、ナノ材料物性学、情報デバイス材料学、マイクロシステム学、生体材料システム学
	建築・社会環境工学科	6	基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学、建築計画学、建築構成学
農学部 2学科13学科目	生物生産科学科	8	植物生産科学、植物適応形質学、農業資源経済学、動物資源開発学、動物生命科学、動物資源機能学、水圏生物機能学、水圏動物生産科学
	応用生物化学科	5	分子生物学、生物化学、植物分子生理学、生命有機化学、食品機能科学

大学院

文学研究科（3専攻12講座）

専攻	講座数	講座
日本学	4	日本文化学、日本語科学、日本文学、日本歴史学
広域文化学	3	域際文化学、東洋文化学、西洋文化学
総合人間学	4	哲学倫理学、芸術人間学、心理言語人間学、社会人間学
	1	◎実践宗教学

教育学研究科（1専攻5講座）

専攻	講座数	講座
総合教育科学	5	教育学、教育心理学、教育情報アセスメント、○多文化教育論、○教育情報応用論

法学研究科（3専攻8講座）

専攻	講座数	講座
総合法制（法科大学院）	3	現代市民法、現代企業法、比較法社会論
公共法政策（公共政策大学院）	2	行政法政策、ガバナンス研究
法政理論研究（研究大学院）	3	トランスナショナル法、グローバル政治分析、グローバル法文化分析

経済学研究科（2専攻12講座）

専攻	講座数	講座
経済経営学	8	経済基盤、経営基盤、現代経済、システム科学、現代経営、医療福祉、地域政策、グローバルシステム
会計専門職（会計大学院）	4	会計、経済と経営、IT と統計、法と倫理

理学研究科（6専攻48講座）

専攻	講座数	講座
数学	5	代数学、幾何学、解析学、多様体論、応用数理
物理学	16	量子基礎物理学、素粒子・核物理学、電子物理学、量子物性物理学、固体統計物理学、相関物理学、領域横断物理学、○原子核理学、○高エネルギー物理学、○結晶物理学、○金属物理学、○分光物理学、○核放射線物理学、※加速器科学、※強相関電子物理学、※量子計測
天文学	3	天文学、理論天体物理学、※スペース宇宙科学
地球物理学	7	固体地球物理学、太陽惑星空間物理学、流体地球物理学、地球環境物理学、○地殻物理学、○惑星圏物理学、※固体地球物理学
化学	10	無機・分析化学、有機化学、物理化学、境界領域化学、先端理化学、○生体機能化学、○化学反応解析、○固体化学、※分離化学、※重元素化学
地学	7	地圏進化学、環境地理学、地球惑星物質科学、環境動態論、比較固体惑星学、※地圏物質循環学、※地球内部反応

医学系研究科（4専攻61講座）

専攻	講座数	講座
医科学	50	細胞生物学、生体機能学、病理病態学、内科病態学、発生・発達医学、外科病態学、神経・感覚器病態学、情報健康医学、公共健康医学、 ○医用動物学、○加齢制御学、○腫瘍制御学、○加齢脳科学、○サイクロトロン核医学、 ※量子生命・分子イメージング、※がん医科学、※先進成育医学、※がん生命科学、※地域精神医療、 ※先進循環器医学、※グローバル感染症学、※先進医薬品・医療機器開発レギュラトリーサイエンス、 ※宮城県北先制医療学、※次世代小児医療、※新興・再興感染症学、※地域先進医療学、 ※脳神経精神医学、※先進放射線核医学、※臨床呼吸器・感染症学、※先進脳血管外科学、 ※宮城県南先進地域医療開発医学、※運動器医療開発医学、※腰痛・仙腸関節障害学、 ※数理知能医学 ◎視覚先端医療学、◎網膜疾患制御学、◎難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携、 ◎眼科画像情報解析学、◎地域総合診療医育成、◎先制循環器医療学、◎難聴地域医療学、 ◎心不全地域医療連携 ◇抗体創薬、◇先進 MRI、◇漢方・統合医療学、◇女性ヘルスケア医科学◇希少難病ゲノム解析、 ◇超早期画像診断、◇ウェルビーイングデザイン、◇健康社会システム創造
障害科学	3	機能医科学、※高齢者認知・運動機能障害学、◇てんかんスマート医療
保健学	6	基礎・健康開発看護学、家族支援看護学、医用情報技術科学、生体応用技術科学、基礎検査医科学、臨床検査医科学
公衆衛生学	2	情報健康医学、公共健康医学

歯学研究科（1専攻10講座）

専攻	講座数	講座
歯科学	10	エコロジー歯学、地域共生社会歯学、病態マネジメント歯学、リハビリテーション歯学 ○イノベーションリエゾン歯学、○口腔腫瘍病態学、※口腔免疫病態制御学、※長寿口腔科学 ◇次世代歯科材料工学、◇先端フリーラジカル制御学

薬学研究科（3専攻9講座）

専攻	講座数	講座
分子薬科学	4	分子制御化学、分子解析学、○分子動態解析学、※分子イメージング薬学
生命薬科学	2	生命解析学、生命情報薬学
医療薬学	3	医療薬学、○病態分子薬学、※医薬品評価学

工学研究科（18専攻93講座）

専攻	講座数	講座
機械機能創成	6	機能システム学、エネルギー学、先進機械機能創成、○破壊機構学、○知能流体システム学、○多元物質応用システム工学
ファインメカニクス	8	材料メカニクス、ナノメカニクス、バイオメカニクス、先進ファインメカニクス、○破壊予知学、○ナノ流動学、○表面ナノ物理計測制御学、○損傷計測学
ロボティクス	4	ロボットシステム、ナノシステム、先進ロボティクス、○知的メカノシステム工学
航空宇宙工学	5	航空システム、宇宙システム、先進航空宇宙工学、○航空宇宙流体工学、※将来宇宙輸送工学
量子エネルギー工学	12	先進原子核工学、原子核システム安全工学、エネルギー物理工学、粒子ビーム工学、○エネルギー材料工学、○エネルギー化学工学、○量子物性工学、○加速器放射線工学、※分子イメージング工学、※核融合炉システム工学、※核融合炉材料工学、※廃炉基盤工学
電気エネルギーシステム	3	エネルギーデバイス工学、電気エネルギーシステム工学、○情報エネルギーシステム工学
通信工学	4	知的通信ネットワーク工学、通信システム工学、波動工学、○伝送工学
電子工学	7	超微細電子工学、電子制御工学、物性工学、電子システム工学、○電子デバイス工学、○電子材料工学、○極限表面制御工学

工学研究科
18専攻93講座

専攻	講座数	講座
応用物理学	5	応用界面物理学、応用材料物理学、○低温電子材料物性学、○電子・分光計測学
応用化学	4	原子・分子制御工学、環境資源化学、分子システム化学、○反応設計学
化学工学	4	プロセス解析工学、プロセス要素工学、プロセスシステム工学、○反応分離プロセス
バイオ工学	4	応用生命化学、生体分子化学、生体機能化学、○生物有機化学
金属フロンティア工学	5	金属プロセス工学、創形創質プロセス学、先端マテリアル物理化学、○プロセス設計学、○プロセス制御学
知能デバイス材料学	6	材料電子化学、ナノ材料物性学、情報デバイス材料学、○ナノ構造物質工学、○物質機能創製学、○材料表面機能制御学
材料システム工学	5	接合界面制御学、マイクロシステム学、生体材料システム学、○物質構造評価学、○材料機能制御プロセス学
土木工学	5	数理システム設計学、基盤構造材料学、社会基盤構造学、水環境学、地域システム学
都市・建築学	4	都市・建築デザイン学、都市・建築計画学、サステナブル空間構成学、建築構造工学
技術社会システム	2	ソーシャルシステムデザイン、バリュープロポジション、緑辺深海生態系動態学

農学研究科
2専攻13講座

専攻	講座数	講座
生物生産科学	9	植物生命科学、動物生命科学、水圏生産科学、農業経済学 ○栽培植物環境科学、○沿岸フィールド生物生産学、※緑辺深海生態系動態学、※農業政策学、 ◇動物粘膜免疫学
農芸化学	4	生物化学、食品天然物化学、◎発酵微生物学、◇ J-オイルミルズ油脂イノベーション

国際文化研究科
1専攻8講座

専攻	講座数	講座
国際文化研究	8	ヨーロッパ・アメリカ研究、アジア・アフリカ研究、国際日本研究、国際政治経済論、 国際環境資源政策論、多文化共生論、言語科学研究、応用言語研究

情報科学研究科
4専攻38講座

専攻	講座数	講座
情報基礎科学	11	情報基礎数理学、情報応用数理学、計算科学、ソフトウェア科学、○情報論理学、 ○コミュニケーション論、○高性能計算論、○情報セキュリティ論、○広域情報処理論、○データ基礎情報学、※先進的計算システム論
システム情報科学	10	システム情報数理学、知能情報科学、生体システム情報学、知能ロボティクス学、○音情報科学、 ○高次視覚情報学、○情報コンテンツ学、○融合流体情報学、○ソフトウェア構成論、 ○人工知能基礎学
人間社会情報科学	6	人間情報学、社会政治情報学、社会経済情報学、人間社会計画学、メディア情報学、 ○コミュニケーション心理学
応用情報科学	10	応用情報技術論、応用生命情報学、○情報通信ソフトウェア学、○情報ネットワーク論、 ○流動システム情報学、○ブレインファンクション集積学、○健康情報学、○先端応用データ科学、 ○タフ・サイバーフィジカル AI 学、※複雑系統計科学
	1	◇量子コンピューティング

生命科学研究科
3専攻11講座

専攻	講座数	講座
脳生命統御科学	3	神経ネットワーク、細胞ネットワーク、○分化制御ネットワーク
生態発生適応科学	4	個体ダイナミクス、生態ダイナミクス、○多様性ダイナミクス、※生態複合ダイナミクス
分子化学生物学	4	ケミカルバイオロジー、分子ネットワーク、○階層的構造ダイナミクス、※ゲノム情報学

環境科学研究科
2専攻20講座

専攻	講座数	講座
先進社会環境学	7	資源戦略学、エネルギー資源学、環境政策学、○環境応用政策学、 ※環境リスク評価学、◎環境資源循環学（DOWA ホールディングス）、◎硬質材料環境調和設計学
先端環境創成学	13	都市環境・環境地理学、太陽地球システム・エネルギー学、自然共生システム学、 資源循環プロセス学、環境創成計画学、○地殻環境システム創成学、○東北アジア地域社会論、 ○東北アジア地域文化論、○環境材料物理化学、○環境システム材料学、 ※環境適合材料創製学、※地球環境変動学、◎反応解析機器開発学（フロンティア・ラボ）

医工学研究科
1専攻11講座

専攻	講座数	講座
医工学	11	計測・診断医工学、治療医工学、生体機械システム医工学、生体再生医工学、社会医工学、医療機器創生医工学、○生体流動システム医工学、○人工臓器医工学、○生体材料学、○生体システム制御医工学、○生体情報システム学

専門職大学院
3専攻9講座

専攻	講座数	講座
法科大学院	3	現代市民法、現代企業法、比較法社会論
公共政策大学院	2	行政法政策、ガバナンス研究
会計大学院	4	会計、経済と経営、IT と統計、法と倫理

注）○は協力講座を、※は連携講座を、◎は寄附講座を、◇は共同研究講座を表す。

附置研究所

	部門数	研究目的及びその研究部門
金属材料研究所 （国際共同利用・共同研究拠点）	27	材料科学に関する学理及びその応用の研究 金属物性論、結晶物理学、磁気物理学、量子表面界面科学、低温物理学、低温電子物性学、量子ビーム金属物理学、量子機能物性学、金属組織制御学、計算材料学、材料照射工学、耐環境材料学、原子力材料工学、先端結晶工学、ランダム構造物質学、構造制御機能材料学、錯体物性化学、非平衡物質工学、磁性材料学、結晶材料化学、水素機能材料工学、複合機能材料学、加工プロセス工学、アクチノイド物質科学、不定比化合物材料学、分析科学、先端・萌芽
加齢医学研究所 （共同利用・共同研究拠点）	3	加齢医学に関する学理及びその応用の研究 加齢制御、腫瘍制御、脳科学
流体科学研究所 （共同利用・共同研究拠点）	4	流動現象に関する学理及びその応用の研究 流動創成、複雑流動、ナノ流動、◇先端車輌基盤技術研究（日立 Astemo）Ⅲ
電気通信研究所 （共同利用・共同研究拠点）	3	高次情報通信に関する学理およびその応用の研究 計算システム基盤、情報通信基盤、人間・生体情報システム
多元物質科学研究所 （共同利用・共同研究拠点）	7	多元的な物質に関する学理及びその応用の研究 有機・生命科学、無機材料、プロセスシステム工学、計測、◇非鉄金属製錬環境科学、◇製鉄プロセス高度解析技術（JFE スチール）、◇次世代電子顕微鏡技術
災害科学国際研究所	8	災害科学に関する学理及びその応用の研究 災害評価・低減、災害人文社会、災害医学、防災実践推進、◎地震津波リスク評価（東京海上日動）、◎都市直下地震災害（応用地質）、◇イオン防災環境都市創生、◇日本工営レジリエントシティー技術実装

注）◎は寄附研究部門を、◇は共同研究部門を表す。

研究施設・組織・機構等

機構

施設名	設置目的
データシナジー創生機構	本学全体の情報基盤整備等に係る企画立案、調整及び協議を行い、並びにその実施を担うとともに、情報システムに係る整備、運用、管理及び利用に関する調整を行い、並びに情報基盤に基づく各種のサービスを提供するとともに情報セキュリティ対策の推進に必要な措置を講ずることにより、本学の情報化の推進を図り、並びにデータ駆動型の教育研究に関する企画及び提言を行うことにより、本学の教育研究の高度化を図る。
高度教養教育・学生支援機構（教育関係共同利用拠点）	高度教養教育及び学生支援に関する調査研究、企画及び提言並びにそれらの方法の開発及び実施を関係部局との連携の下、一体的に行うことにより、本学の教育の質の向上に寄与する。
高等研究機構	世界最高水準の研究者が集結する優れた国際的研究環境を構築することにより、世界最高の研究成果及び既存の学問領域を超えた新しい学術分野を創出し、並びに世界をリードする横断的分野融合研究を推進するとともに、次代を担う若手研究者を養成する。
材料科学高等研究所	革新的材料科学に関する国際的な研究拠点として、原子・分子レベルにおける学理の深化及び異文化融合を通じて新たな原子分子制御法の確立及びこれに基づく革新的な高度実用材料の創出を図り、もって我が国の産業経済の持続的発展並びに当該学術分野における先端性及び優位性の維持及び進展に資する。
先端スピントロニクス研究開発センター	基礎から応用にわたる幅広い分野の卓越した研究者を海外有力大学との共同研究を通じて戦略的に結集し、スピン科学で世界を先導することにより、スピンを基礎に置いた科学技術を世界に先駆けて開拓するとともに、新産業創生に寄与し、並びに現産業の強化及び次世代人材の育成を目指し、国内外の研究機関との共同研究を促進する連携ネットワークの拠点としての役割を担う。
未来型医療創成センター	ゲノム医学を中核に基礎生命科学、情報科学等の卓越した研究力を結集した拠点として、ゲノム・オミックス情報その他の生体情報及び臨床情報を活用し、人工知能を含むデータ科学に基づく研究並びに遺伝要因及び環境要因と疾病との関係性の解明に関する研究並びにその成果の臨床実装を推進するとともに、これらを担う人材の養成を行うことにより、個別化医療及び個別化予防を柱とする未来型医療の実現に資する。
学際科学フロンティア研究所	異分野融合による学際的研究を開拓し、及び推進するとともに、各研究科、各附置研究所及び高等大学院機構学際高等研究教育院との連携を通じて若手研究者の研究を支援することにより新たな知と価値を創出し、より豊かな人類社会の発展に貢献する。
国際連携推進機構	関係部局との連携の下、本学の国際化環境整備を促進し、職員及び学生の国際流動性の向上並びに教育研究における国際連携強化を一体的に行う。
高等大学院機構	学問領域の壁及び国境の壁を超えた先進的な学位プログラム、大学院学生に対する共通教育その他の全学的な大学院教育の実施を関係部局との連携の下、一体的に行うことにより、本学の教育の質の向上に寄与するとともに、大学院学生の学修・研究専念環境整備の推進を図り、もって国際的な指導者として活躍する人材を育成する。
産学連携機構	産業界と連携して研究開発を行う関係部局との連携の下、世界標準の産学連携マネジメントを基盤とした本学の産学官連携の推進に関する業務を行うことにより、本学の研究成果の社会実装を図り、社会経済におけるイノベーションの推進に寄与する。
グリーン未来創造機構	関係部局との連携の下、安心・安全で持続可能な社会に向けた研究・社会連携活動等を推進することにより、環境及び社会問題を解決し、もって、持続可能で自然災害及び感染症にレジリエントなグリーン未来社会の実現に寄与する。
研究推進・支援機構	本学における研究の推進及び支援を行うことにより、本学の研究の一層の発展に寄与し、分野融合及び新たな学問分野の創出を実現するとともに、その成果を社会に還元する。
事業支援機構	本学における適切な職場環境の形成及び教育研究に関する技術的支援を行うことにより、教育研究活動の一層の充実に資する。

研究施設・組織・機構等

学内共同教育研究施設

施設名	設置目的
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	サイクロトロン設備を多目的利用に供し、高レベル及び短寿命のラジオアイソトープの取扱設備を共用させるとともに、放射線の安全管理に係る全学的業務を行い、併せて加速器並びに測定器に係る原子核物理学、核薬学、サイクロトロン核医学及び放射線管理に関する研究開発を行う。
埋蔵文化財調査室	本学の施設整備が円滑に行われるために、構内の埋蔵文化財に関する調査を行い、併せて資料の保管及びその活用を図る。
東北アジア研究センター	東北アジア（東アジア及び北アジア並びに日本をいう。）地域に関する地域研究を学際的及び総合的に行う。
学術資源研究公開センター	学術標本、歴史資料として重要な公文書その他の本学の歴史に関する資料、植物園の敷地内に生育する生物資源等、本学が所蔵する学術資料の収集、保管又は保全及び研究を行い、もって学内の教育研究に資するとともに、これらを広く一般に公開して社会教育の振興に寄与する。
電子光理学研究センター（共同利用・共同研究拠点）	電子加速器から得られる様々なエネルギーの電子・光子ビームを主要な手段として、原子核物理学、加速器科学、物質科学等の物質諸階層の基礎と応用の研究を推進し、並びに新たな電子光ビームの開発を通じて、未踏研究分野の開拓及び新研究領域の創造を目指すとともに、電子光科学諸分野における研究者、技術者等の養成を行う。
サイバーサイエンスセンター（共同利用・共同研究拠点）	全国共同利用の学内共同教育研究施設等として、研究、教育等に係る情報化を推進するための研究開発並びに情報基盤の整備及び運用を行い、本学の情報化の推進において中核的な役割を担う。
ニュートリノ科学研究センター	低エネルギー・ニュートリノの観測及び極低放射能環境における実験的研究を通じて、素粒子物理学、宇宙物理学及び地球物理学の発展に寄与する。
ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センター	ダイバーシティ・エクイティ＆インクルージョン（DEI）推進宣言の方針に基づき、DEI に関する支援事業や教育等の充実を図り、DEI 推進に寄与する。
数理科学共創社会センター	数理科学に係る人材の好循環を図るための国際的な共創活動の拠点を形成することにより、産業界及び社会の課題の解決に向けた数理科学の基盤構築、数理科学に関する専門的な知識を有し、産業界及び社会の要請に応えることができる人材の育成並びに新たな学術分野の創出を図る。
スマート・エイジング学際重点研究センター	基礎生命科学、人文社会科学その他の加齢科学に関する広範な学問領域が重層的かつ融合的に協同し、社会での認知症予防実践を提言する文理融合の学際的国際共同研究を行うことにより、真に有機的な融合科学としての加齢科学の構築を図り、もって超高齢社会における個人及び社会の活力維持に向けたスマート・エイジングを実現する。
ヨッタインフォマティクス研究センター	人文社会科学、理工学及び情報科学の知を連携し、質・価値の概念を導入した情報処理手法の構築及び社会実装に向けた文理連携研究を行うことにより、情報質を取り扱う新たな情報学を確立し、もって多様な価値を享受できる社会の実現に貢献する。
タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター	先端的な推論・認識能力と高機能計算基盤を持つロバストなフィジカルシステム及びサービスに関する研究開発を通して、無限定な実世界で安定して稼働するタフ・サイバーフィジカル AI を実現するとともに、産官学連携の下、社会課題の解決に向けた研究成果の社会実装及び若手人材の育成を行い、もってレジリエントでスマートな社会の発展に貢献する。
データ駆動科学・AI 教育研究センター	数理分野、データ科学分野及び AI 分野の教育研究の充実並びに展開において中核的な役割を担うとともに、教育の情報化に関する研究開発及び支援を通じて本学における教育の高度化を図り、もって社会の革新の原動力となる人材の育成に貢献する。
国際放射光イノベーション・スマート研究センター	次世代放射光施設を活用した新学術の創発及び未踏研究領域の開拓、社会連携に基づく未来価値創造の支援並びに国際連携体制の構築を行うとともに、これらを通じて国際的な指導者として活躍する人材を育成する。
オープンオンライン教育開発推進センター	本学における大規模公開オンライン講座に関する研究開発、企画及び支援を関係部局との連携の下、一体的に行うとともに、本学の教育研究成果をオンライン教育により国内外へ発信及び公開することにより、本学の教育研究の一層の発展に寄与する。

施設名	設置目的
未来科学技術共同研究センター	社会の要請に応える新しい技術・製品の実用化並びに新しい産業の創出を社会へ提案することを目指し、産業界等との共同研究の推進を図り、先端的かつ独創的な開発研究を行う。
環境保全センター	本学の教育研究活動に伴って生ずる有害物質を含む排水、廃油及び廃有機溶剤（放射性物質を含む廃棄物を除く。）を適正に処理し、及びその処理に関する技術開発等を行うとともに、化学原料化において２次公害となる物質の排出を抑制する技術を確立することにより、環境の保全に資する。
動物・遺伝子実験センター	環境・安全委員会の専門委員会が行う実験計画の審査、法令遵守及び安全管理に関する事項並びに実験実施者・実験従事者等に対する教育訓練等の実施について支援することにより、本学における動物・遺伝子実験の適法性を確保し、及び動物・遺伝子実験に係る安全管理を推進する。
東北メディカル・メガバンク機構	東日本大震災における被災地の長期健康調査のための大規模コホート調査による医療健康福祉情報とゲノム情報をつなぐ新たな複合バイオバンクの構築及び次世代生命医療情報システムの研究拠点形成を通じた人材養成の推進により、医療資源の有効的活用等による医療過疎問題の改善及び先進的ゲノム医療の実現を図り、もって東北地方の復興に資する。
マイクロシステム融合研究開発センター	集積化マイクロシステムの研究開発拠点として、企業等との連携によりマイクロシステム融合技術の開発を推進して半導体集積回路分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、情報・通信、製造、医療等の多様な分野において当該技術の実用化を図る。
国際集積エレクトロニクス研究開発センター	集積エレクトロニクス技術を研究開発し、及びその技術に係る国際的産学連携拠点の構築を図ることにより、次世代集積エレクトロニクス分野における我が国の国際的な競争力の強化に寄与するとともに、当該分野の技術の実用化及び新産業の創出を目的とする。
産学連携先端材料研究開発センター	産学官による連携体制を構築し、未来の社会を支える新しい材料に係る加工、製造、処理、分析及び評価の各プロセスにおける技術の研究開発及び実用化を促進することにより、東北地域の産業復興及び我が国の材料分野における国際競争力の強化に寄与する。
レアメタル・グリーンイノベーション研究開発センター	産学官による共同研究とコンソーシアムの形成を通じ、レアメタルのサプライチェーンの構築ならびにグリーンイノベーションを推進して、レアメタルを効率的に利用する産業構造の構築及び省エネルギーによる低炭素社会の実現に資するとともに、これらの研究を通じて次代を担う研究者及び技術者の教育及び育成に貢献する。
原子炉廃止措置基盤研究センター	東京電力株式会社福島第一原子力発電所における原子炉の安全かつ着実な廃止措置に資する基盤技術の研究開発及び原子炉の廃止措置等に関する基盤研究を行うことにより、東日本大震災からの復興及び我が国の原子力分野における国際競争力の強化に寄与する。
未踏スケールデータアナリティクスセンター	従来のデータに比して極めて大規模かつ多様な未踏スケールデータの解析手法の研究開発拠点として、研究分野の枠を越えたデータ駆動型の教育研究の実現及び本学の研究成果の社会実装を図り、もって新たな社会価値の創造及び多様な人材の育成に寄与する。
国際戦略室	本学の戦略的な国際協働並びに包括的な国際化に向けた体制強化を図るための戦略及び施策の立案を行う。
社会連携推進室	卒業生、一般市民、地域団体など社会全体への知の循環及び共有を通じて、本学と社会との互恵関係の維持発展を図るとともに、基金活動の推進及びその活動を通じた社会との新しい関係の構築を図る。
アセットマネジメントセンター	本学の供用可能スペースその他の保有資産の利用を一元的に管理するとともに、その活用について企画し、及び情報を広く学内外に提供することにより、資産の有効活用を図り、もって戦略的な大学経営の推進に資する。
オープンイノベーション事業戦略機構	事業戦略に深く関わる大型の共同研究を専門的な人材による集中管理体制の下で戦略的に企画及び推進すること並びに社会ニーズや企業の事業化戦略に即して本学の研究成果を企業に提供し、事業化を推進することにより、社会的インパクトの大きいイノベーションの創出を図り、もって大学全体として社会変革を先導する。
共創戦略センター	産学官が連携した多様な分野の知と人材の力をもって、卓越した知を基盤とする新たな社会価値の創造、知識集約型社会の担い手となる人材育成等を戦略的に推進することにより、社会とともに持続可能で夢のある豊かな未来社会に向けた変革・イノベーションを先導していく。

附属図書館

所蔵

（2023年3月31日現在）

区　分		種　別	本　館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計
冊子	図　書（冊数）	和漢書	1,705,769	158,474	95,409	184,580	97,125	2,241,357
		洋　書	1,179,143	235,718	286,342	183,757	63,290	1,948,250
		計	2,884,912	394,192	381,751	368,337	160,415	4,189,607
	雑　誌（種類数）	和雑誌	26,973	5,321	2,436	4,014	4,392	43,136
		洋雑誌	16,740	9,395	8,246	4,370	2,307	41,058
		計	43,713	14,716	10,682	8,384	6,699	84,194
電子	電子ブック（タイトル数）							24,080
	電子ジャーナル（種類数）							15,082

利用状況

（2022年度）

区　分	本　館	医学分館	北青葉山分館	工学分館	農学分館	計
入館者	378,999	127,714	926	100,381	41,973	649,993
貸出図書	135,034	15,520	2,637	34,574	7,684	195,449
電子ブックアクセス数（全館合計）						220,035
電子ジャーナルアクセス数（全館合計）						5,565,717

蔵書の特徴

1. 国　　宝	史　記　孝文本紀第十（平安時代） 類聚國史　巻第二十五（平安時代）
2. 貴重図書	和漢書820点（うち狩野文庫574点）、西蔵大蔵経（デルゲ版）、漱石文庫、秋田家史料、洋書約200点
3. 準貴重図書	狩野文庫、和算関係資料、晩翠文庫、櫛田（民蔵）文庫、ヴント文庫（Wilhelm Wundt）、ケーベル文庫（Raphael von Koeber）、シュタイン文庫（Friedrich Stein）、ゼッケル文庫（Emil Seckel）、チーテルマン文庫（Ernst Zitelmann）、古文書資料群、ヴィルヘルム・ヴィンデルバント直筆ノート（Wilhelm Windelband）、シュマルゾー文庫（August Schmarsow）、ミュンスターベルク文庫（Oskar Munsterberg）、プロテスタント運動資料、熱海文庫、ヴュルフェル文庫（Georg Würfel）、仏書古写本他
4. その他文庫等	阿部（次郎）文庫、大類（伸）文庫、児島（喜久雄）文庫、石津（照璽）文庫、梅原（末治）文庫、矢島（玄亮）文庫、和田（佐一郎）文庫、須永（重光）文庫、木下（彰）文庫、高柳（真三）文庫、宮田（光雄）文庫、伊東（信雄）文庫、河野（与一）文庫、中野（正）文庫、中村（吉治）文庫、平山（諦）文庫、松本（金寿）文庫、柳瀬（良幹）文庫、金谷（治）文庫、芹澤（長介）文庫、武内（義雄）文庫、晴山文書、齋藤養之助家史料



附属図書館本館地下書庫



附属図書館農学分館



国宝（史記　孝文本紀　第十）

病院

（2023年5月1日現在）

部門	診療科		病床数
医科部門	内科	総合診療科、循環器内科、総合感染症科、腎臓・高血圧内科、血液内科、リウマチ膠原病内科、糖尿病代謝・内分泌内科、消化器内科、加齢・老年病科、漢方内科、心療内科、呼吸器内科、腫瘍内科	1,160
	外科	総合外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、呼吸器外科、麻酔科、緩和医療科、救急科	
	産婦人科・泌尿生殖器科	婦人科、産科、泌尿器科	
	脳・神経・精神科	脳神経内科、脳神経外科、精神科	
	小児科	小児科、遺伝科、小児腫瘍科	
	感覚器・理学診療科	皮膚科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、てんかん科、リハビリテーション科、高次脳機能障害科	
	放射線科	放射線治療科、放射線診断科	
歯科部門	口腔育成系診療科	小児歯科、矯正歯科	
	口腔維持系診療科	口腔支持療法科、顎口腔画像診断科、歯科顎口腔外科、歯科麻酔疼痛管理科	
	口腔修復系診療科	歯内療法科、咬合修復科	
	口腔回復系診療科	咬合回復科、歯周病科、口腔機能回復科	

患者数

（2022年度 1年間）

部門／入院	延患者数	1日平均患者数
医科部門	301,251	825
歯科部門	9,831	27
部門／外来	**延患者数**	**1日平均患者数**
医科部門	615,700	2,534
歯科部門	141,460	582

先進医療

（2023年5月1日現在）

ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）
細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）
テモゾロミド用量強化療法
腹腔鏡下スリーブ状胃切除術及び十二指腸空腸バイパス術
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法
細胞診検体を用いた遺伝子検査
術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブ―パクリタキセル静脈内投与の併用療法
生体肝移植術（切除が不可能な肝門部胆管がんに対する）
術後のカペシタビン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法



学生数

（2023年5月1日現在）

学生総数

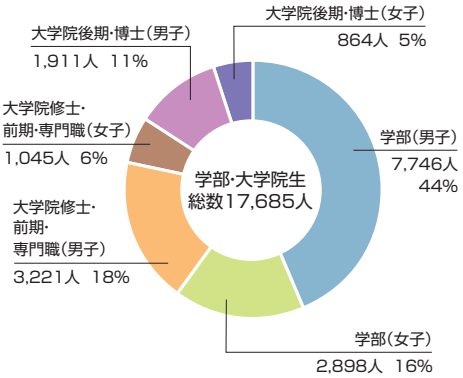
区分	学生定員	在籍者		内　留学生数			研究生 特別聴講学生 特別研究学生 科目等履修生 学部入学前教育受講生 日本語研修コース
				国費	私費	計	
学部学生	9,964	10,644	(2,898)	70	128	198	298
大学院学生（修士・前期・専門職）	3,892	4,266	(1,045)	77	636	713	199
大学院学生（後期・博士）	2,480	2,775	(864)	137	701	838	
計	16,336	17,685	(4,807)	284	1,465	1,749	497
研究所	—	—	—	—	—	—	14
その他	—	—	—	—	—	—	22
合計	16,336	17,685	(4,807)	284	1,465	1,749	533

（　）の数は女子で内数。

学　部

学部名	総定員	在　籍　者		
文　学　部	840	970	(483)	[7]
教　育　学　部	280	308	(168)	[10]
法　学　部	640	692	(259)	[3]
経　済　学　部	1,080	1,112	(206)	[8]
理　学　部	1,296	1,377	(198)	[36]
医　学　部	1,310	1,368	(628)	[5]
歯　学　部	318	322	(150)	[13]
薬　学　部	360	382	(119)	[1]
工　学　部	3,240	3,468	(399)	[96]
農　学　部	600	645	(288)	[19]
計	9,964	10,644	(2,898)	[198]

（　）の数は女子で内数、［　］の数は外国人留学生で内数



大学院

研究科等名	前期・修士				後期・博士			
	総定員	在　籍　者			総定員	在　籍　者		
文　学　研　究　科	178	214	(116)	[101]	114	202	(102)	[68]
教　育　学　研　究　科	90	102	(63)	[28]	45	68	(34)	[8]
法　学　研　究　科	20	13	(9)	[10]	36	43	(16)	[18]
経　済　学　研　究　科	120	114	(40)	[84]	42	55	(24)	[39]
理　学　研　究　科	524	539	(73)	[49]	390	275	(49)	[70]
医　学　系　研　究　科	184	196	(114)	[27]	583	750	(263)	[104]
歯　学　研　究　科	16	22	(18)	[4]	168	178	(88)	[40]
薬　学　研　究　科	108	135	(34)	[7]	70	61	(13)	[12]
工　学　研　究　科	1,272	1,519	(186)	[168]	522	584	(94)	[255]
農　学　研　究　科	250	258	(98)	[36]	111	117	(34)	[31]
国　際　文　化　研　究　科	70	62	(48)	[51]	48	65	(41)	[43]
情　報　科　学　研　究　科	280	313	(42)	[63]	126	129	(28)	[52]
生　命　科　学　研　究　科	212	221	(81)	[28]	90	93	(29)	[23]
環　境　科　学　研　究　科	200	188	(35)	[33]	99	100	(36)	[61]
医　工　学　研　究　科	78	86	(20)	[8]	36	48	(11)	[14]
教育情報学教育部	—	—	—	—	—	7	(2)	[0]
計	3,602	3,982	(977)	[697]	2,480	2,775	(864)	[838]

（　）の数は女子で内数、［　］の数は外国人留学生で内数

大学院（専門職学位課程）

研究科等名	総定員	在　籍　者		
法　学　研　究　科	210	197	(59)	[2]
経　済　学　研　究　科	80	87	(9)	[14]
計	290	284	(68)	[16]

（　）の数は女子で内数、［　］の数は外国人留学生で内数

入学状況

（2023年度）

学部

学部名		入学定員	入学志願者		入学者	
文学部		210	543	(307)	228	(125)
教育学部		70	251	(131)	73	(42)
法学部		160	442	(159)	164	(72)
経済学部	(文系)	230	841	(180)	234	(58)
	(理系)	30	116	(20)	34	(3)
		20	16	《3》	0	《0》
理学部		324	1,366	(244)	330	(51)
医学部	医学科	116	503	(174)	122	(40)
	保健学科	144	399	(287)	149	(111)
歯学部		53	192	(91)	54	(25)
薬学部		80	248	(94)	85	(24)
工学部		810	2,130	(300)	814	(97)
農学部		150	486	(239)	157	(75)
計		2,377	7,517	(2,226)	2,444	(723)
		20	16	《3》	0	《0》

（ ）の数は女子で内数。経済学部下欄の数は3年次編入学に係る数字で外数、《 》の数は女子で内数

大学院

研究科等名	前期・修士・後期・博士・専門職別	入学定員	入学志願者		入学者	
文学研究科	前期	89	161	(83)	83	(39)
	後期	38	48	(27)	41	(23)
教育学研究科	前期	45	124	(82)	48	(27)
	後期	15	21	(16)	13	(10)
法学研究科	前期	10	10	(6)	5	(4)
	後期	12	8	(2)	3	(1)
	専門職	80	339	(93)	82	(19)
経済学研究科	前期	60	106	(43)	37	(19)
	後期	14	9	(5)	7	(5)
	専門職	40	213	(65)	36	(2)
理学研究科	前期	262	312	(36)	244	(29)
	後期	130	69	(8)	67	(8)
医学系研究科	修士	40	47	(29)	39	(24)
	博士	130	126	(35)	123	(35)
	前期	52	59	(37)	48	(30)
	後期	21	19	(12)	18	(11)
歯学研究科	修士	8	10	(8)	9	(7)
	博士	42	40	(23)	34	(19)
薬学研究科	博士	4	6	(3)	6	(3)
	前期	54	70	(18)	68	(17)
	後期	18	18	(2)	17	(2)
工学研究科	前期	636	919	(102)	698	(79)
	後期	174	156	(25)	147	(24)
農学研究科	前期	125	174	(58)	130	(45)
	後期	37	21	(7)	19	(6)
国際文化研究科	前期	35	67	(43)	22	(17)
	後期	16	14	(10)	10	(7)
情報科学研究科	前期	140	195	(23)	138	(16)
	後期	42	23	(6)	23	(6)
生命科学研究科	前期	106	104	(28)	87	(25)
	後期	30	23	(4)	22	(4)
環境科学研究科	前期	100	102	(14)	84	(12)
	後期	33	16	(5)	15	(5)
医工学研究科	前期	39	50	(12)	38	(9)
	後期	12	10	(1)	9	(1)
計	修士	48	57	(37)	48	(31)
	博士	176	172	(61)	163	(57)
	前期	1,753	2,453	(585)	1,730	(368)
	後期	592	455	(130)	411	(113)
	専門職	120	552	(158)	118	(21)

（ ）の数は女子で内数







令和5年度入学式　2023年4月5日

入学状況

（2023年4月1日現在）

出身都道府県別　学部入学志願者・入学者

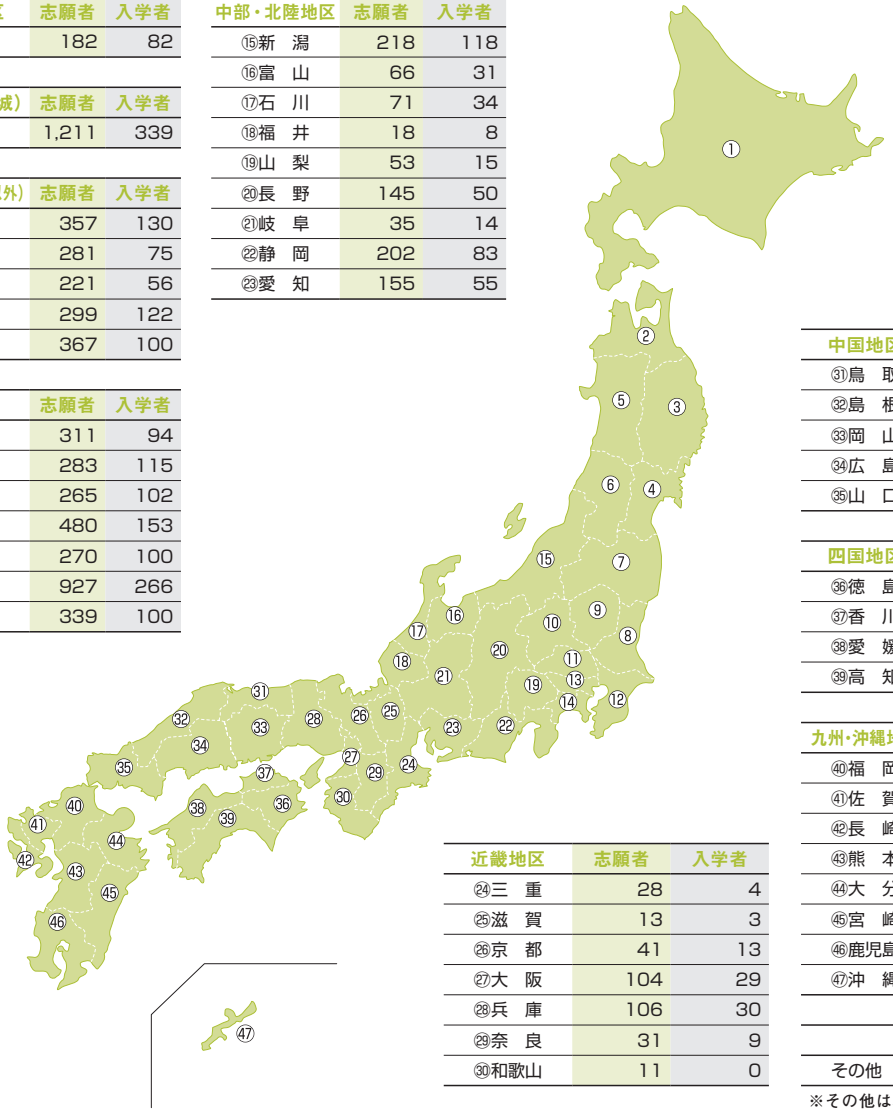
北海道地区	志願者	入学者
①北海道	182	82

東北地区（宮城）	志願者	入学者
④宮　城	1,211	339

東北地区（宮城以外）	志願者	入学者
②青　森	357	130
③岩　手	281	75
⑤秋　田	221	56
⑥山　形	299	122
⑦福　島	367	100

関東地区	志願者	入学者
⑧茨　城	311	94
⑨栃　木	283	115
⑩群　馬	265	102
⑪埼　玉	480	153
⑫千　葉	270	100
⑬東　京	927	266
⑭神奈川	339	100

中部・北陸地区	志願者	入学者
⑮新　潟	218	118
⑯富　山	66	31
⑰石　川	71	34
⑱福　井	18	8
⑲山　梨	53	15
⑳長　野	145	50
㉑岐　阜	35	14
㉒静　岡	202	83
㉓愛　知	155	55



近畿地区	志願者	入学者
㉔三　重	28	4
㉕滋　賀	13	3
㉖京　都	41	13
㉗大　阪	104	29
㉘兵　庫	106	30
㉙奈　良	31	9
㉚和歌山	11	0

中国地区	志願者	入学者
㉛鳥　取	7	1
㉜島　根	8	2
㉝岡　山	37	13
㉞広　島	37	8
㉟山　口	19	7

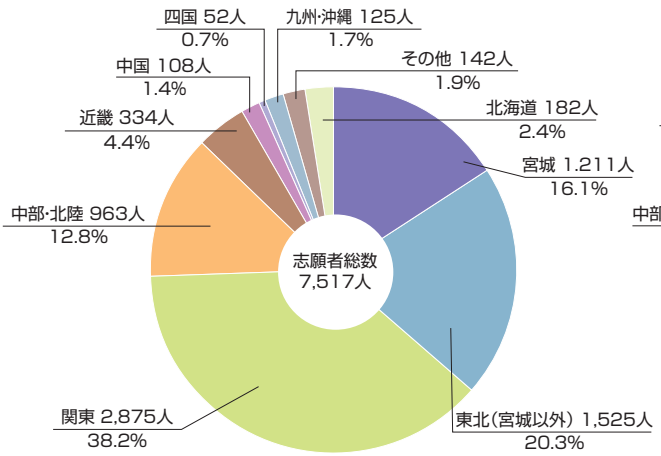
四国地区	志願者	入学者
㊱徳　島	15	6
㊲香　川	9	0
㊳愛　媛	23	5
㊴高　知	5	1

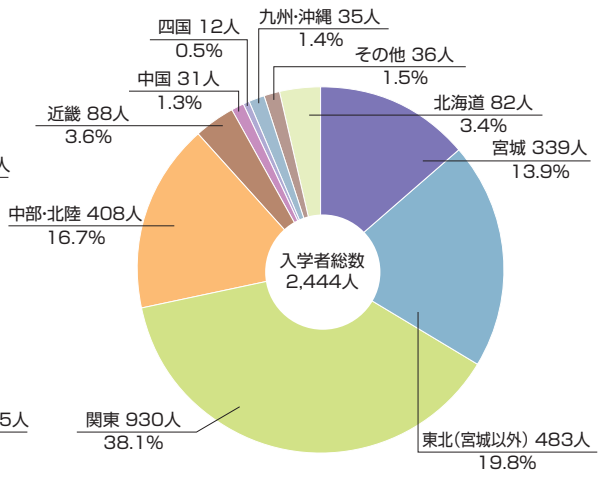
九州・沖縄地区	志願者	入学者
㊵福　岡	34	10
㊶佐　賀	4	1
㊷長　崎	19	8
㊸熊　本	12	3
㊹大　分	5	2
㊺宮　崎	10	1
㊻鹿児島	12	4
㊼沖　縄	29	6

	志願者	入学者
その他	142	36

※その他は、帰国生徒、高専等の高校以外、高等学校卒業程度認定試験、私費外国人留学生及び国費外国人留学生等の数である。

2023年度（令和5年度）　学部入学志願者・入学者の出身地区別内訳





学部卒業生数・学位授与者数

学部卒業生数

(2023年3月31日現在)

区分	旧制（昭和24年4月以前入学者）	新制（昭和24年5月以降入学者）	
		令和4年度	累計
文学部	1,277	199	12,507
教育学部	—	65	7,313
法学部	3,844	163	13,679
経済学部	1,446	270	16,121
理学部	2,747	320	18,776
医学部	3,290	269	9,709
歯学部	—	53	2,901
薬学部	—	85	4,471
工学部	3,953	834	53,365
農学部	679	151	10,123
計	17,236	2,409	148,965

※農学部の旧制には、林学士59名を含む

学位授与者数（修士）

(2023年3月31日現在)

区分	令和4年度	累計
文学研究科	84	3,996
教育学研究科	42	1,475
法学研究科	13	657
経済学研究科	67	1,731
理学研究科	246	11,624
医学系研究科	113	1,613
歯学研究科	7	112
薬学研究科	58	2,745
工学研究科	694	28,923
農学研究科	107	4,932
国際文化研究科	24	1,033
情報科学研究科	129	3,952
生命科学研究科	92	2,006
環境科学研究科	93	1,866
医工学研究科	40	538
教育情報学教育部	—	191
計	1,809	67,394

学位授与者数（専門職）

(2023年3月31日現在)

区分		令和4年度	累計
法学研究科	公共法政策修士	25	428
	法務博士	40	980
経済学研究科	会計修士	31	623
計		96	2,031

学位授与者数（博士）

(2023年3月31日現在)

区分	旧制（昭和28年3月以前入学者）	新制（課程）（昭和28年4月以降入学者）		新制（論博）（昭和28年4月以降入学者）	
		令和4年度	累計	令和4年度	累計
文学研究科	96	28	656	5	325
教育学研究科	—	11	242	0	136
法学研究科	38	6	151	1	56
経済学研究科	50	8	356	0	118
理学研究科	944	67	3,475	4	1,276
医学系研究科	3,715	142	4,785	7	3,547
歯学研究科	—	37	1,019	2	218
薬学研究科	—	16	696	5	614
工学研究科	554	119	6,178	0	2,244
農学研究科	152	23	1,327	2	797
国際文化研究科	—	6	240	0	11
情報科学研究科	—	33	854	0	72
生命科学研究科	—	16	461	1	35
環境科学研究科	—	39	470	0	25
医工学研究科	—	15	118	0	4
教育情報学教育部	—	3	55	0	3
計	5,549	569	21,083	27	9,481





令和5年3月学位記授与式　2023年3月24日



卒業後の状況 進路状況調(2022年度卒業・修了)

(2023年5月1日現在)

学　部

区　分		卒業者数		進学者数		臨床研修医等		就職者数等		うち県内就職等		うち県外就職等		その他	
文　学　部		199	(107)	38	(13)	—	—	133	(81)	33	(23)	100	(58)	28	(13)
教育学部		65	(28)	12	(4)	—	—	52	(23)	7	(6)	45	(17)	1	(1)
法　学　部		163	(56)	34	(7)	—	—	111	(42)	15	(7)	96	(35)	18	(7)
経済学部		270	(43)	18	(2)	—	—	230	(38)	12	(3)	218	(35)	22	(3)
理　学　部		320	(46)	262	(34)	—	—	44	(10)	4	(1)	40	(9)	14	(2)
医　学　部	6年	130	(26)	0	(0)	121	(25)	2	(0)	0	(0)	2	(0)	7	(1)
	4年	139	(109)	56	(34)	—	—	82	(74)	34	(30)	48	(44)	1	(1)
歯　学　部		53	(25)	1	(1)	41	(20)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	11	(4)
薬　学　部	6年	20	(11)	2	(1)	—	—	17	(10)	1	(1)	16	(9)	1	(0)
	4年	65	(14)	65	(14)	—	—	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
工　学　部		834	(96)	741	(77)	—	—	72	(17)	10	(2)	62	(15)	21	(2)
農　学　部		151	(52)	126	(36)	—	—	20	(15)	1	(1)	19	(14)	5	(1)
計		2,409	(613)	1,355	(223)	162	45	763	(310)	117	(74)	646	(236)	129	(35)

( )は女子で内数。その他…試験準備、帰国、未就職者等
※就職者等には、短時間勤務の有期雇用労働者等2名を含む。

研究科：前期2年の課程

区　分	修了者数		進学者数		臨床研修医等		就職者数等		うち県内就職等		うち県外就職等		その他	
文学研究科	84	(49)	22	(11)	—	—	39	(20)	5	(3)	34	(17)	23	(18)
教育学研究科	42	(27)	7	(7)	—	—	23	(12)	8	(4)	15	(8)	12	(8)
法学研究科	13	(9)	3	(2)	—	—	4	(3)	1	(1)	3	(2)	6	(4)
経済学研究科	67	(27)	15	(10)	—	—	33	(11)	0	(0)	33	(11)	19	(6)
理学研究科	246	(35)	76	(11)	—	—	164	(23)	8	(1)	156	(22)	6	(1)
医学系研究科	64	(42)	13	(9)	—	—	41	(26)	14	(6)	27	(20)	10	(7)
薬学研究科	58	(17)	17	(3)	—	—	39	(13)	1	(1)	38	(12)	2	(1)
工学研究科	694	(73)	93	(13)	—	—	588	(58)	20	(0)	568	(58)	13	(2)
農学研究科	107	(44)	11	(2)	—	—	91	(39)	5	(3)	86	(36)	5	(3)
国際文化研究科	24	(17)	7	(5)	—	—	11	(6)	1	(1)	10	(5)	6	(6)
情報科学研究科	129	(13)	14	(3)	—	—	99	(7)	2	(1)	97	(6)	16	(3)
生命科学研究科	92	(39)	26	(7)	—	—	59	(30)	2	(1)	57	(29)	7	(2)
環境科学研究科	93	(19)	8	(3)	—	—	81	(14)	5	(1)	76	(13)	4	(2)
医工学研究科	40	(8)	8	(0)	—	—	32	(8)	0	(0)	32	(8)	0	(0)
計	1,753	(419)	320	(86)	0	(0)	1,304	(270)	72	(23)	1,232	(247)	129	(63)

( )は女子で内数。その他…試験準備、帰国、未就職者等
※就職者等には、短時間勤務の有期雇用労働者等9名を含む。

研究科：後期３年の課程

区　分	修了者数		進学者数		臨床研修医等		就職者数等		うち県内就職等		うち県外就職等		その他		修了者のうちポストドクターとなった者	
文学研究科	28	(13)	0	(0)	—	—	21	(8)	14	(6)	7	(2)	7	(5)	10	(5)
教育学研究科	11	(4)	0	(0)	—	—	11	(4)	6	(2)	5	(2)	0	(0)	5	(2)
法学研究科	6	(1)	0	(0)	—	—	6	(1)	3	(1)	3	(0)	0	(0)	0	(0)
経済学研究科	8	(5)	1	(1)	—	—	5	(2)	2	(1)	3	(1)	2	(2)	0	(0)
理学研究科	67	(12)	1	(0)	—	—	58	(11)	11	(5)	47	(6)	8	(1)	22	(5)
医学系研究科	21	(15)	0	(0)	—	—	21	(15)	9	(6)	12	(9)	0	(0)	1	(0)
薬学研究科	16	(4)	0	(0)	—	—	14	(3)	0	(0)	14	(3)	2	(1)	1	(0)
工学研究科	119	(18)	0	(0)	—	—	108	(15)	28	(7)	80	(8)	11	(3)	21	(4)
農学研究科	23	(10)	0	(0)	—	—	22	(10)	9	(5)	13	(5)	1	(0)	8	(5)
国際文化研究科	6	(3)	0	(0)	—	—	4	(2)	2	(1)	2	(1)	2	(1)	2	(1)
情報科学研究科	33	(7)	0	(0)	—	—	26	(3)	7	(1)	19	(2)	7	(4)	10	(1)
生命科学研究科	16	(4)	0	(0)	—	—	13	(2)	3	(1)	10	(1)	3	(2)	4	(1)
環境科学研究科	39	(11)	0	(0)	—	—	32	(9)	8	(3)	24	(6)	7	(2)	14	(6)
医工学研究科	15	(5)	0	(0)	—	—	13	(4)	3	(0)	10	(4)	2	(1)	1	(0)
教育情報学教育部	3	(1)	0	(0)	—	—	3	(1)	2	(1)	1	(0)	0	(0)	1	(0)
計	411	(113)	2	(1)	0	(0)	357	(90)	107	(40)	250	(50)	52	(22)	100	(30)

（　）は女子で内数。その他…試験準備、帰国、未就職者等
※就職者等には、短時間勤務の有期雇用労働者等36名を含む。

研究科：修士課程

区　分	修了者数		進学者数		臨床研修医等		就職者数		うち県内就職		うち県外就職		その他	
医学系研究科	49	(28)	20	(8)	—	—	27	(18)	8	(2)	19	(16)	2	(2)
歯学研究科	7	(7)	1	(1)	—	—	6	(6)	3	(3)	3	(3)	0	(0)
計	56	(35)	21	(9)	0	(0)	33	(24)	11	(5)	22	(19)	2	(2)

（　）は女子で内数。その他…試験準備、帰国、未就職者等
※就職者等には、短時間勤務の有期雇用労働者等3名を含む。

研究科：博士課程

区　分	修了者数		進学者数		臨床研修医等		就職者数等		うち県内就職等		うち県外就職等		その他		修了者のうちポストドクターとなった者	
医学系研究科	121	(27)	0	(0)	—	—	113	(23)	64	(11)	49	(12)	8	(4)	6	(1)
歯学研究科	37	(19)	0	(0)	—	—	37	(19)	18	(10)	19	(9)	0	(0)	1	(1)
薬学研究科	0	(0)	0	(0)	—	—	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)	0	(0)
計	158	(46)	0	(0)	0	(0)	150	(42)	82	(21)	68	(21)	8	(4)	7	(2)

（　）は女子で内数。その他…試験準備、帰国、未就職者等
※就職者等には、短時間勤務の有期雇用労働者等19名を含む。

研究科：専門職学位課程

区　分	修了者数		進学者数		臨床研修医等		就職者数		うち県内就職		うち県外就職		その他	
法学研究科	25	(5)	2	(0)	—	—	23	(5)	2	(0)	21	(5)	0	(0)
法学研究科（法科大学院）	40	(4)	1	(0)	—	—	3	(1)	1	(0)	2	(1)	36	(3)
経済学研究科	31	(7)	0	(0)	—	—	18	(3)	2	(0)	16	(3)	13	(4)
計	96	(16)	3	(0)	0	(0)	44	(9)	5	(0)	39	(9)	49	(7)

（　）は女子で内数。その他…試験準備、帰国、未就職者等

産業別就職者数

（2023年5月1日現在）

学　部

区分	文学部	教育学部	法学部	経済学部	理学部	医学部	歯学部	薬学部	工学部	農学部	計
農業、林業、漁業	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	3
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
建設業	3	0	0	4	1	0	0	0	6	2	16
製造業	10	6	9	30	3	1	0	6	20	5	90
電気・ガス・熱供給・水道業	2	2	6	4	0	0	0	0	3	1	18
情報通信業	28	5	10	39	12	2	0	0	19	4	119
運輸業、郵便業	6	1	3	6	1	0	0	0	3	0	20
卸売業、小売業	6	0	6	11	1	1	0	5	2	1	33
金融業、保険業	10	1	13	42	7	0	0	0	2	1	76
不動産業、物品賃貸業	1	0	6	10	1	1	0	0	0	0	19
学術研究、専門・技術サービス業	5	1	5	29	0	2	0	1	6	1	50
宿泊業、飲食サービス業	3	1	0	1	2	0	0	0	0	0	7
生活関連サービス業、娯楽業	2	3	0	3	1	1	0	0	2	0	12
教育、学習支援業	8	5	1	3	10	0	0	0	1	1	29
医療、福祉	6	2	0	2	0	74	0	4	0	0	88
複合サービス事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス業(他に分類されないもの)	7	0	4	9	3	0	0	0	3	0	26
公務(国家公務)	11	7	32	21	1	0	0	1	1	1	75
公務(地方公務)	25	7	16	16	0	1	0	0	3	1	69
その他	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11
計	133	52	111	230	44	83	0	17	71	20	761

大学院

区分	文学研究科	教育学研究科	法学研究科	経済学研究科	理学研究科	医学系研究科	歯学研究科	薬学研究科	工学研究科	農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	教育情報学教育部	計
農業、林業、漁業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
建設業	0	0	0	1	1	0	0	0	45	0	0	1	0	6	1	0	55
製造業	2	2	0	7	91	15	0	41	372	41	4	42	36	52	28	0	733
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	1	1	4	0	0	1	41	2	0	3	0	8	0	0	61
情報通信業	10	2	3	15	35	5	0	0	83	12	2	45	7	11	3	0	233
運輸業、郵便業	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	4	0	1	0	0	19
卸売業、小売業	1	0	1	3	4	1	0	2	4	9	0	0	1	1	1	0	28
金融業、保険業	2	1	4	5	6	2	0	0	7	6	1	1	1	0	0	0	36
不動産業、物品賃貸業	0	0	0	0	0	0	0	0	11	1	0	0	0	1	0	0	13
学術研究、専門・技術サービス業	2	0	3	10	35	8	0	6	55	10	2	4	7	12	2	0	156
宿泊業、飲食サービス業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	3
生活関連サービス業、娯楽業	1	0	0	1	1	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	6
教育、学習支援業	32	14	5	5	24	27	12	1	34	13	2	4	9	14	3	1	200
医療、福祉	0	2	1	0	0	111	26	1	0	1	0	0	1	0	1	0	144
複合サービス事業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
サービス業(他に分類されないもの)	3	0	1	3	8	5	0	1	10	4	0	3	1	1	0	1	41
公務(国家公務)	1	0	12	1	2	0	0	0	10	3	1	1	2	3	1	0	37
公務(地方公務)	5	9	3	1	2	7	1	0	4	6	0	1	3	0	0	0	42
その他	0	1	2	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	2	1	0	9
計	60	31	36	54	214	181	40	53	692	112	13	110	70	112	41	2	1,821

学友会

大学の学問以外に、文化、体育などに関する自発的な活動のための全学的な組織が学友会です。
学友会は、本学の教職員・学生の全員で組織され、会員のご支援により、その運営（大学祭、新入生歓迎会、サークル活動等の援助）が行われています。

中央各部

部名	所掌事項等
総務部	一般的企画及び各部の連絡調整並びに学友会全体の庶務及び会計に関することを行います。
文化部	文化の交流並びに向上に資する事業を行います。文化部に所属する部が２５部あります。
体育部	体育の振興と発展に資する事業を行います。体育部に所属する部が４８部あります。
報道部	「東北大学新聞」の発行を行います。

文化部

	部名
1	男声合唱部
2	混声合唱部
3	交響楽部
4	美術部
5	映画部
6	演劇部
7	写真部
8	茶道部
9	能楽部
10	邦楽部
11	放送研究部
12	アマチュア無線部
13	落語研究部

	部名
14	E. S. S. 部
15	囲碁部
16	奇術部
17	軽音楽部
18	マンドリン楽部
19	化学部
20	オーディオ研究部
21	吹奏楽部
22	将棋部
23	書道部
24	生活部
25	アカペラコーラス部



男声合唱部

体育部

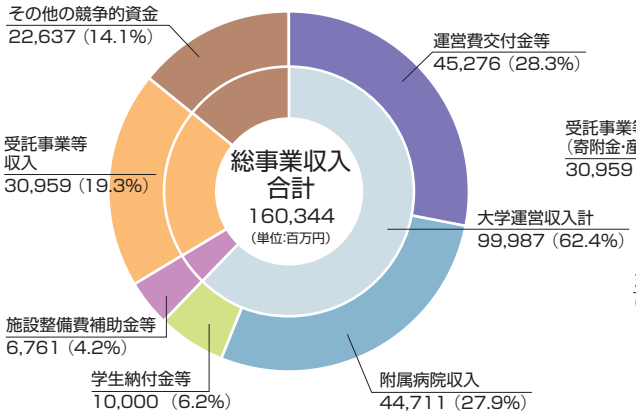
	部名
1	陸上競技部
2	硬式野球部
3	準硬式野球部
4	硬式庭球部
5	軟式庭球部
6	ラグビー部
7	男子バレーボール部
	女子バレーボール部
8	蹴球部
9	男子バスケットボール部
	女子バスケットボール部
10	卓球部
11	山岳部
12	水泳部
13	漕艇部
14	ヨット部
15	スケート部
16	乗馬部
17	バドミントン部
18	柔道部
19	スキー部
20	ハンドボール部
21	航空部
22	剣道部
23	弓道部
24	空手道部

	部名
25	自動車部
26	ワンダーフォーゲル部
27	ゴルフ部
28	合気道部
29	フェンシング部
30	応援団
31	サイクリング部
32	ボディビル部
33	少林寺拳法部
34	体操部
35	アメリカン・フットボール部
36	オリエンテーリング部
37	競技舞踏部
38	アーチェリー部
39	トライアスロン部
40	男子ラクロス部
	女子ラクロス部
41	レーシングカート部
42	相撲部
43	ソフトボール部
44	防具空手道部
45	人力飛行部
46	フットサル部
47	軟式野球部
48	水球部

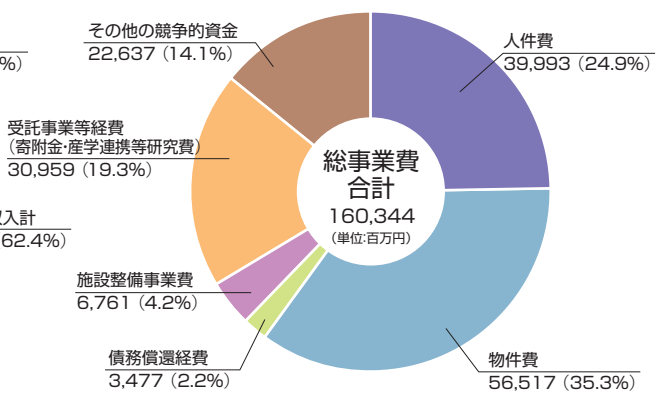
他　準加盟・登録　109団体

2023年度（令和5年度）収入・支出予算

収入予算総額



支出予算総額



研究費等受入状況

科学研究費助成事業交付実績

（2022年度）

研究種目	採択件数（件）	交付額（千円）		
		直接経費	間接経費	計
新学術領域研究	65	540,900	162,270	703,170
学術変革領域研究（A・B）	80	618,600	185,580	804,180
基盤研究（S・A・B・C）	1,432	5,154,450	1,546,335	6,700,785
挑戦的研究（開拓）	24	145,500	43,650	189,150
挑戦的研究（萌芽）	212	444,700	133,410	578,110
若手研究	487	558,600	167,580	726,180
研究活動スタート支援	76	81,600	24,480	106,080
奨励研究	12	5,680	0	5,680
研究成果公開促進費（学術図書・ひらめき☆ときめきサイエンス）	5	6,000	0	6,000
特別研究員奨励費	306	267,600	11,970	279,570
国際共同研究加速基金（国際共同研究強化（A・B）、帰国発展研究）	52	168,670	50,601	219,271
計	2,751	7,992,300	2,325,876	10,318,176

寄附金・受託研究等契約実績

区分	件数（件）	受入金額（千円）
寄附金	12,970	3,854,238
民間等との共同研究	1,619	8,154,612
受託研究	836	15,347,850
学術指導	401	245,902
計	15,826	27,602,602

研究費等受入状況

その他補助金交付実績

経　　費	採択件数（件）	交付額（千円）		
		直接経費	間接経費	計
科学技術人材育成費補助金	11	1,994,223	0	1,994,223
厚生労働科学研究費補助金	10	221,618	62,413	284,031
研究拠点形成費等補助金	8	508,011	127,907	635,918
大学改革推進等補助金	4	79,682	0	79,682
国際化拠点整備事業費補助金	3	172,508	15,501	188,009
情報知能システム研究センター支援補助金	1	27,340	0	27,340
原子力人材育成等推進事業費補助金	4	40,823	0	40,823
中小企業経営支援等対策費補助金	11	64,338	12,141	76,479
高性能汎用計算機高度利用事業費補助金	3	59,079	12,247	71,326
がん診療連携拠点病院機能強化事業補助金	3	99,260	0	99,260
医療施設運営費等補助金	3	39,657	0	39,657
水産関係民間団体事業補助金	1	3,312	0	3,312
実践的な手術手技向上研修事業	1	7,108	0	7,108
研究大学強化促進費補助金	3	249,100	0	249,100
地域医療介護総合確保基金	14	260,256	0	260,256
医療研究開発推進事業費補助金	14	2,609,761	35,431	2,645,192
我が国周辺水産資源調査・評価推進事業	2	1,000	0	1,000
移植対策（造血幹細胞）事業費補助金	1	32,629	0	32,629
病院内保育所運営事業補助金	1	85,165	0	85,165
地域復興実用化開発等促進事業費補助金	1	17,611	389	18,000
医療提供体制推進事業費補助金	6	61,616	0	61,616
肝炎情報センター戦略的強化事業委託費	2	12,268	0	12,268
企業主導型保育事業	1	95,245	0	95,245
日本中央競馬会畜産振興事業	7	173,455	20,002	193,457
宮城県原子力災害拠点病院体制強化事業	1	2,252	0	2,252
宮城県原子力災害医療施設整備事業	1	4,275	0	4,275
地域イノベーション・エコシステム形成プログラム	1	174,863	0	174,863
労災疾病臨床研究事業費補助金	2	14,100	4,200	18,300
次世代医療機器連携拠点整備等事業	1	9,091	909	10,000
天然記念物再生事業費国庫補助	1	2,997	0	2,997
臨床研修費等補助金	1	13,677	0	13,677
仙台市新型コロナウイルス感染症対策補助金	3	1,400	0	1,400
地域産学官連携科学技術振興事業費補助金	1	110,500	0	110,500
文化芸術振興費補助金	1	1,339	0	1,339
授業料等減免費交付金	1	299,472	0	299,472
課題設定型産業技術開発費助成金	1	8,000	0	8,000
官民による若手研究者発掘支援事業	29	188,093	49,284	237,377
宮城県新型コロナウイルス感染症対策事業医療提供体制整備費補助金	1	2,962,870	0	2,962,870
医療関係者研修費等補助金	1	2,752	0	2,752
建設技術研究開発費補助金	1	7,500	2,250	9,750
既存建築物省エネ化推進事業補助金	1	262	0	262
看護職員等処遇改善事業補助金	1	35,527	0	35,527
CLT 等木質建築部材技術開発・普及事業	1	5,000	0	5,000
志摩市官学連携研究助成事業	1	300	0	300
脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業	1	20,000	0	20,000
国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金	2	3,202	0	3,202
佐渡市域学連携地域づくり応援事業補助金	1	153	0	153
宮城県感染症外来協力医療機関設備整備費補助金	1	10,595	0	10,595
中小企業等知的財産活動支援事業費補助金	1	11,081	0	11,081
仙台市児童福祉施設電気・ガス等補助金	3	3,096	0	3,096
宮城県医療機関等原油価格・物価高騰対策事業費補助金	1	14,500	0	14,500
宮城県・防災訓練等参加支援事業補助金	1	457	0	457
仙台市病原性大腸菌対策関連消耗品購入・検便費補助金	1	31	0	31
計	178	10,822,450	342,674	11,165,124

土地・建物

（2023年7月1日現在）

（単位：㎡）

地区名／面積			土地			建物		
			所有	借入	計	所有	借入	計
宮城県	仙台市	片平地区	229,582	31	229,613	199,211	—	199,211
		米ヶ袋地区	500	—	500	107	—	107
		川内・青葉山地区	2,561,166	20,218	2,581,384	544,731	—	544,731
		土樋地区	2,731	—	2,731	405	—	405
		星陵地区	179,155	59	179,214	334,620	—	334,620
		三条地区	52,911	—	52,911	26,384	—	26,384
		富沢地区	113,877	—	113,877	8,995	—	8,995
		評定河原地区	18,668	—	18,668	781	—	781
		東仙台地区	3,650	—	3,650	2,026	—	2,026
		郷六地区	—	399	399	40	—	40
		南吉成地区	—	3,287	3,287	2,509	—	2,509
		秋保地区	—	4	4	—	20	20
		芋沢地区	—	30	30	—	—	0
		柏木地区	4,402	—	4,402	—	—	0
		八幡地区	1,327	202	1,529	926	—	926
		仙台市内各所（地震観測点）	—	—	0	—	7	7
		学生寄宿舎	28,308	—	28,308	43,385	—	43,385
		職員宿舎	80,439	—	80,439	42,708	—	42,708
		小計	3,276,716	24,230	3,300,946	1,206,828	27	1,206,855
	仙台市外	蔵王地区	—	26,495	26,495	393	9	402
		七ヶ浜地区	—	528	528	383	3	386
		女川・牡鹿地区	25,312	220	25,532	2,127	—	2,127
		鹿島台地区	10,077	—	10,077	270	1	271
		鳴子・川渡地区	18,541,862	1,506	18,543,368	20,201	6	20,207
		岩沼地区	1,594	1,524	3,118	829	533	1,362
		釜房地区	—	1,264	1,264	691	1	692
		気仙沼地区	—	112	112	—	338	338
		米山地区	—	2,000	2,000	101	—	101
		若柳地区	—	100	100	12	—	12
		その他の地区	—	958	958	—	2,701	2,701
		職員宿舎	3,562	—	3,562	0	—	0
		小計	18,582,407	34,707	18,617,114	25,007	3,592	28,599
	計		21,859,123	58,937	21,918,060	1,231,835	3,619	1,235,454

（単位：㎡）

	地区名／面積	土地			建物		
		所有	借入	計	所有	借入	計
宮城県外	青森県	28,506	77,035	105,541	2,687	491	3,178
	秋田県	1,049	4,954	6,003	627	—	627
	山形県	—	935	935	243	15	258
	岩手県	10,014	10,887	20,901	873	16	889
	福島県	990	25,295	26,285	154	76	230
	新潟県	—	302	302	6	4	10
	東京都	—	—	0	—	565	565
	埼玉県	660	1	661	739		739
	茨城県	4,541	12,161	16,702	5,797	7	5,804
	栃木県	—	25	25	—	—	0
	石川県	—	10	10	—	15	15
	岐阜県	—	753	753	424	—	424
	三重県	—	—	—	—	53	53
	大阪府	—	—	0	—	136	136
	兵庫県	—	—	0	—	195	195
	岡山県	—	—	0	—	10	10
	鹿児島県	—	4	4	—	—	0
	計	45,760	132,362	178,122	11,550	1,583	13,133
合計		21,904,883	191,299	22,096,182	1,243,385	5,202	1,248,587



片平キャンパス　上空から

共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）

JST 事業「共創の場形成支援プログラム（COI-NEXT）」は大学等が中心となって未来のあるべき社会像（拠点ビジョン）を策定し、その実現に向けた研究開発を推進するとともに、持続的に成果を創出する自立した産学官共創拠点の形成を目指す産学連携プログラムです。本学は、本プログラムを通じて、企業や自治体、市民など、多様なステークホルダーと共創のもと、拠点ビジョンの達成に向けたバックキャストによるイノベーションに資する研究開発とグローバル課題（地域共創分野では地域課題）の解決、自立的・持続的な拠点形成のために必要な産学官連携マネジメントシステムの構築を同時並行で推進します。

この事業に、本学から３件採択されています。

研究領域・研究タイプ	拠点名称	プロジェクトリーダー	拠点ビジョン
共創分野（本格型） 令和4年度採択 最長10年度 （令和4年度～13年度）	「みえる」からはじまる、人のつながりと自己実現を支えるエンパワーメント社会共創拠点	中澤　徹 医学系研究科教授	「次世代の子供たちに誇れる、誰もが人生のどのステージでも、共に暮らし、働き、遊べることで、主体的に生き生きと暮らせる社会」をビジョンとし、「みえる」を起点に目から全身の健康を管理する未来型健診の仕組み開発などを通じて社会課題を解決しながら社会変革を推進する。
地域共創分野（本格型） 令和5年度昇格採択 最長10年度 （令和5年度～14年度）	美食地政学に基づくグリーンジョブマーケットの醸成共創拠点	松八重　一代 環境科学研究科教授	「気候変動に適応した食のサプライチェーンを実現し、世代を超えた人の繋がりを育み、自然に寄り添い豊かに暮らせる地域共創社会の実現」をビジョンに掲げ、適正な自然資本の管理の下、地域資源を最大限に活かした食と職を豊かにする社会変革を推進する。
共創分野（育成型） 令和4年度採択 2年度 （令和4年度～5年度）	ネイチャーポジティブ成長社会実現拠点	近藤　倫生 生命科学研究科教授	「自然を回復させることで成長発展する自然共生社会の実現」をビジョンとし、産官学民の多様なセクターが共創するハブとして「ネイチャーポジティブのシリコンバレー」を構築する。

知の創出センター

知の創出センターは国際的に開かれた訪問滞在型研究施設を擁する組織として2013年に設置され、主事業として「知のフォーラム」プログラムを運営しています。特定のテーマを設定し、テーマを牽引するノーベル賞級の研究者を招いてさまざまな研究者が協働して取り組む場を提供することで、人類社会の共通課題の解決及び先駆的研究領域の創出を支援します。

人文科学・社会科学・自然科学・工学・医学など、全研究領域を対象としたテーマプログラムを国際公募し、世界第一級の研究者の招聘、国際シンポジウムやワークショップ等を開催しています。若手研究者や学生のプログラム参画を通じて、グローバルな創造的人材の育成にも力を入れています。テーマプログラムに加えて、若手研究者を主体としたジュニアリサーチプログラムを実施しています。産学連携による社会価値の創出を目指した未来社会デザインプログラムも公募しています。

さらに、研究 DX サービスセンターを設置し、日本・世界における DX(デジタルトランスフォーメーション) の状況に関する調査や、セミナー等を通じた情報提供を中心に研究 DX の推進支援を行っています。

科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業・次世代研究者挑戦的研究プログラム

東北大学は文部科学省補助事業「科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業」及び JST 事業「次世代研究者挑戦的研究プログラム」に採択されたことを受け、博士後期課程学生に対する支援を行います。

本事業は、学際・国際・産学共創の学修・研究を志す優秀で意欲にあふれる博士後期課程学生に対し、生活費相当の経済支援及び研究力強化に資する多彩な研修プログラムの提供や研究費の配分、国際的な活躍の場の提供など博士後期課程学生への研究環境を向上させるとともに、博士後期課程修了者の活躍の場の拡大を見据えたキャリア形成支援の強化を加速することで、本学の博士後期課程の量的拡大を図り、博士後期課程の抜本的な改革の推進、大学全体の研究力強化を目的としています。

実施年度	プロジェクト名	最大支援人数
令和３年度～令和８年度	高等大学院博士学生フェローシップ	360名
令和３年度～令和８年度	高等大学院博士後期課程学生挑戦的研究支援プロジェクト	511名

スーパーグローバル大学創成支援

東北大学は、グローバル30や経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援をはじめとする教育の国際化と、知のフォーラムや AIMR をはじめとする研究の国際化に関する先進的な取組を推進してきた実績をさらに加速するため、平成26年度に文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援（トップ型）」に申請し採択されました。この事業は、我が国の高等教育の国際競争力の向上を目的に、海外の卓越した大学との連携や大学改革により“徹底した国際化”を進める大学に対し重点支援が行われ、トップ型には本学を含む13大学が採択されています。

本学が掲げる「東北大学グローバルイニシアティブ構想」は、グローバル時代を牽引する卓越した教育・研究を行う大学へと飛躍し、世界がその実力や実績を認め、敬意を持って評される大学となることを目指すためのものです。本構想実現のために、総長のリーダーシップによる機動的体制整備の一環として「機構化」による運営を取り入れ、機能結集型ガバナンスの実行を伴いながら主に以下の取組を行います。

グローバルイニシアティブ構想の主な取組	事　業　概　要
国際共同大学院プログラム	東北大学の強みや潜在性の分析をもとに、本学が力を発揮し世界を牽引できる分野、今後の発展が期待できる分野、人類が直面している課題・地球規模の問題に挑戦する分野において海外有力大学との強い連携のもと共同教育を実施する「国際共同大学院プログラム」群を創出するものです。令和4年度までにスピントロニクス分野、データ科学分野、日本学分野をはじめとする10のプログラムが開始されており、25の海外有力大学と Jointly Supervised Degree(JSD)/Double Degree(DD) に関する覚書を締結しています。
グローバルリーダー育成の教育基盤整備（FGL プログラム、TGL プログラム、国際共同教育）	「国際化拠点整備事業（グローバル30）」より推進してきた“Future Global Leadership（FGL）Program”をさらに発展させ、全ての研究科が英語で学位取得できる国際コースへ参画することを目指します。
	「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援（全学推進型）」により進めてきた「東北大学グローバルリーダー育成プログラム（TGL プログラム）」を継続・発展させ、グローバルリーダーとしての素養を身に付けた学部学生の育成を推進します。
	海外の大学との組織的・継続的な教育連携を構築するため、国際共同大学院プログラム以外にも、複数の研究科で行っているダブルディグリープログラム等を積極的に推進します。

ムーンショット型研究開発事業

MOONSHOT RESEARCH & DEVELOPMENT PROGRAM

内閣府が主導する「ムーンショット型研究開発事業」は、日本発の独創的な基礎研究成果を破壊的イノベーションに結びつけることを目的に、従来技術の延長にない、より大胆な発想に基づく挑戦的な研究開発（ムーンショット）を推進する、最長 10 年間、総額１千億円を超える、国の新たな大型研究開発プログラムです。東北大学では、本プログラムに2023年４月１日時点で９課題が採択されています。採択されたプロジェクトを通して、事業に参加することにより、本学としても well-being が実現できる社会の構築に貢献していきます。

＜ムーンショット目標＞
目標１．2050年までに、人が身体、脳、空間、時間の制約から解放された社会を実現
目標２．2050年までに、超早期に疾患の予測・予防をすることができる社会を実現
目標３．2050年までに、AI とロボットの共進化により、自ら学習・行動し人と共生するロボットを実現
目標４．2050年までに、地球環境再生に向けた持続可能な資源循環を実現
目標５．2050年までに、未利用の生物機能等のフル活用により、地球規模でムリ・ムダのない持続的な食料供給産業を創出
目標６．2050年までに、経済・産業・安全保障を飛躍的に発展させる誤り耐性型汎用量子コンピュータを実現
目標７．2040年までに、主要な疾患を予防・克服し100歳まで健康不安なく人生を楽しむためのサステイナブルな医療・介護システムを実現
目標８．2050年までに、激甚化しつつある台風や豪雨を制御し極端風水害の脅威から解放された安全安心な社会を実現
目標９．2050年までに、こころの安らぎや活力を増大することで、精神的に豊かで躍動的な社会を実現

この事業に、本学から９件の課題が採択されています。

ムーンショット目標	プロジェクトマネージャー	研究課題名
目標2	医学系研究科 片桐 秀樹 教授	恒常性の理解と制御による糖尿病および併発疾患の克服
目標3	工学研究科 平田 泰久 教授	活力ある社会を創る適応自在 AI ロボット群
目標3	工学研究科 吉田 和哉 教授	月面探査／拠点構築のための自己再生型 AI ロボット
目標4	生命科学研究科 南澤 究 特任教授	資源循環の最適化による農地由来の温室効果ガスの排出削減
目標4	環境科学研究科 福島 康裕 教授	大気中 CO_2 を利用可能な統合化固定・反応系 (quad-C system) の開発
目標7	医工学研究科 / 医学系研究科 阿部 高明 教授	ミトコンドリア先制医療
目標8	工学研究科 野々村 拓 准教授	大規模自由度場のアクチュエータ位置最適化
目標9	生命科学研究科 筒井 健一郎 教授	多様なこころを脳と身体性機能に基づいてつなぐ「自在ホンヤク機」の開発
目標9	情報科学研究科 細田 千尋 准教授	Child Care Commons わたしたちの子育てを実現する代替親族システム要件の構築

教育

文部科学省が行っている「国公私立大学を通じた大学教育再生の戦略的推進」の各プログラム等に、本学での以下の取組が採択されています。

卓越大学院プログラム【産学共創大学院プログラム】

各大学が自身の強みを核に、これまでの大学院改革の成果を生かし、国内外の大学・研究機関・民間企業等と組織的な連携を行いつつ、世界最高水準の教育力・研究力を結集した5年一貫の博士課程学位プログラムを構築することで、あらゆるセクターを牽引する卓越した博士人材を育成するとともに、人材育成・交流及び新たな共同研究の創出が持続的に展開される卓越した拠点を形成する取組を推進する事業です。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内　容
平成30年度～令和6年度	医学系研究科、歯学研究科等　13部局	未来型医療創造卓越大学院プログラム	東北大学が提唱する未来型医療 "Future Medicine supported by Data Science, Technology and Society (DTS)"（データ科学・技術・社会インフラにより健康・予防・治療を実現する医療）を牽引し、高齢者が自立して健康で幸福に生きることができる効率的で優しい社会づくりに貢献する人材を育成します。
平成30年度～令和6年度	工学研究科、情報科学研究科 等　10部局	人工知能エレクトロニクス卓越大学院プログラム	第4次産業革命、超スマート社会の実現に向けて、人工知能エレクトロニクスの卓越した研究環境の下で、産学連携・社会連携を意識して「社会課題の解決」と「新たな価値の創出」を実現する『実践力』と、フィジカル空間とサイバー空間およびそれらを繋ぐあらゆる空間を見通せる『俯瞰力』を習得することで、異分野技術を巻き込み「継続的イノベーション」を起こすことができる卓越した博士人材を育成します。
令和元年度～令和7年度	理学研究科、工学研究科等　11部局	変動地球共生学卓越大学院プログラム	安全・安心で持続可能な社会を構築していくために、環境要因のみならず情報・社会・経済的要因などの多様なリスクに対応することができる地球から人間までを継ぎ目なく理解する先端知と、それに基づく実践力を身につけた人材を育成します。

※本学独自のプログラム

令和4年度～	工学研究科、理学研究科等5部局	グリーン×デジタル産学共創大学院プログラム	専門教育と博士研究に、情報化と技術社会工学的な教育を融合させ、環境調和型・カーボンニュートラル社会の実現に貢献できる独創性と実践力、さらに俯瞰力を備えた人材を育成します。

博士課程教育リーディングプログラム

優秀な学生を広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、専門分野の枠を超えて世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育の抜本的改革を支援し、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業です。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内　容
平成24年度～平成30年度	工学研究科、理学研究科、文学研究科、災害科学国際研究所 等　12部局	グローバル安全学トップリーダー育成プログラム	東日本大震災に代表されるグローバルデザスターから人命・社会・産業を守ることに貢献できるグローバル安全学リーダーをアカデミアのみならず、世界的企業や国際機関などの多様な分野に輩出することを目指します。
平成25年度～令和元年度	工学研究科、理学研究科 等11部局	マルチディメンジョン物質理工学リーダー養成プログラム	多角的な視点や手法で物質・材料を理解し、新しい物質デザイン思想を現実化するだけの広く確かな基礎知識と幅の広い研究経験を有する物質リーダーとして、主に産業界で即戦力として活躍できる人財育成を目指します。

持続的な産学共同人材育成システム構築事業

個別の企業や業界を超えたオープンイノベーションを促進するため、社会人の学び直しも含めアカデミアと社会を自由に行き来できる学びと社会生活の好循環を醸成し、中長期的かつ持続的に社会の要請に応えることができる産学共同による人材育成システムを構築することを目的としています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内　容
令和元年度～令和5年度	高度教養教育・学生支援機構	創造と変革を先導する産学循環型人材育成システム（運営拠点・中核拠点）	産学連携による実践的かつ広く深い学びを追求し、学生も社会人も学び続けチャレンジし続ける社会の実現、未来を拓く人材の各界への輩出のため、大学において学びと社会を繋ぐ上で中心的役割を担う実務家教員を育成します。

保健医療分野における AI 研究開発加速に向けた人材養成産学協働プロジェクト

医療系学部を有する大学を中心に、民間企業・団体等の協力を得ながら、医療現場のニーズ・知見を用いて保健医療分野における AI 研究開発を推進する医療人材を養成する拠点を形成する取組を支援することを目的としています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内　容
令和2年度～令和6年度	病院	「Global×Local な医療課題解決を目指した最先端 AI 研究開発」人材育成教育拠点	「地域ならではの豊富な医療課題をキュレーションし、AI 解決までをデザインできる人材を広く養成すること」を達成目標に掲げ、博士課程人材養成プログラムを全国各地の大学や研究機関、民間企業、自治体と連携し推進します。

次世代のがんプロフェッショナル養成プラン

第4期がん対策推進基本計画（案）の人材育成の強化として取り組むべき施策とされている、
① がん医療の現場で顕在化している課題に対応する人材
② がん予防の推進を行う人材
③ 新たな治療法を開発できる人材
等のがん専門医療人材を養成する拠点を大学間連携により形成することを目的としています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内　容
令和5年度～令和10年度	医学系研究科	東北広域次世代がんプロ養成プラン	東北7県のがん医療の課題解決のため、顕在化するがん医療の課題や最新のがん医療に必要な学識・技能・研究推進能力を育み大学、行政、職能団体、がん診療連携拠点病院、患者会や学会が連携して個別化がん医療、希少がん・難治がん、がん関連学際領域など多様な医療ニーズに応えるがん専門医療人を養成します。

教育

本学でも独自に以下の取り組みを行っています。

特色ある教育への取り組み

グローバル人材の育成のため、海外連携機関との共同指導による長期海外研修の実施等、各種支援を行っています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内　容
平成27年～	高等大学院機構	国際共同大学院プログラム	本学の強みを生かし世界を牽引できる分野や、今後重要になり人類の発展に貢献できる分野を選択し、部局の枠を超えて本学の英知を結集し、海外有力大学との強い連携のもと共同教育を実践することにより、グローバル人材を育成します。

若手研究者の養成を推進するため、優れた学生を「修士研究教育院生」「博士研究教育院生」として選抜し、各種支援を行っています。

実施年度	実施部局	プログラム名称	内　容
平成19年度～	高等大学院機構 学際高等研究教育院	修士・博士研究教育院生制度	各研究科等との連携を通じて、異分野の融合領域における新たな研究分野の研究成果を基盤とした教育に関する研究開発、企画及び支援を行うことにより、新たな総合的知を創造し、かつ、国際的に通用する若手研究者の育成を目指します。

寄附講座・寄附研究部門

寄附講座・寄附研究部門は、企業などからの寄附金によって、大学における教育・研究の豊富化、活性化を図ることを目的として、「寄附講座」（大学院研究科・専攻に置く場合）又は「寄附研究部門」（附置研究所などに置く場合）を設置し、運営する制度です。

寄附講座

（2023年5月1日現在）

設置年度	部局名	名　称	設置期間
令和5年度	環境科学研究科	硬質材料環境調和設計	令和5年4月1日～令和8年3月31日
令和5年度（継続）	環境科学研究科	環境資源循環学（DOWA ホールディングス）	令和5年4月1日～令和8年3月31日
令和5年度（継続）	環境科学研究科	反応解析機器開発学（フロンティア・ラボ）	令和5年4月1日～令和8年3月31日
令和4年度	医学系研究科	心不全地域医療連携	令和5年1月1日～令和9年12月31日
令和4年度	医学系研究科	難聴地域医療学	令和4年10月1日～令和6年9月30日
令和4年度	医学系研究科	先制循環器医療学	令和4年4月1日～令和7年3月31日
令和4年度（継続）	薬学研究科	社会薬学マネジメント（医療経営研究所）	令和4年4月1日～令和6年3月31日
令和4年度（継続）	医学系研究科	眼科画像情報解析学	令和4年4月1日～令和7年3月31日
令和3年度	理学研究科	次元融合ナノ物質科学	令和3年11月1日～令和6年10月31日
令和3年度（継続）	医学系研究科	難治性高血圧・内分泌代謝疾患地域連携	令和3年6月1日～令和5年5月31日
令和3年度（継続）	医学系研究科	視覚先端医療学	令和3年4月1日～令和6年3月31日
令和3年度（継続）	医学系研究科	網膜疾患制御学	令和3年4月1日～令和6年3月31日
令和2年度（継続）	医学系研究科	地域総合診療医育成	令和2年10月1日～令和5年9月30日
平成30年度	農学研究科	発酵微生物学	平成30年10月1日～令和6年3月31日

寄附研究部門

設置年度	部局名	名　称	設置期間
令和5年度	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	糖尿病制御学	令和5年4月1日～令和8年3月31日
令和4年度（継続）	災害科学国際研究所	都市直下地震災害（応用地質）	令和4年11月1日～令和7年10月31日
令和4年度	病院	先進血管内治療開発	令和4年10月1日～令和7年9月30日
令和4年度（継続）	マイクロシステム融合研究開発センター	コアテック・先進マイクロシステム	令和4年8月1日～令和5年7月31日
令和4年度	病院	未来型臨床開発人材育成	令和4年5月1日～令和7年4月30日
令和4年度（継続）	東北メディカル・メガバンク機構	災害交通医療情報学	令和4年4月1日～令和7年3月31日
令和4年度（継続）	東北アジア研究センター	上廣歴史資料学	令和4年4月1日～令和9年3月31日
令和3年度	病院	くも膜下出血診断・治療開発	令和3年4月1日～令和6年3月31日
令和3年度（継続）	災害科学国際研究所	地震津波リスク評価（東京海上日動）	令和3年4月1日～令和6年3月31日
令和2年度	病院	未来医療人材育成	令和2年4月1日～令和7年3月31日

（継続＝設置期間更新）

共同研究講座・共同研究部門

共同研究講座・共同研究部門は、企業などから資金の他に研究者などを受け入れて、大学教員と目的を共有し、研究成果の実用化などを見据えた共同研究を促進することを目的として、「共同研究講座」（大学院研究科・専攻に置く場合）又は「共同研究部門」（附置研究所などに置く場合）を設置し、運営する制度です。

共同研究講座

（2023年5月1日現在）

設置年度	部局名	名　称	設置期間
令和5年度	農学研究科	動物粘膜免疫学	令和5年4月1日～令和8年3月31日
令和5年度	医学系研究科	健康社会システム創造	令和5年4月1日～令和8年3月31日
令和4年度	医学系研究科	ウェルビーイングデザイン	令和4年10月1日～令和7年9月30日
令和4年度	医学系研究科	てんかんスマート医療	令和4年10月1日～令和7年3月31日
令和4年度	医学系研究科	超早期画像診断	令和4年4月1日～令和6年3月31日
令和4年度（継続）	農学研究科	J- オイルミルズ油脂イノベーション	令和4年4月1日～令和6年3月31日
令和4年度（継続）	歯学研究科	次世代歯科材料工学	令和4年4月1日～令和6年3月31日
令和4年度（継続）	医学系研究科	抗体創薬	令和4年4月1日～令和9年3月31日
令和3年度	工学研究科	先端スピントロニクス医療応用工学	令和4年1月1日～令和6年3月31日
令和3年度	医学系研究科	希少難病ゲノム解析	令和3年10月1日～令和6年3月31日
令和3年度	医学系研究科	女性ヘルスケア医科学	令和3年4月1日～令和6年3月31日
令和3年度（継続）	工学研究科	先端電力工学	令和3年4月1日～令和6年3月31日
令和2年度	情報科学研究科	量子コンピューティング	令和2年12月1日～令和5年11月30日
令和2年度	工学研究科	サステナブル軽金属メタラジー（小川アルミ工業）	令和2年10月1日～令和5年9月30日
令和2年度（継続）	歯学研究科	先端フリーラジカル制御学	令和2年4月1日～令和6年3月31日
令和元年度	医学系研究科	漢方・統合医療学	平成31年4月1日～令和6年3月31日
令和元年度	工学研究科	インターコネクト・アドバンスト・テクノロジー（ICAT）	平成31年4月1日～令和6年3月31日
平成30年度	医学系研究科	先進 MRI	平成30年10月1日～令和5年9月30日

共同研究部門

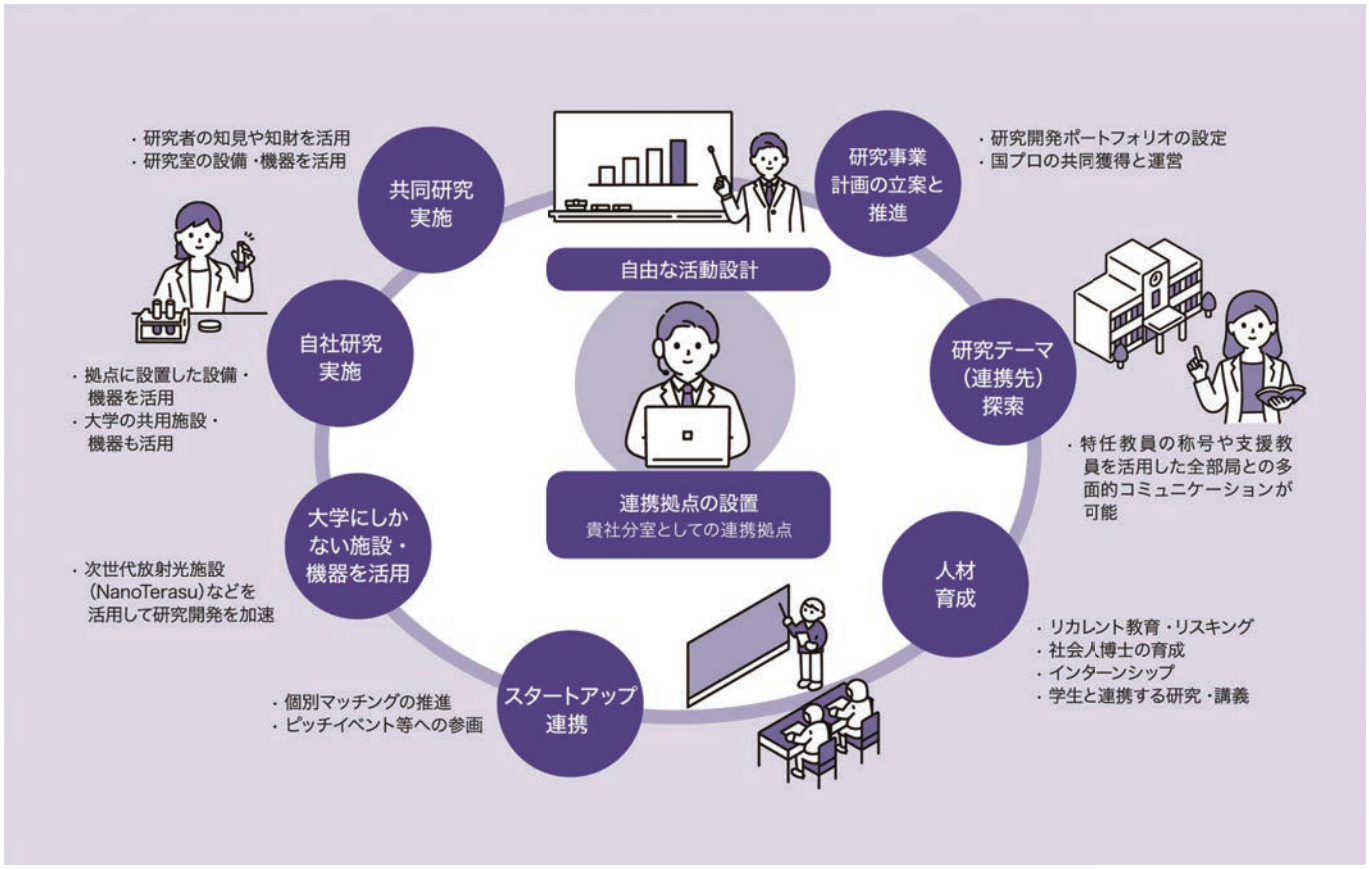
設置年度	部局名	名　称	設置期間
令和5年度（継続）	工学研究科	三菱ふそう実践的工学教育プログラム	令和5年5月1日～令和7年4月30日
令和5年度	工学研究科	インフラマネジメント “足すテナビリティ”	令和5年4月1日～令和10年3月31日
令和5年度	工学研究科	次世代材料製造技術の創生及び資源リサイクル技術の開発（JSW）	令和5年4月1日～令和7年3月31日
令和5年度（継続）	電子光理学研究センター	凝縮系核反応	令和5年4月1日～令和7年3月31日
令和5年度（継続）	多元物質科学研究所	非鉄金属製錬環境科学	令和5年4月1日～令和10年3月31日
令和5年度（継続）	病院	造血器病理学（Hematopathology）	令和5年4月1日～令和10年3月31日
令和4年度（継続）	サイバーサイエンスセンター	高性能計算技術開発	令和4年7月1日～令和8年3月31日
令和4年度（継続）	病院	腫瘍分子システム治療	令和4年7月1日～令和5年6月30日
令和4年度	未来科学技術共同研究センター	プロトタイプモノづくり技術研究（PM 部門）	令和4年4月1日～令和6年3月31日
令和4年度	災害科学国際研究所	日本工営レジリエントシティー技術実装	令和4年4月1日～令和7年3月31日
令和4年度（継続）	工学研究科	マルチスケールマテリアル工学（日本製鉄）	令和4年4月1日～令和7年3月31日
令和3年度	災害科学国際研究所	イオン防災環境都市創生	令和3年10月1日～令和6年9月30日
令和3年度（継続）	金属材料研究所	東京エレクトロン 3D プリンティング材料加工プロセス工学	令和3年10月1日～令和6年9月30日
令和3年度（継続）	流体科学研究所	先端車輌基盤技術研究（日立 Astemo）Ⅲ	令和3年7月1日～令和6年6月30日
令和3年度	工学研究科	インフラ情報マネジメントプログラム	令和3年4月1日～令和6年3月31日
令和3年度（継続）	工学研究科	電力エネルギー未来技術	令和3年4月1日～令和6年3月31日
令和2年度	多元物質科学研究所	次世代電子顕微鏡技術	令和2年8月1日～令和6年3月31日
令和2年度	原子炉廃止措置基盤研究センター	福島第一原子力発電所廃炉支援基盤	令和2年4月1日～令和7年3月31日
令和元年度	国際放射光イノベーション・スマート研究センター	放射光次世代計測科学連携	令和元年11月1日～令和6年10月31日

（継続＝設置期間更新）

共創研究所の設置状況

「共創研究所」は、共同研究や人材育成などの共創活動を企画・実施するための連携拠点を構築する制度です。

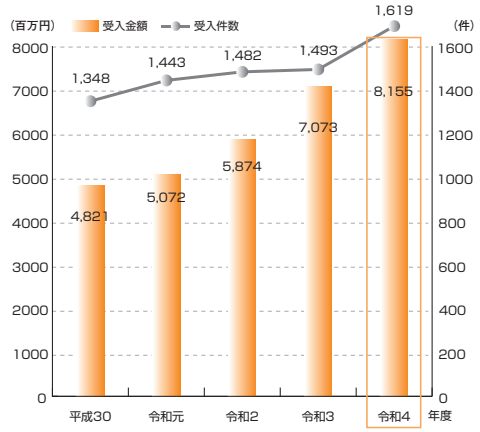
設置年度	共創研究所名称	設置期間
2021年度	愛知製鋼×東北大学 次世代電動アクスル用素材・プロセス共創研究所	令和3年(2021年)10月～令和6年(2024年)9月
	ブリヂストン×東北大学共創ラボ	令和3年(2021年)10月～令和6年(2024年)9月
	東北電力×東北大学 共創研究所	令和3年(2021年)11月～令和7年(2025年)3月
	JFE ×東北大学グリーンスチール共創研究所	令和4年(2022年)2月～令和7年(2025年)3月
	東北発電工業×東北大学 共創研究所	令和4年(2022年)3月～令和7年(2025年)2月
2022年度	トヨタ自動車東日本×東北大学 環境融和ものづくり共創研究所	令和4年(2022年)4月～令和7年(2025年)3月
	DOWA ×東北大学 共創研究所	令和4年(2022年)4月～令和7年(2025年)3月
	ピクシーダストテクノロジーズ×東北大学　ホログラフィックウェルビーイング共創研究所	令和4年(2022年)4月～令和7年(2025年)3月
	大同特殊鋼×東北大学　共創研究所	令和4年(2022年)7月～令和7年(2025年)6月
	ＩＨＩ×東北大学アンモニアバリューチェーン共創研究所	令和4年(2022年)10月～令和10年(2028年)3月
	TDK ×東北大学 再生可能エネルギー変換デバイス・材料開発共創研究所	令和4年(2022年)10月～令和7年(2025年)9月
	富士通×東北大学 発見知能共創研究所	令和4年(2022年)10月～令和8年(2026年)3月
	住友金属鉱山×東北大学　GX 材料科学　共創研究所	令和4年(2022年)10月～令和7年(2025年)9月
	アルプスアルパイン×東北大学　つながる価値共創研究所	令和5年(2023年)3月～令和8年(2026年)3月
2023年度	デクセリアルズ×東北大学　光メタセンシング共創研究所	令和5年(2023年)4月～令和8年(2026年)3月
	古河電工×東北大学　フォトニクス融合共創研究拠点	令和5年(2023年)4月～令和8年(2026年)3月
	3DC ×東北大学　カーボン新素材 GMS で「世界を変える」共創研究ラボ	令和5年(2023年)4月～令和8年(2026年)3月
	セイコーエプソン×東北大学　サステナブル材料共創研究所	令和5年(2023年)8月～令和9年(2027年)3月



産学連携

共同研究

実施状況の経年推移

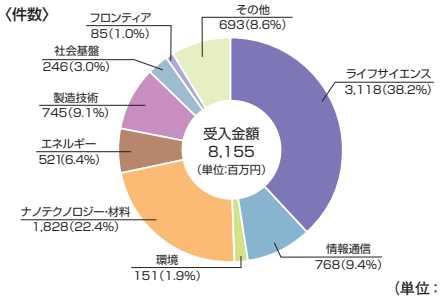


(単位：件・百万円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受入件数	1,348	1,443	1,482	1,493	1,619
受入金額	4,821	5,072	5,874	7,073	8,155

令和４年度の実施状況（分野別受入金額内訳）

(単位：百万円)

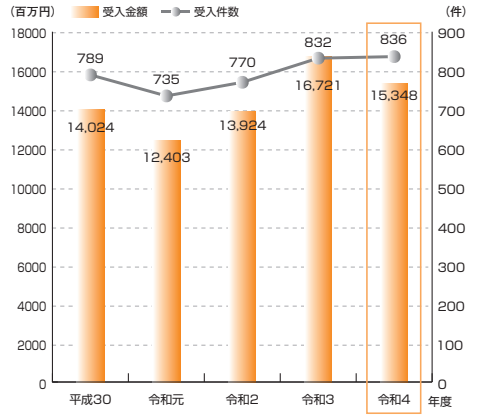


(単位：件・百万円)

共同研究	受入件数		受入金額	
ライフサイエンス	559	34.5%	3,118	38.2%
情報通信	144	8.9%	768	9.4%
環境	53	3.3%	151	1.9%
ナノテクノロジー・材料	360	22.2%	1,828	22.4%
エネルギー	106	6.5%	521	6.4%
製造技術	111	6.9%	745	9.1%
社会基盤	73	4.5%	246	3.0%
フロンティア	32	2.0%	85	1.0%
その他	181	11.2%	693	8.6%
合計	1,619	100.0%	8,155	100.0%

受託研究

実施状況の経年推移

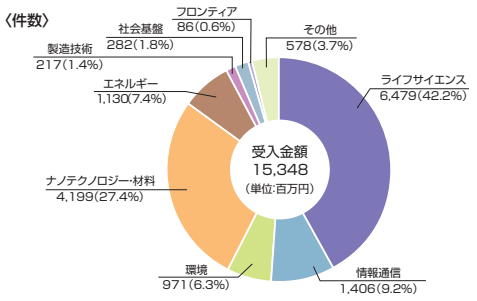


(単位：件・百万円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受入件数	789	735	770	832	836
受入金額	14,024	12,403	13,924	16,721	15,348

令和４年度の実施状況（分野別受入金額内訳）

(単位：百万円)



(単位：件・百万円)

受託研究	受入件数		受入金額	
ライフサイエンス	419	50.1%	6,479	42.2%
情報通信	64	7.7%	1,406	9.2%
環境	50	6.0%	971	6.3%
ナノテクノロジー・材料	133	15.9%	4,199	27.4%
エネルギー	76	9.1%	1,130	7.4%
製造技術	14	1.7%	217	1.4%
社会基盤	27	3.2%	282	1.8%
フロンティア	9	1.1%	86	0.6%
その他	44	5.2%	578	3.7%
合計	836	100.0%	15,348	100.0%

官民イノベーションプログラム（国立大学に対する出資事業）

平成24年度補正予算により、大学の研究開発成果の事業化を推進するために、政府出資金125億円、特別運営費交付金25億円が措置されました。

政府出資金では、平成27年2月に、本学100%出資によるベンチャーキャピタルである東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社（THVP）を設立、同年8月には、同社を無限責任組合員とする投資事業有限責任組合（ファンド）が組成され、本学発研究成果の事業化を目指すベンチャー企業への投資活動が開始されました。令和2年10月には、THVP-2号投資事業有限責任組合（2号ファンド）を組成し、東北大学及び東北圏域（東北6県及び新潟県）並びに東北周辺地域に所在する国立大学等発ベンチャー企業へ投資する環境が整いました。

特別運営費交付金では、平成25年度から、社会的インパクトのある研究成果の事業化・実用化を支援する東北大学ビジネス・インキュベーション・プログラム（BIP）を継続的に実施し、これまでに84件の支援を行いました。

令和4年度には、担当部署を「スタートアップ事業化センター」に改組し、本学がスタートアップ創出支援に注力していくことをより明確にしました。

これからも社会変革の原動力となるスタートアップの創出・育成を通して、新産業の創出と地域経済の活性化に貢献することを目指していきます。

組織的連携等

本学では、研究開発、人材育成、地域社会への責任、など相互の協力が可能な全ての分野において、大学全体として民間企業等と組織的連携を行い、具体的な協力を有機的に推進しています。

（2023年7月1日現在）

協定締結日	民間企業等名称	目　的
令和 5年 3月22日	国際教養大学	両大学が相互の自主と平等互恵を尊重する精神の下に協力し、相互補完連携による両大学の更なる成長、東北からの発信等に資する友好を深める。
令和 5年 3月 7日	読売新聞東京本社	東北大学の教育・研究・社会貢献機能と、読売新聞東京本社の報道・媒体・情報機能の連携を図り、東日本大震災の復興を軸とする東北地域の再生・活性化をはじめ現代における様々な社会的課題の解決に貢献するとともに、双方の発展に寄与する。
令和 4年10月14日	トヨタ自動車	水素など新エネルギーの街での活用や災害に強い街づくり、古民家などを活用した新たな地域コミュニティー創造、農産物などの価値を高めるための研究開発に取り組む。
令和 4年 9月30日	ナポリ大学、ブリティッシュコロンビア大学、ハイデルベルク大学、ローマ・ラ・サピエンツァ大学、ヤギェウォ大学、グラナダ大学	グローバルなコミュニティにおいて、人文社会科学（Social Sciences and Humanities(SSH)）の意義や果たすべき役割について考えや意志を表明するとともに、その振興について連携を図る。
令和 4年 4月22日	仙台市	包括的な連携の下、相互に協力し、地域社会の発展に寄与する。
令和 4年 4月 1日	東京大学	次世代放射光施設 NanoTerasu において、我が国の放射光科学に関する研究・技術の向上、産業振興及び当該分野の人材育成に貢献する。
令和 4年 4月 1日	フューチャー株式会社	持続的かつ組織的な連携・協力を促進し、相互の利益に資するとともに、アントレプレナーシップに基づく科学技術・デジタル・ビジネスの融合を通じて、社会の発展に寄与する。
令和 4年 3月25日	福島県	東日本大震災からの復興と地域活性化の更なる加速化へ寄与する。
令和 4年 3月 9日	防災科学技術研究所	防災に係る開かれた研究及び教育の拠点構築を通じて、国難級災害を乗り越えるレジリエントな社会の実現に資する知の創出と多様な価値創造を図る。
令和 4年 3月 8日	宮城県	包括的な連携の下、相互に協力し、地域社会の発展に寄与する。
令和 4年 2月 3日	三井住友トラスト・ホールディングス株式会社	持続的かつ組織的な連携・協力により、技術と金融によるイノベーションをインテグレートし、人々の暮らしを豊かにするテクノロジーの社会実装を飛躍的に加速させ、社会変革を推進する。
令和 3年12月10日	東北電力	持続的かつ組織的な連携・協力を促進し、安心・安全で持続可能なグリーンかつスマートな東北発の未来社会の実現を通じて、地域社会の発展に貢献する。
令和 3年10月 1日	愛知製鋼株式会社	研究開発・人材育成などの分野において、産学の連携を通して研究成果の社会への還元の促進を図り、産業振興と社会全体の発展、イノベーションの創出に寄与する。
令和 3年 3月15日	一般財団法人日本規格協会	連携して防災 ISO の国際規格を推進し、併せて当該領域で活躍する国際人材育成を行う。
令和 2年10月 8日	KDDI（株）	東北大学発ベンチャー企業などの創出、成長支援を通じて、地域の人づくりに寄与する。
令和 2年 3月 6日	理化学研究所放射光科学研究センター	双方が有する研究設備等の活用により、研究開発の迅速化及び放射光科学分野における人材の育成に貢献し、我が国の科学技術の一層の活性化に寄与するため、放射光科学分野におけるリサーチ・リンケージを形成する。
令和元年10月28日	名城大学	両大学がそれぞれの特色及び教育研究資源を活かして相互に連携及び協力し、有為な人材の育成及び教育の充実並びに研究の推進に寄与する。
令和元年 8月27日	第一生命保険（株）、（株）NTT データ	イノベーション創出と地方創生を通じた社会課題の解決を目的に、研究開発、人財育成、事業化支援・ベンチャー投資、事業基盤強化などの活動に連携協力して取り組んでいく。
令和元年 7月19日	お茶の水女子大学	両大学がそれぞれの特色及び教育研究資源を活かして相互に連携及び協力し、人材育成及び教育の充実並びに研究の推進に寄与する。
平成31年 4月 2日	楽天（株）	ヘルスケア・医療、ロボティクス、人材育成をはじめとする様々な分野で互いの知見やアセットを活かしてイノベーションを創出し、スピード感を持って成果の社会実装を行う。
平成31年 3月20日	理化学研究所	相互に協力可能な全ての分野において、それぞれの研究、教育・人材育成などの具体的な連携・協力を、互恵の精神に基づき効果的に実施することにより、我が国の学術及び科学技術の振興に資する。
平成30年10月 9日	経済産業研究所	学術研究の振興並びに研究成果による政策形成及び社会への貢献に資する。
平成30年 9月19日	東京海上日動火災保険（株）	災害科学領域、ヘルスケア領域をはじめとする最先端研究成果を社会実装することにより、社会課題の解決に取り組む。
平成30年 9月 5日	JX 金属（株）	非鉄金属産業における研究開発や人材育成など相互協力が可能な全ての事項において、持続的かつ組織的な連携協力を推進し、社会全体の発展に寄与する。
平成30年 7月18日	東京工業大学	量子コンピューティングを中心とした情報科学の基礎と応用の研究において、両大学の強みを活かして組織的な連携を図ることにより、我が国における拠点を形成するとともに、世界的リーダーシップを発揮する。
平成30年 6月26日	（株）フィリップス・ジャパン	デジタル技術（ICT）を用いて「人々の行動変容」にフォーカスし、健康・予防・医療への新たな価値を生むヘルステックソリューションを創出する。
平成30年 6月5日	宮城県教育委員会	学校教育・学術の振興及び地域社会の発展と人材の育成に寄与する。
平成30年 1月26日	神戸大学、人間文化研究機構	日本の地域社会における歴史文化資料の調査研究と資料保全を目的とする全国広域ネットワーク事業として構想した本事業を、連携３機関が中核として推進、もって、日本の地域社会における歴史文化の継承と創成に向けた大学の教育・研究機能強化に資する。
平成29年12月14日	石油天然ガス・金属鉱物資源機構（JOGMEC）	双方の研究技術開発能力・人材・設備を補助的に活用することにより、資源・エネルギーに関する我が国の学術及び技術開発の発展に資する。
平成29年11月 8日	（株）七十七銀行、（株）東京証券取引所	ベンチャー企業及び地域企業の成長支援並びに起業家人材育成の推進に関して、地域の経済活性化・発展に寄与する。

平成29年10月 3日	日本製鉄（株）	鉄鋼産業の振興と社会全体の発展に寄与する。
平成29年 6月29日	日本貿易振興機構（JETRO）	グローバル人材育成、農林水産業・食品産業海外展開支援、大学シーズのグローバル社会実装化支援等の連携プログラムにおいて連携協力を行う。
平成29年 4月20日	JFE スチール（株）	鉄鋼産業の振興と社会全体の発展に寄与する。
平成29年 3月28日	アルプスアルパイン（株）	先端技術新事業の創出を目指し、地域産業の持続的成長促進に向けたイノベーションを担う創業人材の育成を図り、電子部品産業の振興と社会全体への発展に寄与する。
平成29年 3月 1日	東北活性化研究センター	東北地域における産業の活性化と人材育成に貢献するため、あらゆる分野での連携・協力により地域の活力向上と人材育成を行うことで、持続的な発展に寄与する。
平成29年 2月14日	中小企業基盤整備機構	大学発ベンチャーの創出、地域イノベーションの推進等を行うことを目的とした産学連携強化を目指す。
平成28年11月 9日	量子科学技術研究開発機構（QST）	PET（陽電子断層撮像法）を利用した分子イメージング研究の高度専門人材育成を目指す。
平成28年10月31日	医薬品医療機器総合機構（PMDA）	双方が築き上げてきた資産、能力、人材等を相互に活用し合い、互恵の精神に基づき連携・協力することで我が国のレギュラトリーサイエンスの振興に資する。
平成28年10月17日	生活協同組合連合会コープ東北サンネット事業連合	「コープフードバンク」を通じて食品等を社会福祉に寄与する団体・組織へ提供することにより、食品等の無駄をなくし有効活用を実現するとともに社会福祉に寄与する。
平成28年 4月 1日	人間文化研究機構	北東アジア地域研究を総合的に推進し、北東アジア地域研究の発展に寄与する。
平成26年 8月 1日	日本医療研究開発機構（AMED）	革新的医薬品の創出を目指して、新規創薬シーズ発掘のための連携・協力を推進する。
平成26年 3月28日	日本原子力研究開発機構（JAEA）	研究施設・設備、研究成果、人材等を活用し、連携協力することにより、相互の研究開発及び人材育成の充実を図る。
平成25年12月18日	国土交通省東北地方整備局	双方が長年にわたり培ってきた信頼関係を基盤に、防災機能の向上及び地域社会の持続的発展に寄与することを目的に連携・協力の推進・強化を図る。
平成25年11月12日	物質・材料研究機構（NIMS）	物質・材料分野において、両機関で連携・協力して研究開発や研究設備の相互利用・共同運営、人材交流等を行い、我が国の学術及び科学技術の振興と、社会の発展に寄与することを目指す。
平成25年 8月 1日	（株）東芝	「ヘルスケアビックデータに関する研究開発」に関連する研究領域において、研究開発、人材育成等の相互協力が可能な事項について、連携・協力を実施する。
平成25年 4月25日	弘前大学、岩手大学、宮城教育大学、秋田大学、山形大学、福島大学	東北地区で大規模災害等が発生し、又は発生する恐れがあると認められる場合に、7大学が相互に連携・協力することにより、被災大学に対する迅速かつ的確な緊急支援及び復旧支援を推進し、地域社会の復旧・復興に寄与する。
平成25年 3月27日	東北大学生活協同組合	災害が発生し、大学構成員等に対する応急生活物質等の支援が必要になった場合に、相互が協力して円滑支援を実施する。
平成24年10月30日	仙台市	学術研究集会等コンベンションの誘致と開催に関して相互に連携・協力することにより、「学都仙台」の強みを生かした国内トップクラスのコンベンション都市を目指すとともに、地域における知的基盤の強化、地域経済の活性化、及び市民力の向上を図る。
平成24年10月16日	海洋研究開発機構（JAMSTEC）	共同研究・プロジェクトの推進、人材交流、人材育成、学術資料・リサーチレポート等学術情報の交換、施設・設備等の利用等について、連携・協力を推進する。
平成24年 1月19日	情報通信研究機構（NICT）	災害により強い社会の構築に向けて、情報通信ネットワーク及びその利活用の耐災害性強化のための情報通信技術の研究を効果的かつ効率的に推進する。
平成23年11月10日	仙台市、筑波大学	生活排水を吸収して石油成分を生産する藻類バイオマスの研究・開発を推進する。燃料生産モデルと新しい循環型システムの実現を目指す。
平成23年 7月26日	東京海上日動火災保険（株）	地震・津波のリスク評価に関連して、研究開発、人材育成等相互協力が可能な事項について、連携・協力を推進する。
平成22年 6月 4日	住友金属鉱山（株）	非鉄金属素材に関する研究推進を図るため、さらなる共同研究、相互交流、人材育成の推進を目指す。
平成22年 2月12日	NTT、NTT 東日本	情報通信分野における連携協力の更なる拡大、教育・研究活動の拡充、活性化、異分野融合型の研究開発の推進を目指す。
平成21年 4月14日	理化学研究所	理論と実験、計算科学と計算機科学の融合など、広範な学術領域の開拓を図り、計算科学によるイノベーションの創出、国際的に活躍できる人材の育成、人材交流を目指す。
平成21年 3月 9日	自然科学研究機構核融合科学研究所	核融合炉に関する研究の更なる推進、人材の教育・交流を目指す。
平成21年 2月19日	高エネルギー加速器研究機構（KEK）	素粒子原子核物理、物質生命科学、加速器科学の研究領域における共同研究のさらなる深化、共同研究体制の強化、人材の教育・交流を目指す。
平成20年 7月25日	実験動物中央研究所	ライフサイエンス分野、生命科学、材料科学並びに心理学、社会科学など相互協力が可能な全ての分野での共同研究、人材の教育・交流を目指す。
平成19年 3月 6日	DOWA ホールディングス（株）	共同研究の推進、研究者の相互交流、若手研究者の育成、研究施設、研究設備の相互利用を目指す。
平成19年 1月31日	（株）七十七銀行	東北大学発ベンチャー企業に関する情報交換・支援、東北大学シーズと地域企業とのマッチングコーディネート、技術相談、相互人材交流を目指す。
平成18年12月26日	（株）河北新報社	共同研究・調査、イベント共催・協力、人材育成などの面での協力を軸に、教育・研究機能と、報道・情報発信機能を連携させることを目指す。
平成18年 7月27日	セイコーエプソン（株）	共同研究の推進、研究者の相互交流、教育及び人材の育成、留学生への奨学金支援業務及び国際交流助成を目指す。
平成18年 1月31日	産業技術総合研究所（AIST）	環境、材料、情報通信、エレクトロニクス分野等における共同研究および、「産総研・東北大　数理先端材料モデリングオープンイノベーションラボラトリ（MathAM-OIL）」の推進を目指す。
平成18年 1月19日	（株）日立製作所	電気、情報、材料、機械分野における共同研究や相互交流を目指す。

社会との連携協力

東北大学 MOOC

MOOC は、大規模公開オンライン講座 (Massive Open Online Courses) の略称で、どなたでも無料のオンライン講義をオンデマンドで視聴でき、修了要件を満たした方には修了証とオープンバッジが発行されます。受講には JMOOC 公認プラットフォーム gacco への登録 (無料) が必要です。

(所属・役職は令和４年度開講時)

シリーズ名	講座名	講座概要	講師	所属 (開講時)	オンライン講座開講期間 (令和４年度)
東北大学で学ぶ高度教養シリーズ	自己理解の心理学	「自分らしさとは何か」「自分とは何か」を探求したい方のために、ユングの心理学的タイプ論、マインドフルネスなどをキーワードに、自己理解の方法を実践していきます。	中島　平　准教授	教育学研究科	１～３月
	化粧で学ぶ心理学	化粧は古今東西、人類の暮らしと共にあり続ける馴染み深い習慣です。本講座では、化粧と人間の深い関わりへの理解を深めるとともに、心理学の広範な知識を学びます。化粧に関心のある方、心理学を学んでみたい方にお勧めです。	阿部　恒之　教授	文学研究科	10～11月
	社会の中の AI ～人工知能の技術と人間社会の未来展望～	AI の基本事項を学び、社会の中で AI がどのように使用できそうなのかを研究事例を基に考えます。また、AI と人間が関わる時、そこにどのような関係が生まれるのかについても教育学や社会学の観点から考えます。	金子　俊郎　教授　他	工学研究科　他	７～９月
	家族と民法	夫婦はお互いに協力し合い、親は子を育てる義務を負っています。これらの家族間の権利義務を定めているのは、民法です。民法が、家族をどう定めているか見てみましょう。	水野　紀子 東北大学名誉教授	白鷗大学 (収録時：法学研究科)	令和４年度開講なし
	男と女の文化史	「男」と「女」への検討を通じて、人間とは何か、社会とは何か、歴史とは何か、といった「世界観」再構築の確かな「材料」を提供します。スリリングで「知」的な視点・技術で探究した「男と女のドラマ」をご鑑賞ください。	高橋　章則　教授　他	文学研究科	６～８月
	memento mori ―死を想え―	人は自己の死を経験することはできない。そのため「死とは何か」の正解を知らないまま、人は他者の死を通じた文化を創造してきました。本講座では、宗教民俗学的観点から「死」について考えます。	鈴木　岩弓 東北大学名誉教授	収録時： 文学研究科	10～12月
東北大学 サイエンスシリーズ	痛みと麻酔科学	不快な痛みが状況によって異なる感覚に変わる不思議さや、痛みを抑える麻酔・神経ブロック・最新研究から、麻酔科医の取り組みを理解して医学への興味を広げて下さい。	山内　正憲　教授　他	医学系研究科	８～11月
	放射線安全社会入門～リスクの知見を暮らしに～	受講生の皆様の暮らしの一助となることを目的に、放射線や放射性物質の基礎に加え、理学、医学、工学を専門とする教員個々の放射線に関する認識を紹介します。	新堀　雄一　教授　他	工学研究科　他	１～３月
	進化発生学入門―恐竜が鳥に進化した仕組み―	恐竜から鳥類への進化過程で、恐竜はどのようにその形態を鳥に変化させたのか。形づくりの現場である発生過程から、動物の進化の仕組みについて解説します。	田村　宏治　教授	生命科学研究科	６～８月
	銀河考古学入門～銀河の形成と進化を辿る～	銀河系に代表される銀河は、どのようにして生まれ、どのように進化して今の形になったのでしょうか。銀河にある化石のような古い星ぼしから銀河の歴史を読み解いてみましょう。	千葉　柾司　教授	理学研究科	11～12月
	東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学へのアプローチ―災害科学の役割	東日本大震災による被害と教訓、復旧と復興の現状、解明されつつある過去の履歴や将来予測を紹介するとともに、国際的な防災取り組み、伝承に挑む活動、避難訓練事例を通じて実践的防災学を展望します。	今村　文彦　教授　他	災害科学国際研究所	令和４年度開講なし
	解明：オーロラの謎	地球や木星、土星で見られるオーロラは、どうして光るのでしょうか？最新の人工衛星と地上望遠鏡の成果を紹介しながら、オーロラの原因である太陽表面の変動とともに、わかりやすく解説します。	小原　隆博　教授	理学研究科	９～３月

※各講座の最新の開講情報は HP（https://mooc.tohoku.ac.jp)に掲載

公開講座

部局主催

講座の名称	実施部局
第57回東北大学教育指導者講座	教育学研究科
法曹継続教育プログラム「民事法判例修得プログラム」	法学研究科
仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科 公開サイエンス講座2022年度第１回 ワクワク惑星探査～行け行け僕らの火星ローバー！～	理学研究科
仙台市天文台×東北大学大学院理学研究科 公開サイエンス講座 2022年度第２回 ハワイの山から宇宙を観れば	理学研究科
ぶらりがく　サンゴの骨の“しましま”から昔の海を調査する!?	理学研究科
ぶらりがく　宇宙のダークマターを「見る」方法	理学研究科
ぶらりがく　「植物は動かない」ってホント？	理学研究科
ぶらりがく　オーロラの不思議	理学研究科
技術適応計画特論	工学研究科
エネルギーデバイス工学特論	工学研究科
電気エネルギーシステム工学特論	工学研究科
応用物理工学特論	工学研究科
地球の未来を拓くグリーンナノテクノロジー	工学研究科
先端スピン工学	工学研究科
福島事故以降の安全学に向けて	工学研究科
近代技術史学	工学研究科
軽水炉安全セミナー（原子炉廃止措置編）	工学研究科
応用物理工学特論	工学研究科
社会基盤構造学	工学研究科
住まいづくりとまちづくり　その地域性とは？～HOPE 計画の40年～	工学研究科
川渡フィールドセンター開放講座	農学研究科
第28 回公開講座「国際文化基礎講座」環境と防災　――SDGs の達成に向けて――	国際文化研究科
地球環境計測学	環境科学研究科
技術者のための医学・医工学教育プログラム EMBEE	医工学研究科
金属材料研究所第92回夏期講習会	金属材料研究所
東大阪市モノづくり開発研究会	金属材料研究所
合同シーズ発表会	金属材料研究所
東北アジア研究センター公開講演会・佐藤源之教授最終講義 「東北アジア研究における工学 ―子持村遺跡からウクライナ地雷への道程―」	東北アジア研究センター
歴史と記憶のはざまに ―戦後日中関係の語り方についてー	東北アジア研究センター

みやぎ県民大学大学開放講座

講座の名称	実施部局
持続可能な未来社会を創る材料の科学と技術	金属材料研究所
ながれの科学	流体科学研究所
無機材料の合成と機能	多元物質科学研究所
暮らしに役立つ金融リテラシー講座	経済学研究科（会計大学院）
学口のすヽめ ～歯と骨の再生歯科医療の進歩～	歯学研究科

「学都仙台コンソーシアム」サテライトキャンパス公開講座

講座の名称	実施部局
「東北の陸地や資源はどのようにしてできたの？」東北の地球環境史と地政学	環境科学研究科
次世代放射光と仙台の未来～生活に密着する放射光計測～	多元物質科学研究所
認知症に備える！	加齢医学研究所
仙台の長町・富沢界隈の地名と災害	災害科学国際研究所

高校生のための公開講座

講座の名称	実施部局【講師派遣先高校】	
法とは何か。知的財産とは何か。そして特許とは何か。	法学部	
人工衛星から植物の光合成を観測する	理学部	【佐沼高校（地域開催）】
我が国の水災害による防災の取り組みを知ろう	工学部	
ニュートリノで解き明かす宇宙の謎	ニュートリノ科学研究センター	【角田高校（地域開催）】
方言に生きる古典の言葉	文学部	
子どもの発達とその障害をロボットで探る	教育学部	
二酸化炭素はごみではない　化学の挑戦	工学部	
下水から得られる情報の種類と活用	工学部	
食物アレルギーのはなし	農学部	
スポーツ医学について	医工学研究科	【利府高校】
竜の口層と向山層の観察	理学部	【仙台向山高校】
グリム童話の読み方	文学部	
文部科学省―教育政策がつくられる場―	教育学部	
犯罪について考える	法学部	
東北大学で教える経営組織論	経済学部	
数学の最前線とその応用	理学部	
「分子低次元系の新展開」ならびに『東北大学理学部化学教室の紹介』	理学部	【仙台一高】
東北大学整形外科について	医学部医学科	
エー！薬学部でハエの研究ですか？	薬学部	
電子の回転「スピン」で、脳を見る。	工学部	
ミクロな機械が切り拓く次世代の医療とヘルスケア	工学部	
医療，材料，エネルギーに挑む金属錯体	工学部	
東北大学農学部と研究紹介：生物の特殊機能から学ぶ	農学部	
地震の科学と防災	災害科学国際研究所	【仙台三桜高】
中国思想史学について	文学部	
自分を知る	教育学部	
犯罪について考える	法学部	
公共政策学入門～警察行政を例に～	法学部	
東北大学経済学部の紹介と経済学の考え方	経済学部	
性の生物学	理学部	
石ころ（鉱物）から地球を理解する	理学部	
脳神経領域の新規治療開発	医学部医学科	【仙台二高】
くすりの効果・副作用と細胞の情報伝達	薬学部	
ムーンショット型研究が拓く次世代 AI ロボット開発	工学部	
次世代通信用デバイス創製に向けた磁性材料の開発（案）	工学部	
バイオ工学によるカーボンニュートラルなものづくり～天然ゴム合成酵素の発見から機能改変酵素による新規ポリマー合成まで～	工学部	
燃料電池・全固体電池って何がすごいの？ – カーボンニュートラルのための材料科学 –	工学部	
橋のデザインいろいろ―そのカタチに込められた合理性―	工学部	
海を守り、海から恵みを得るとはどういうことか	農学部	
歴史学――人文科学と社会科学のあいだ	文学部	
文部科学省	教育学部	
法とは何か。知的財産とは何か。そして特許とは何か。	法学部	
みんなで安全な社会を作るということ	法学部	
人間にとって幸福とは何か　データサイエンスによる探求	経済学部	
「AI とビッグデータの時代に何を学ぶか」	経済学部	
「『サブ』ナノサイエンスの世界～分子とクラスターの科学～」ならびに「東北大学理学部化学教室の紹介」	理学部	
科学で知るいのちの不思議	医学部保健学科	【仙台三高】
ICT が創る近未来の通信	工学部	
カーボンニュートラルを達成する技術とそのシステム化研究	工学部	
材料科学の魅力と挑戦～材料の科学って何？～	工学部	
都市計画学のファーストステップ	工学部	
高分子とナノの世界	工学部	
農学部の入試・学習・研究、および海洋生物の先端研究	農学部	
創薬研究の今 ―妊娠高血圧症候群のマウスモデルとニコチンアミド―	薬学部	
ゲノムから読み解く生物の進化	理学部	
素粒子の世界	理学部	【宮城野高校】
日本の未来を支えるスピントロニクス技術	工学部	
農学の世界～「動・植物の科学」～	農学部	
経済学入門	経済学部	【古川高校】
ものづくりのための化学と工学	工学部	
異文化を通じて自文化を考える：文化人類学の視点から捉えなおす世界のあり方	文学部	
時間・空間・人間：ソーシャル・マーケティングとまちづくり	経済学部	
超伝導の探求	理学部	【泉館山高校】
薬学での教育研究と医療への貢献 花粉症の薬を例に	薬学部	
好きなあの人の声を作るボイスクローン技術	工学部	
研究所・学術機関研修（国際）	東北アジア研究センター	【宮城第一高校】
「日本人の死生観について」	文学部	【仙台青陵中等教育学校】
法や政治を原理的に考えよう	法学部	
口から始まる再生医療	歯学部	【仙台育英高校】
大学で養う教養と専門	文学部	
人文科学研究の学際化	文学部	
地球上の生命と環境を支える植物：植物学の現状（１）	農学部	【仙台南高校】
地球上の生命と環境を支える植物：植物学の現状（２）	農学部	
化学・バイオ工学への誘い	工学部	【大学会場】

高校生のための公開授業

講座の名称	実施部局
国際事情	全学教育
人文科学のメソドロジーをめぐって	全学教育
機械学習アルゴリズム概論	全学教育
社会体験ワークショップ	全学教育
文化理解	全学教育
薬と体のサイエンス	全学教育
文化理解	全学教育

中学生のための公開講座

講座の名称	実施部局【講師派遣先中学校】
「社会における会計と監査の必要性」	経済学部【仙台青陵中等教育学校】

学術交流協定締結等

大学間協定

36ヶ国・地域　245機関

＜アジア＞

中国

＊東北大学（1983.8.5）
＊中国科学技術大学（1998.6.15）
＊清華大学（1998.8.31）
＊南京大学（1999.9.1）
＊北京大学（1999.11.10）
＊吉林大学（2001.3.1）
＊浙江大学（2001.4.9）
＊復旦大学（2001.4.19）
＊武漢理工大学（2001.4.30）
＊重慶大学（2001.7.4）
＊同済大学（2002.8.13）
＊中国海洋大学（2002.10.21）
＊北京科技大学（2002.10.25）
＊南京航空航天大学（2003.3.10）
＊厦門大学（2005.6.29）
＊華中科技大学（2005.10.12）
＊西安交通大学（2006.8.31）
＊華東師範大学（2006.9.20）
＊北京航空航天大学（2006.12.16）
＊蘭州大学（2007.4.17）
＊天津大学（2007.6.8）
＊大連理工大学（2007.6.16）
＊揚州大学（2008.6.20）
中国社会科学院（2008.10.15）
＊東南大学（2009.6.29）
＊上海交通大学（2009.10.15）
＊北京工業大学（2010.10.16）
＊北京郵電大学（2010.10.17）
＊香港科技大学（2011.2.1）
＊中国地質大学（2012.2.6）
＊香港城市大学（2012.3.17）
＊上海大学（2014.5.7）
＊西南大学（2018.1.3）
＊四川大学（2018.6.26）
＊香港大学（2019.3.16）
＊南開大学（2019.8.30）
＊中山大学（2021.9.24）

インド

＊インド工科大学ボンベイ校（2000.8.21）
＊インド科学大学（2008.12.18）

インドネシア

＊インドネシア大学（2004.3.19）
＊ガジャマダ大学（2006.12.16）
＊バンドン工科大学（2008.6.4）
＊ボゴール農科大学（2010.3.23）
＊ブラウィジャヤ大学（2014.9.24）
バジャジャラン大学（2016.1.21）
＊セプル・ノーペンバー工科大学（2018.12.21）

マレーシア

＊マラヤ大学（2016.1.21）

モンゴル

モンゴル科学アカデミー（2000.8.21）
＊モンゴル科学技術大学（2001.11.16）

シンガポール

＊シンガポール国立大学（2000.9.16）
＊ナンヤン工科大学（2019.8.23）

韓国

＊全北大学校（1991.11.12）
＊ソウル大学校（1998.7.8）
＊光州科学技術院（2000.8.21）
＊釜慶大学校（2000.8.21）
＊浦項工科大学校（2000.9.22）
＊韓国科学技術院（2001.4.24）
＊忠南大学校（2001.7.9）
＊嶺南大学校（2003.12.3）
＊朝鮮大学校（2004.3.18）
＊高麗大学校（2004.3.31）
＊国立昌原大学校（2005.10.2）
＊西江大学校（2007.2.2）
＊延世大学校（2007.5.29）
＊慶熙大学校（2010.3.5）
＊成均館大学校（2012.3.15）
＊韓国科学技術研究院（2016.8.23）
韓国基礎科学研究院（2021.7.13）

スリランカ

＊モラトゥワ大学（2015.9.16）

台湾

＊国立台湾大学（2000.11.18）
＊国立中正大学（2003.11.14）
＊国立成功大学（2005.8.9）
＊国立陽明交通大学（2005.12.15）
＊国立中興大学（2009.3.30）
＊国立清華大学（2009.12.2）
＊国立政治大学（2011.4.22）
＊国立中央大学（2015.2.24）
＊国立台北科技大学（2019.11.25）
国立放射光研究センター（2020.3.13）

タイ

＊アジア工科大学院（1998.11.9）
＊スラナリー工科大学（2001.3.1）
＊キングモンクット工科大学ラカバン校（2004.4.15）
＊チュラロンコーン大学（2011.2.3）
＊タマサート大学（2012.4.5）
＊チェンマイ大学（2012.4.10）
＊キングモンクット工科大学トンブリ校（2012.11.26）
＊泰日工業大学（2014.8.19）

ベトナム

＊ベトナム国立大学ハノイ校（2009.7.6）
＊貿易大学（2013.8.15）
＊ホーチミン市工科大学（2014.10.14）
＊チュイロイ大学（2019.2.23）

＜中東＞

イラン

＊テヘラン大学（1999.8.25）

トルコ

＊イスタンブール工科大学（2011.10.3）

アラブ首長国連邦

＊カリファ科学技術大学（2020.11.17）

＜アフリカ＞

南アフリカ

＊クワズールー・ナタール大学（2010.12.20）
＊ヨハネスブルグ大学（2016.8.19）
アフリカ数理科学研究所（2019.8.27）

＜オセアニア＞

オーストラリア

＊シドニー大学（1993.1.8）
＊ニューサウスウェールズ大学（2001.4.7）
＊オーストラリア国立大学（2002.7.16）
＊メルボルン大学（2014.11.7）
＊マッコーリー大学（2017.7.13）
オーストラリア原子力科学技術機構（ANSTO）（2020.4.8）

ニュージーランド

オークランド大学（2002.11.15）
ヴィクトリア大学ウェリントン（2019.9.25）

＜北米＞

カナダ

＊ウォータールー大学（2006.10.30）
＊オタワ大学（2009.6.26）
クィーンズ大学（2016.8.24）
＊ブリティッシュ・コロンビア大学（2018.8.17）

アメリカ

＊ペンシルベニア州立大学（1988.11.29）
＊カリフォルニア大学（1990.3.15）
バークレー校
デービス校
アーヴィン校
ロサンゼルス校
マーセド校
リバーサイド校
サンディエゴ校
サンフランシスコ校
サンタバーバラ校
サンタクルス校
＊ワシントン大学（シアトル）（1996.7.3）
＊パーデュー大学（1997.9.23）
＊アラスカ大学（1999.1.12）
＊コロラド鉱山大学（2004.1.7）

2023年5月1日現在

＊シラキュース大学（2008.11.19）
＊国際教育協会（2009.1.27）
＊テンプル大学（2010.6.7）
　ハーバード大学（2010.7.22）
＊テキサス A&M 大学（2011.9.13）
＊ハワイ大学マノア校（2012.3.11）
　保健社会福祉省国立衛生研究所（2013.5.9）
＊ニューヨーク州立大学オールバニー校（2014.5.1）
＊ノースカロライナ大学シャーロット校（2014.12.25）
＊ケースウェスタンリザーブ大学（2015.7.29）
＊ミシガン州立大学（2015.9.25）
＊メリーランド大学カレッジパーク校（2016.2.22）
＊モンタナ大学（2016.9.22）
　ライス大学（2017.7.21）
＊デンバー大学（2017.10.17）
＊ベイラー大学（2018.2.26）
＊ジョージア工科大学（2018.3.16）
＊ニューヨーク州立大学ストーニーブルック校（2019.2.8）
＊オレゴン大学（2019.4.16）
　アルゴンヌ国立研究所 APS（2020.2.28）
　ローレンス・バークレー国立研究所 Advanced Light Source（2020.4.20）
　SLAC 国立加速器研究所（2021.2.16）

＜中南米＞

ベネズエラ
＊シモン・ボリバル大学（2008.1.8）

＜ヨーロッパ＞

オーストリア
＊ウィーン大学（2010.2.24）

ベルギー
　ベルギー原子力エネルギー研究センター（2005.6.16）

チェコ
＊チェコ工科大学プラハ校（2016.5.9）

フィンランド
＊アアルト大学（2001.11.5）
＊オウル大学（2004.8.9）
＊タンペレ大学（2006.1.31）
＊トゥルク大学（2016.11.29）

フランス
＊ソルボンヌ大学（1999.8.19）
＊レンヌ第2大学（1999.12.3）
＊グルノーブル・アルプ大学（UGA）（2000.3.31）
＊ストラスブール大学（2000.3.31）
＊レンヌ第1大学（2000.12.20）
＊国立応用科学院リヨン校（2004.7.13）
＊ボルドー大学（2005.7.28）
＊国立中央理工科学校（2006.2.13）
　リール校
　リヨン校
　マルセイユ校
　ナント校
　セントラルスピレック
＊アルビ鉱山大学（2006.9.12）
＊リヨン政治学院（2008.6.6）
＊リヨン高等師範学校（2008.8.11）
＊リヨン第2大学（2009.10.20）
＊サンテティエンヌ国立高等鉱山学校（2012.4.5）
＊ボルドー工科大学（2013.7.5）
　リヨン大学（2013.9.9）
＊国立東洋言語文化研究大学（INALCO）（2017.1.31）
＊パリ・シテ大学（2017.9.21）
＊ロレーヌ大学（2018.2.26）
　放射光施設ソレイユ（2018.6.27）
　欧州シンクロトロン放射光研究所（2019.8.22）
＊パリ・サクレ大学（2020.7.20）

ドイツ
＊アーヘン工科大学（1998.5.19）
＊ドルトムント工科大学（1999.3.2）
＊ザールラント大学（1999.10.5）
＊ダルムシュタット工科大学（2003.4.30）
＊ゲッティンゲン大学（2003.10.23）
＊ドレスデン工科大学（2006.6.26）
＊ベルリン工科大学（2009.8.26）
＊ミュンヘン工科大学（2010.8.3）
＊カールスルーエ工科大学（2011.1.18）
＊カイザースラウテルン工科大学（2012.2.1）
＊ハイデルベルク大学（2012.2.2）
＊ヨハネスグーテンベルク大学マインツ（2012.2.6）
　ドイツ航空宇宙センター（2013.3.1）
＊パダボーン大学（2013.8.21）
＊ケムニッツ工科大学（2013.10.31）
＊レーゲンスブルク大学（2017.3.16）
＊オルデンブルク大学（2017.7.13）
＊ウルム大学（2019.10.11）

イタリア
　ローマ大学「ラ・サピエンツァ」（1990.9.27）
＊フィレンツェ大学（2009.8.21）
＊トリノ工科大学（2010.11.24）
　ナポリ大学（2012.3.28）
＊ミラノ工科大学（2013.5.14）
＊ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学（2018.3.14）
＊サクロ・クオーレ・カトリック大学（2019.5.6）
　トリエステシンクロトロン放射光施設 Elettra（2018.8.1）

オランダ
＊グローニンゲン大学（2011.11.17）
＊トゥウェンテ大学（2015.8.21）
＊デルフト工科大学（2016.1.11）
＊ラドバウド大学（2019.5.6）

ノルウェー
＊オスロ大学（2020.8.31）

ポーランド
＊ワルシャワ大学（2021.3.4）
＊ポーランド科学アカデミー（2021.7.23）

ポルトガル
＊リスボン新大学（2017.9.18）

ロシア
＊ロシア科学アカデミー・シベリア支部（1992.8.10）
＊モスクワ国立大学（1998.2.19）
＊ノボシビルスク国立大学（2003.7.4）
　ロシア科学アカデミー・極東支部（2012.1.23）
＊極東連邦大学（2012.3.19）
＊ロシア国立高等経済学院（HSE）（2014.9.30）
＊サンクトペテルブルク国立総合大学（2014.10.1）
＊サンクトペテルブルク電気工科大学（2019.11.22）

スペイン
＊グラナダ大学（2012.9.27）
＊バリャドリッド大学（2014.6.11）
　マドリード・コンプルテンセ大学（2017.12.28）
＊サラマンカ大学（2018.5.20）
＊セビリア大学（2019.8.5）

スウェーデン
＊ウーメオ大学（1997.8.18）
＊王立工科大学（2000.9.20）
＊ウプサラ大学（2002.3.20）
＊ストックホルム大学（2003.1.14）
＊チャルマース工科大学（2006.4.19）
　ルンド大学 MAXIV 研究所（2019.8.15）

スイス
＊スイス連邦工科大学ローザンヌ校（2000.11.20）
　スイス連邦工科大学チューリッヒ校（2010.7.21）
＊ジュネーブ大学（2015.10.20）
＊チューリッヒ大学（2019.8.15）

イギリス
　ロンドン大学(SOAS)（1989.4.10）
　ノッチンガム大学（2001.5.15）
＊ヨーク大学（2004.6.7）
＊シェフィールド大学（2009.8.21）
　ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（2013.11.21）
＊イーストアングリア大学（2018.12.14）

＜国際機関＞

国際機関
　ITER 国際核融合エネルギー機構（2013.12.24）
　国連大学環境・人間の安全保障研究所（2017.10.17）
　国連大学サステイナビリティ高等研究所（2018.3.8）

注1）＊印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。
注2）協定機関名の後の括弧は協定締結年月日。

学術交流協定締結等

部局間協定

59ヶ国・地域　479機関

注1）＊印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。
注2）相手機関の部局等が示されていない場合は、相手機関全体と本学部局との間に締結された協定を示す。

エリア	国・地域	機関			部局	締結年月日
アジア	バングラディシュ（1）	ダッカ大学	生物科学部		農学研究科	2014/04/27
	中国（79）	北京理工大学	情報・電子学部	＊	工学研究科	2019/08/08
		北京師範大学	歴史学院	＊	文学研究科	2019/12/12
			教育学部	＊	教育学研究科	2013/05/08
		首都師範大学	歴史学院	＊	文学研究科	2019/05/29
		中国医科大学			医学系研究科	1982/09/29
		中国鉱業大学	メカトロニクス工学部	＊	工学研究科	2019/10/09
		中国石油（東中国）大学	機械及び電子工学部	＊	工学研究科	2019/02/27
		中国科学院	長春光学精密機械物理研究所		多元物質科学研究所	2000/12/26
			化学研究所	＊	工学研究科	2006/11/06
			近代物理研究所		サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	2020/07/01
			物理研究所		流体科学研究所	2001/05/21
			半導体研究所		電気通信研究所	2007/04/12
		中国社会科学院	法学研究所		法学研究科	2003/07/03
		重慶理工大学	車両工学部	＊	流体科学研究所	2012/07/09
		大連市口腔医院			歯学研究科	2013/04/01
		大連理工大学	研究生院	＊	工学研究科	2000/06/12
		華東師範大学	教育学部	＊	教育学研究科	2013/11/29
			心理と認知科学学院	＊	教育学研究科	2013/11/29
		華東理工大学	機械・動力工学部	＊	工学研究科	2010/07/25
		復旦大学	歴史学系	＊	文学研究科	2019/08/01
		福建医科大学	口腔医学院	＊	歯学研究科	2013/04/01
		広東省民族宗教研究院			東北アジア研究センター	2001/06/25
		海南大学	外国語学院	＊	文学研究科	2019/12/18
		杭州師範大学	教育科学学院	＊	教育学研究科	2013/03/29
		ハルビン工業大学		＊	工学研究科	1996/08/03
			計算機科学・技術学院		情報科学研究科	2010/07/05
		ハルビン医科大学		＊	医学系研究科	2000/06/21
		華僑大学	材料科学工程学院		多元物質科学研究所	2001/06/05
		湖南大学	金融学院	＊	経済学研究科	2009/04/26
		内蒙古師範大学	蒙古学学院		東北アジア研究センター	2008/04/01
			旅游学院		東北アジア研究センター	2011/09/28
		内蒙古大学	蒙古学学院		東北アジア研究センター	2008/09/22
		江南大学	Junyuan 学院	＊	工学研究科	2016/03/10
		吉林大学	外国語学院	＊	文学研究科	2022/03/02
		遼寧省腫瘤病院・遼寧省腫瘤研究所			加齢医学研究所	1998/12/07
		中央民族大学	蒙古語言文学系		東北アジア研究センター	2014/02/25
		南京師範大学	教育科学学院	＊	教育学研究科	2010/11/25
			心理学院	＊	教育学研究科	2013/11/27
		南開大学	経済社会発展研究院	＊	国際文化研究科	2017/06/30
			外国語学院	＊	文学研究科	2015/12/16
				＊	国際文化研究科	2015/12/16
			日本研究院	＊	文学研究科	2016/02/25
		東北師範大学	教育学部	＊	教育学研究科	2014/11/14
		東北大学			工学研究科	1981/11/23
		北京大学	ナノ科学技術研究センター		多元物質科学研究所	1998/11/05
			日本研究センター		教育学研究科	1999/05/18
		青島科技大学	環境及び安全工学部	＊	工学研究科	2017/02/24
		北京師範大学	文学院	＊	文学研究科	2019/07/30
		山東大学	外国語学院	＊	文学研究科	2018/10/25
		上海交通大学	口腔医学院	＊	歯学研究科	2016/05/12
			環境科学与工程学院	＊	環境科学研究科	2013/11/12
		四川大学	華西薬学院		薬学研究科	2010/02/17
			華西口腔医学院		歯学研究科	2006/09/28
		蘇州大学	薬学部	＊	薬学研究科	2014/12/22
		華南理工大学	電子・情報学院 電子工学院 建築学院 機械・自動車工程学院	＊	工学研究科	2016/07/07
		東南大学	経済管理学院	＊	経済学研究科	2010/07/27
		南方科技大学		＊	医工学研究科	2019/11/22
		西南大学	材料・エネルギー学部		多元物質科学研究所	2017/03/22
		西南政法大学		＊	法学研究科	2016/06/07
		中山大学	光華口腔医学院	＊	歯学研究科	2018/03/12
		香港理工大学		＊	工学研究科	2021/05/13
		香港大学	歯学部	＊	歯学研究科	2015/11/16
			工学部	＊	工学研究科	2019/08/19
			LI KA SHING 医学部	＊	医学系研究科	2013/11/01
		天津医科大学	口腔医学院	＊	歯学研究科	2010/07/08
		天津 TEDA 国際心血管病院		＊	医学系研究科	2015/05/05
		天津大学	教育学院	＊	教育学研究科	2020/12/21
		電子科技大学		＊	工学研究科	2009/06/22
		南華大学	核科学技術学院		サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	2021/12/08
				＊	工学研究科	2022/10/27
		武漢大学	哲学院	＊	文学研究科	2015/03/19
				＊	経済学研究科	2018/05/31
			口腔医学院	＊	歯学研究科	2018/12/21
		西安外国語大学	日本文化経済学院	＊	文学研究科	2017/05/10
		西安交通大学	航天航空学院	＊	工学研究科	2021/03/29
		西安建築科技大学	環境・市政工程学院	＊	環境科学研究科	2013/12/19
		西安電子科技大学		＊	工学研究科	1999/08/12
		浙江大学	口腔医学院	＊	歯学研究科	2020/06/01
		鄭州大学	材料工程学院		多元物質科学研究所	2003/06/16

2023年5月1日現在

エリア	国・地域	機関			部局	締結年月日
	カンボジア（1）	国立公衆衛生研究所			医学系研究科	2019/09/06
	インド（4）	インド科学教育研究大学ボパール校		*	医工学研究科	2019/04/05
		インド工科大学マドラス校		*	工学研究科	2013/12/16
		ブネ国立化学研究所			工学研究科	1999/04/28
		ボックカリガーラ・サンガ・デンタルカレッジ		*	歯学研究科	2014/07/01
	インドネシア（26）	アチェ津波博物館			災害科学国際研究所	2016/11/22
		アイルランガ大学	歯学部	*	歯学研究科	2015/02/16
		アル・アザール・インドネシア大学	人文学部	*	文学研究科	2021/05/26
		アルハイラート大学医学部およびアヌタプラ病院		*	医学系研究科	2017/07/05
		ブラウィジャヤ大学	農業工学科	*	環境科学研究科	2019/12/19
			コンピューターサイエンス科	*	環境科学研究科	2019/12/19
			数学・自然科学部	*	環境科学研究科	2019/12/19
				*	理学研究科	2013/11/17
		ガジャマダ大学	文化研究学部	*	文学研究科	2016/02/10
			大学院	*	文学研究科	2016/06/30
		国立ガネーシャ教育大学			経済学研究科	2019/03/26
		ハサヌディン大学	農学部	*	農学研究科	2015/03/16
		インドネシア科学院		*	工学研究科	2006/03/14
		バンドン工科大学		*	工学研究科	2000/03/24
					環境科学研究科	2008/01/17
		シャリフ・ヒダーヤットゥラ国立イスラム大学（UIN）	ジャカルタ医療・健康科学学部	*	医学系研究科	2016/09/29
		バジャジャラン大学	数学・自然科学部	*	工学研究科	2011/01/31
		セブル・ノーベンバー工科大学		*	工学研究科	2006/12/21
		シャクアラ大学	工学研究科	*	工学研究科	2019/11/07
			数理学部		災害科学国際研究所	2014/06/01
			津波災害軽減研究センター		災害科学国際研究所	2016/11/22
		インドネシア大学	数学・自然科学部		情報科学研究科	2020/03/10
		ジェンベル大学	歯学部	*	歯学研究科	2017/06/15
		国立インドネシア教育大学	教育学部・大学院研究科	*	教育学研究科	2017/03/10
		北スマトラ大学	歯学部	*	歯学研究科	2018/10/22
		マタラム大学		*	工学研究科	2016/08/16
	マレーシア（2）	モナシュ大学サンウェイ校			医工学研究科	2014/01/06
		マレーシア・プルリス大学		*	医工学研究科	2020/02/07
	モンゴル（4）	マンダフバートゲル大学		*	経済学研究科	2015/04/16
		モンゴル医学アカデミー		*	医学系研究科	2010/03/24
		モンゴル国立医療科学大学	歯学部	*	歯学研究科	2015/01/05
		モンゴル科学技術大学	ジオサイエンスセンター		東北アジア研究センター	2000/10/02
	ネパール（1）	トリブバン大学	医学部		災害科学国際研究所	2016/11/01
	フィリピン（5）	アンヘラス大学			災害科学国際研究所	2014/11/03
		ミンダナオ州立大学イリガン工科校		*	工学研究科	1999/09/09
		国立熱帯医学研究所			医学系研究科	2013/01/25
		フィリピン大学マニラ校			災害科学国際研究所	2014/06/20
		サンラザロ病院			医学系研究科	2023/04/03
	シンガポール（2）	ナンヤン工科大学	工学部	*	工学研究科	2010/10/12
		国立シンガポール歯学研究所		*	歯学研究科	2020/04/02
	韓国（36）	全南大学校	工科大学	*	工学研究科	2007/11/12
			歯医学専門大学院		歯学研究科	1991/08/30
		忠北大学校	薬学大学		薬学研究科	1998/11/23
		忠南大学校	工科大学	*	工学研究科	2000/07/20
		韓国ロボット集中研究所	災害ロボティクスセンター		タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター	2019/06/17
		東国大学校	文科大学	*	文学研究科	2012/07/04
		翰林大学校	日本学研究所		文学研究科	2018/12/15
		韓南大学校	ハイブリッド材料研究所		多元物質科学研究所	2003/01/17
		漢陽大学校	工学部および大学院	*	工学研究科	2007/01/09
			理工学部	*	流体科学研究所	2012/04/03
		済州大学校	農科大学		農学研究科	1984/08/07
		建国大学校	大学院 工学部 建築学部 サンホ生命科学部	*	工学研究科	2010/07/22
		建国大学グローカルキャンパス			学際科学フロンティア研究所	2022/09/30
		国民大学校	社会科学大学	*	法学研究科	2004/07/22
		韓国科学技術院	電子部品・材料設計人力教育センター		金属材料研究所	2000/05/11
		韓国原子力研究所			金属材料研究所	2018/11/14
		韓国科学技術研究院（KIST）			金属材料研究所	1989/11/15
		韓国国立海洋大学校	工科大学		金属材料研究所	2009/04/15
		韓国極地研究所			理学研究科	2017/12/11
		高麗大学校	日本研究センター		東北アジア研究センター	2008/04/25
			中国学研究所		東北アジア研究センター	2008/04/25
			師範大学	*	教育学研究科	2011/12/10
		韓国原子力医学院	放射線医学研究所		サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	2017/12/18
		金烏工科大学校		*	工学研究科	2015/04/27
		慶熙大学校	歯科大学	*	歯学研究科	2019/12/12
		明知大学校	社会教育大学院		教育学研究科	2000/03/17
		釜慶大学校		*	工学研究科	1995/02/13
		釜山大学校	素材技術研究所		金属材料研究所	1996/10/28
		ソウル大学校	師範大学	*	教育学研究科	2014/03/28
			航空宇宙学科		流体科学研究所	2013/06/20
			知能生態科学研究科		環境科学研究科	2022/09/15
		順天大学校	農業生命科学大学		生命科学研究科	2002/08/07
		成均館大学校	情報通信用新機能性素材及び工程研究センター		多元物質科学研究所	2003/06/09
		又松大学校	保健福祉学部	*	教育学研究科	2010/04/23
		延世大学校	歯科大学	*	歯学研究科	2016/09/08
			工科大学	*	工学研究科	1999/08/24

学術交流協定締結等

部局間協定

注1）＊印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。
注2）相手機関の部局等が示されていない場合は、相手機関全体と本学部局との間に締結された協定を示す。

エリア	国・地域	機関			部局	締結年月日
	台湾（41）	中央研究院	中国文哲研究所		文学研究科	2004/09/24
			地球科学研究所		理学研究科	2008/12/04
			歴史語言研究所		文学研究科	2003/08/05
			物理研究所		サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	2008/02/27
			社会学研究所		文学研究科	2013/04/15
		長庚大学	工学部	＊	工学研究科	2021/06/10
				＊	流体科学研究所	2011/07/20
			健康加齢研究所		加齢医学研究所	2018/12/18
		天主教輔仁大学	外語学院	＊	文学研究科	2008/12/24
		工業技術研究院	情報通信研究所		災害科学国際研究所	2013/11/22
			南分院		工学研究科	2010/01/25
					多元物質科学研究所	2009/11/27
		開南大学	資訊学院	＊	情報科学研究科	2009/05/05
		高雄医学大学	口腔医学院	＊	歯学研究科	2018/03/29
		国立高雄大学	人文社会科学院	＊	文学研究科	2012/04/01
		財団法人金属工業研究発展センター			金属材料研究所	2015/12/18
		国立応用研究所	台湾半導体研究所		流体科学研究所	2004/07/21
		国立彰化師範大学	管理学院	＊	経済学研究科	2018/03/05
		国立政治大学	教育学院	＊	教育学研究科	2012/09/03
			社会科学院	＊	経済学研究科	2010/06/10
		国立成功大学	歯学部	＊	歯学研究科	2020/02/10
		国立暨南国際大学	科学技術学院	＊	情報科学研究科	2015/02/26
		国立中正大学	高齢社会創造研究センター		加齢医学研究所	2019/07/08
		国立東華大学	管理学院	＊	経済学研究科	2015/07/13
		国立中山大学	文学院中国文学系	＊	文学研究科	1999/04/03
		国立台北大学	法律学院	＊	法学研究科	2017/07/03
		国立台北科技大学	工程学院	＊	理学研究科	2015/05/02
					多元物質科学研究所	2018/04/23
		国立台東大学	師範学院	＊	教育学研究科	2008/12/05
		国立台湾師範大学	教育学院	＊	教育学研究科	2011/03/04
		国立台湾大学	人工知能・先端ロボットセンター		電気通信研究所	2018/07/31
			気象災害研究センター		災害科学国際研究所	2015/03/17
			社会科学院	＊	経済学研究科	2015/03/23
			歯学部	＊	歯学研究科	2016/10/07
		国立陽明交通大学	歯学部	＊	歯学研究科	2016/10/07
		台北医学大学	医学科	＊	医学系研究科	2013/05/27
			口腔医学院	＊	歯学研究科	2017/04/15
			薬学部	＊	薬学研究科	2013/11/15
			栄養学部	＊	農学研究科	2006/04/28
		台湾法官学院			法学研究科	2019/05/16
		淡江大学	工学部	＊	工学研究科	2015/12/10
	タイ（22）	チェンマイ大学	歯学部	＊	歯学研究科	2019/01/11
			理学部	＊	多元物質科学研究所	2008/06/09
			理学部プラズマビーム物理研究施設		電子光理学研究センター	2016/12/06
		チュラロンコーン大学	医療学部	＊	医学系研究科	2018/01/23
			歯学部	＊	歯学研究科	2014/12/09
			心理学部	＊	文学研究科	2019/06/21
		カセサート大学	工学部	＊	工学研究科	2013/11/11
					環境科学研究科	2017/02/24
		コンケン大学	歯学部		歯学研究科	2015/02/19
			公衆衛生学部	＊	工学研究科	2019/01/09
		マヒドン大学	医学部 Ramathibodi 病院	＊	医学系研究科	2013/11/01
		タイ国立開発行政大学院大学	言語及びコミュニケーション研究科		国際文化研究科	2019/03/04
		プリンス・オブ・ソンクラー大学	歯学部	＊	歯学研究科	2015/01/05
			工学部	＊	工学研究科	2001/01/16
		サイアム大学	教養学部	＊	文学研究科	2016/02/24
		泰日工業大学		＊	経済学研究科	2007/10/23
		タマサート大学	医学部	＊	医学系研究科	2018/04/03
			教養学部	＊	文学研究科	2021/09/23
				＊	国際文化研究科	2020/06/22
			シリントーン国際工学部	＊	情報科学研究科	2008/01/21
				＊	工学研究科	2015/12/22
		UNESCO バンコク事務所			教育学研究科	2020/03/27
	ベトナム（7）	貿易大学	国際経済学部	＊	経済学研究科	2010/01/14
		ハノイ工科大学		＊	工学研究科	2009/03/27
		チュイロイ大学		＊	工学研究科	2007/01/30
		ベトナム国家大学ホーチミン市・理科大学		＊	工学研究科	2009/07/20
		ベトナム科学技術アカデミー	大学院大学	＊	工学研究科	2017/05/12
			材料科学研究所	＊	工学研究科	2008/02/14
		ベトナム原子力研究所		＊	工学研究科	2017/11/16
中東	イラン（1）	シラズ大学	工学部	＊	工学研究科	2002/03/01
	クウェート（1）	クウェート科学研究所			多元物質科学研究所	2013/02/18
	アラブ首長国連邦（1）	アラブ首長国連邦大学	薬学・健康科学学部		加齢医学研究所	2016/07/10
アフリカ	エジプト（3）	アイン・シャムス大学	医学部		災害科学国際研究所	2020/08/05
		アレクサンドリア大学	スムーハ救命救急病院		流体科学研究所	2017/11/30
		エジプト日本科学技術大学		＊	工学研究科	2013/05/12
	ケニア（1）	KCA 大学	経営・公共管理学院	＊	経済学研究科	2015/05/05
	ナイジェリア（1）	ナイジェリア大学（ヌスカ）	物理学部	＊	理学研究科	2016/02/26
	南アフリカ（2）	ローズ大学	理学部	＊	理学研究科	2013/09/16
		ウィットウォータースランド大学		＊	理学研究科	2017/04/19
	ザンビア（1）	ザンビア大学	医学部		医学系研究科	2019/10/16
オセアニア	オーストラリア（3）	カーティン大学			工学研究科	2023/03/30
		マッコーリー大学	オーストラリアン・スクール・オブ・アドバンスト・メディシン		加齢医学研究所	2014/04/15
		シドニー大学			加齢医学研究所	2017/02/14

2023年5月1日現在

エリア	国・地域	機関			部局	締結年月日
	ニュージーランド（3）	ニュージーランド地質・核科学研究所			理学研究科	2008/03/19
					災害科学国際研究所	2014/09/01
		マッセー大学			理学研究科	2020/03/10
北米	カナダ（7）	マギル大学	金属プロセス研究センター		多元物質科学研究所	1998/11/30
			モントリオール神経研究所		加齢医学研究所	2010/06/08
		モントリオール理工科大学		*	工学研究科	2017/10/12
		ブリティッシュ・コロンビア大学	歯学部		歯学研究科	2001/04/23
		トロント大学	金属・材料科学科		多元物質科学研究所	1998/12/01
			航空宇宙研究所		流体科学研究所	1994/06/20
		ビクトリア大学	工学部	*	情報科学研究科	2009/12/21
	アメリカ（28）	カーネギー研究機構	地球物理学研究所		理学研究科	2008/12/01
		コロンビア大学	化学科		多元物質科学研究所	1995/11/22
			理工学部地球・環境工学科		多元物質科学研究所	1998/10/15
		ハーバード大学	ライシャワー日本研究所		災害科学国際研究所	2014/06/13
		マサチューセッツ工科大学	電子工学研究所 マイクロシステム技術研究所		工学研究科	2015/01/09
					金属材料研究所	2015/01/09
					多元物質科学研究所	2015/01/09
		ノースイースタン大学	工学部		流体科学研究所	2013/09/19
		ラトガース大学	ワイヤレスネットワーク研究所（WINLAB）		電気通信研究所	2009/12/09
		シラキュース大学	工学部		流体科学研究所	2001/06/15
		テキサス A&M 大学	農学・生命科学部		農学研究科	2018/02/06
		ニューヨーク市立大学シティカレッジ	グローブ・スクール オブ エンジニアリング	*	工学研究科	2010/12/13
		フォーサイス研究所			歯学研究科	2005/12/09
		オハイオ州立大学	文理学部（大学院）	*	文学研究科	2017/08/01
		カリフォルニア大学デービス校	農環境科学部		農学研究科	2019/10/17
		カリフォルニア大学ロサンゼルス校	純粋応用数学研究所		材料科学高等研究所	2012/08/02
		カリフォルニア大学リバーサイド校	ボーンズ・カレッジ・オブ・エンジニアリング		工学研究科	2017/03/22
		ゲルフ大学	オンタリオ農学部		農学研究科	2023/01/12
		イリノイ大学	工学部・バイオアクスティクス研究所		工学研究科	1988/08/29
					加齢医学研究所	1988/08/29
		イリノイ大学シカゴ校			理学研究科	2000/05/01
		イリノイ大学アーバナ・シャンペン校	工学部電気・コンピューター工学科	*	医工学研究科	2013/07/29
		ケンタッキー大学	工学部		流体科学研究所	2008/11/17
		ミシガン大学	工学部		流体科学研究所	2020/05/18
					工学研究科	2023/03/23
		ユタ大学	金属工学科		多元物質科学研究所	1998/11/15
		ワイオミング大学		*	工学研究科	2016/12/01
		ウェイン州立大学	医学部		医学系研究科	2019/11/07
中南米	アルゼンチン（1）	アルゼンチン国立乳酸菌研究所（CERELA-CONICET）		*	農学研究科	2016/10/17
	ブラジル（1）	リオ・グランジ・ド・スル州立大学	法学部 法学修士課程		法学研究科	2002/09/02
	チリ（2）	アタカマ大学		*	工学研究科	2006/03/22
		コンセプシオン大学		*	工学研究科	2009/04/07
	キューバ（1）	キューバ・ニューロサイエンス・センター			加齢医学研究所	2008/03/11
	エルサルバドル（1）	エルサルバドル大学	工学・建築学部	*	環境科学研究科	2019/11/18
	メキシコ（2）	モンテレイ工科大学		*	工学研究科	2020/07/03
		メキシコ国立工科大学		*	工学研究科	2000/03/30
	ペルー（1）	ペルー国立工科大学	日本・ペルー地震防災センター		災害科学国際研究所	2018/03/20
ヨーロッパ	オーストリア（1）	インスブルック・マネジメントセンター		*	経済学研究科	2019/01/25
	ベルギー（7）	ヘント大学	文哲学部	*	文学研究科	2014/12/16
		ルーヴェン・カソリック大学	医学部およびバイオメディカルサイエンスグループ		医学系研究科	2017/10/23
					生命科学研究科	2017/10/23
		ルーヴァン・カトリック大学	理学部	*	医工学研究科	2021/10/02
		ルーバンカトリック大学	理学研究科	*	理学研究科	2007/08/29
		ブリュッセル自由大学	工学部	*	工学研究科	2016/10/12
			ラ・カンプル＝オルタ建築学部	*	工学研究科	2010/09/02
	クロアチア（1）	ブーラ大学		*	文学研究科	2016/04/01
	チェコ（6）	チェコ科学アカデミー	プラズマ物理研究所		流体科学研究所	2000/01/25
			物理研究所		金属材料研究所	2017/03/24
		マサリク大学	医学部	*	医学系研究科	2008/05/28
					加齢医学研究所	2008/05/28
			理学部		生命科学研究科	2002/10/22
		VSB －オストラバ工科大学		*	工学研究科	1997/11/10
	デンマーク（4）	オールボー大学	通信基盤研究センター	*	工学研究科	2010/11/26
		デンマーク工科大学		*	工学研究科	2000/04/13
		コペンハーゲン大学	ヘルシーエイジング研究センター		加齢医学研究所	2012/09/26
			経済学部	*	経済学研究科	2014/06/12
	エストニア（1）	タリン工科大学	経済経営学院	*	経済学研究科	2015/05/27
	フィンランド（5）	アアルト大学	美術・デザイン・建築学部	*	工学研究科	2018/03/05
		トゥルク応用科学大学	ビジネス・ICT・化学工学部	*	医工学研究科	2017/12/06
			工学・ビジネス学部	*	工学研究科	2010/02/22
		東フィンランド大学	健康科学部薬学校	*	薬学研究科	2016/07/13
		オウル大学	歯学部		歯学研究科	2007/04/13
	フランス（25）	アルビ鉱山大学			多元物質科学研究所	1999/10/04
		ECAM-EPMI		*	工学研究科	2023/02/20
		オバール海岸大学オバール海岸工学校		*	工学研究科	2017/02/14
		国立高等産業・企業情報科学大学		*	工学研究科	2013/05/29
		国立高等レンヌ化学学校		*	理学研究科	2016/01/04
		国立高等電子応用大学院		*	工学研究科	2016/09/19
		国立応用科学院トゥールーズ校		*	工学研究科	2006/06/13
		トゥールーズ国立理工科大学		*	工学研究科	2015/12/09
		航空宇宙高等学院		*	工学研究科	2013/12/18
		国立モンペリエ高等建築大学		*	工学研究科	2007/07/12
		国立科学研究所	マルセイユ・ナノサイエンス学際センター		電気通信研究所	2005/10/24
		オレンジ			電気通信研究機構	2013/01/09
		放射光施設ソレイユ			多元物質科学研究所	2013/06/27

学術交流協定締結等

部局間協定

注1）＊印は、授業料等を不徴収とする交流協定を締結している機関を示す。
注2）相手機関の部局等が示されていない場合は、相手機関全体と本学部局との間に締結された協定を示す。

エリア	国・地域	機関			部局	締結年月日
	フランス（25）	国立パリ高等情報通信大学			電気通信研究所	2017/10/25
		リヨン第一大学		＊	理学研究科	2011/09/09
				＊	工学研究科	2016/04/25
			発光材料物理化学研究所		金属材料研究所	1999/11/25
		クレルモン・オーベルニュ大学		＊	理学研究科	2020/09/04
			クレルモン・フェラン地球物理観測所学院およびクレルモン・リスクセンター		災害科学国際研究所	2020/09/04
		モンペリエ大学		＊	工学研究科	2017/09/26
		ナント大学	材料研究所		多元物質科学研究所	2014/12/08
		ルーアン・ノルマンディー大学	理工学部	＊	薬学研究科	2016/09/19
		トロイ工科大学		＊	工学研究科	2008/06/13
		パリ第１大学（パンテオン・ソルボンヌ）		＊	法学研究科	2018/05/03
		ベルサイユ大学		＊	工学研究科	2011/03/09
	ドイツ（36）	アーヘン応用科学大学	航空工学科	＊	工学研究科	2016/10/17
			ナノ・バイオテクノロジー研究所	＊	医工学研究科	2019/04/14
		ドイツ航空宇宙センター	リモートセンシングデータセンター		災害科学国際研究所	2012/05/23
		フラウンホーファー研究機構	エレクトロ・ナノシステム研究所		材料科学高等研究所	2011/11/08
			非破壊検査研究所	＊	流体科学研究所	2012/09/26
		ベルリン自由大学	物理学科		多元物質科学研究所	1997/11/03
		イエナ・フリードリッヒ・シラー大学	固体物理研究所		多元物質科学研究所	1999/07/27
		ハインリッヒ・ハイネ大学デュッセルドルフ	数理学部および、セシル・オスカー・フォークト脳研究所（MNF）	＊	医学系研究科	2020/08/20
				＊	生命科学研究科	2019/10/30
		ヘルムホルツセンター・ベルリン研究所			金属材料研究所	2018/07/02
		アイエイチピー（IHP-Innovations for High Performance Microelectronics）			電気通信研究所	2001/01/22
		結晶成長研究所			多元物質科学研究所	2006/10/17
		ヨハネスグーテンベルク大学マインツ	物理・数学・計算機科学部	＊	理学研究科	2012/05/03
		カールスルーエ工科大学		＊	情報科学研究科	2009/10/26
		マックスプランク鉄鋼研究所			金属材料研究所	2020/10/15
		マックスプランク固体化学物理研究所 マックスプランク微細構造物理学研究所			金属材料研究所	2017/03/10
		マックスプランク核物理研究所			多元物質科学研究所	2009/12/24
		ロイトリンゲン大学	ESB ビジネススクール	＊	経済学研究科	2017/01/10
		ルール大学ボーフム		＊	工学研究科	2022/05/04
		ハンブルグ・ハールブルグ工科大学		＊	工学研究科	1997/05/15
		ブラウンシュヴァイク工科大学		＊	工学研究科	2018/01/08
		ダルムシュタット工科大学	エマージェンシティレーベセンター		災害科学国際研究所	2020/06/01
					タフ・サイバーフィジカル AI 研究センター	2020/06/01
		バイロイト大学		＊	理学研究科	2016/02/05
		ボン大学	人文学部	＊	経済学研究科	2013/06/26
		エルランゲン大学	工学部	＊	工学研究科	2004/10/05
		フライブルグ大学	マイクロシステム技術研究所	＊	工学研究科	1999/06/08
		ゲッティンゲン大学	法学部		法学研究科	2000/11/27
		グライスバルト大学	数学自然科学学部 薬学研究所	＊	薬学研究科	2017/03/16
		ハイデルベルク大学	法学部		法学研究科	2003/09/16
		ヒルデスハイム大学	文化感性コミュニケーション学部	＊	文学研究科	2018/03/13
		パダボーン大学	経済学部	＊	経済学研究科	2011/01/20
		レーゲンスブルク大学	物理学部	＊	工学研究科	2009/09/22
		シュトゥットガルト大学		＊	工学研究科	2011/04/26
			高性能計算センター		サイバーサイエンスセンター	2023/04/01
		ヴッパータル大学	数学自然科学部	＊	理学研究科	2012/01/23
	ハンガリー（5）	ブダペスト工科経済大学		＊	医工学研究科	2021/01/08
		センメルワイス大学	医学部	＊	流体科学研究所	2014/09/04
		エトヴェシュ・ロラーンド研究グループエネルギー研究センター	物理材料技術研究所		流体科学研究所	1999/04/26
		ペーチ大学	医学部	＊	生命科学研究科	2022/02/01
		ミシュコルツ大学	材料科学工学研究科		多元物質科学研究所	2014/06/19
	アイスランド（1）	レイキャビク大学	計算機科学学部	＊	情報科学研究科	2010/06/26
	イタリア（17）	トリエステ放射光研究所			多元物質科学研究所	2007/08/29
		ピサ高等師範学校	エニオ・デジョルジ数学研究センター	＊	理学研究科	2013/06/25
		ヴェネツィア大学「カ・フォスカリ」	アジア・アフリカ地中海学部	＊	文学研究科	2014/06/05
		フェラーラ大学		＊	理学研究科	2012/06/27
		ミラノ大学	法学部		法学研究科	2003/06/12
			薬学部	＊	薬学研究科	2003/07/16
		ナポリ東洋大学		＊	文学研究科	2014/07/18
		パドヴァ大学	文・哲学部	＊	文学研究科	2015/08/01
		ローマ大学「ラ・サピエンツァ」	建築学部	＊	工学研究科	2012/04/05
			情報工学、情報科学および統計学部	＊	工学研究科	2010/07/26
				＊	情報科学研究科	2010/07/28
			文学・哲学学部	＊	文学研究科	2010/03/15
			数学・物理学・自然科学部	＊	理学研究科	2017/03/24
			東洋学部	＊	文学研究科	2008/02/28
		トレント大学	産業工学部 情報工学・コンピューターサイエンス学部	＊	工学研究科	2017/10/06
		トリエステ大学	建築工学部		流体科学研究所	2002/06/28
		トリノ大学	心理学部		加齢医学研究所	2011/07/21
	ルクセンブルク（1）	ルクセンブルク大学	科学技術および薬学部、人文、教育、社会科学部	＊	工学研究科	2017/11/29
	オランダ（11）	アイントホーヘン工科大学		＊	情報科学研究科	2016/03/30
		エラスムス大学	エラスムスメディカルセンター疫学部門		東北メディカル・メガバンク機構	2014/08/11
			メディカルセンター	＊	医工学研究科	2010/03/23
		ライデン大学	人文学部	＊	文学研究科	2011/02/15
		マーストリヒト大学	健康医学生命科学部	＊	医学系研究科	2014/05/30
		ユトレヒト大学カレッジ		＊	文学研究科	2018/09/26

2023年5月1日現在

エリア	国・地域	機関			部局	締結年月日
	オランダ（11）	アムステルダム大学	理学部	*	理学研究科	2013/07/11
		ユトレヒト大学	地球科学科	*	環境科学研究科	2021/06/25
			環境生物学研究所	*	農学研究科	2017/01/19
		ワーゲニンゲン大学	動物科学研究科	*	農学研究科	2016/01/28
			実験植物科学研究科	*	農学研究科	2016/10/26
	ノルウェー（4）	ノルウェー科学技術大学	医学健康科学部	*	医学系研究科	2017/04/27
				*	生命科学研究科	2017/04/28
			自然科学部 工学部	*	工学研究科	2017/10/16
		ベルゲン大学	医学部		加齢医学研究所	2017/05/10
	ポーランド（8）	AGH 科学技術大学		*	工学研究科	2017/06/07
		ポーランド真空工学研究所			金属材料研究所	2000/06/09
		ヤゲェウォ大学	国際政治学部	*	文学研究科	2022/04/20
		マリア・キュリー・スクロドゥスカ大学	法学部		法学研究科	2003/09/19
		ポーランド科学アカデミー	物理研究所		金属材料研究所	2000/12/08
					電気通信研究所	1976/08/03
		ヴロツワフ工科大学		*	工学研究科	2013/02/27
				*	流体科学研究所	2014/06/10
	ポルトガル（2）	リスボン大学	テクニコ高等学校	*	医工学研究科	2019/04/03
				*	工学研究科	2017/05/12
	ルーマニア（1）	レーザー・プラズマ・放射物理国立研究所			多元物質科学研究所	2006/08/04
	ロシア（19）	バウマン・モスクワ国立工科大学	フォトニクス・赤外工学研究教育センター無線電子工学・レーザー工学研究所	*	電気通信研究所	2014/06/26
		イマニュエル・カントバルト連邦大学	物理工学研究所	*	学際科学フロンティア研究所	2015/01/30
		モスクワ国立大学	物理学部		流体科学研究所	2018/06/08
					電気通信研究所	2018/06/08
					多元物質科学研究所	2018/06/08
			心理学部	*	文学研究科	2013/10/09
		ロシア科学アカデミー	超高周波半導体電子工学研究所 総合物理学研究所		電気通信研究所	2020/09/25
			総合物理学研究所		金属材料研究所	1993/01/27
			固体物理学研究所		多元物質科学研究所	1993/10/01
			レベデフ物理研究所		多元物質科学研究所	2000/07/21
					流体科学研究所	2017/10/15
		ロシア科学アカデミー モスクワ国立大学	地球化学・分析化学研究所 化学部		多元物質科学研究所	2013/09/02
		ロシア科学アカデミー極東支部	経済研究所		東北アジア研究センター	2005/09/01
			自動制御プロセス研究所		多元物質科学研究所	2005/12/01
		ロシア科学アカデミーシベリア支部	人文学・北方民族問題研究所		東北アジア研究センター	2009/09/30
			V.N. スカチョフ森林研究所		東北アジア研究センター	2002/10/01
			ソボレフ地質学鉱物学研究所		理学研究科	2008/11/07
		スモレンスクステートメディカルアカデミー			加齢医学研究所	2003/07/18
		トムスク工科大学	原子核物理研究所		多元物質科学研究所	1997/12/01
	スロバキア（1）	ジリナ大学	電気工学部	*	工学研究科	2017/06/13
	スロベニア（2）	ジョセフ・ステファン研究所			金属材料研究所	2000/10/05
		リュブリャナ大学	工学関連4 学部	*	工学研究科	1998/06/03
	スペイン（6）	バルセロナ生物医学研究所（IRB バルセロナ）		*	薬学研究科	2016/08/01
		マドリード・アウトノマ大学	化学部		多元物質科学研究所	2013/06/26
		アリカンテ大学	材料研究所		多元物質科学研究所	2014/02/21
		バレンシア大学			理学研究科	2021/07/21
		カスティーリャ・ラ・マンチャ大学			加齢医学研究所	2017/12/19
		ビゴ大学	理学部		農学研究科	1996/11/26
	スウェーデン（4）	王立工科大学		*	工学研究科	1990/05/22
		リンショーピン大学	分析社会学研究所		文学研究科	2015/05/07
			工学部	*	工学研究科	1998/04/02
		イエテボリ大学	歯学部	*	歯学研究科	2018/05/25
	スイス（2）	スイス連邦工科大学ローザンヌ校			工学研究科	1994/07/29
		ローザンヌ大学	文学部	*	文学研究科	2020/08/07
	ウクライナ（1）	材料科学基礎国立研究所			多元物質科学研究所	2006/09/20
	イギリス（14）	キングスカレッジロンドンデンタルインスティテュート			歯学研究科	2006/08/01
		科学技術設備会議ダースベリ研究所			多元物質科学研究所	1996/10/01
		ケンブリッジ大学	化学部		材料科学高等研究所	2011/01/18
			工学部	*	工学研究科	2016/11/11
			材料科学・金属学部		材料科学高等研究所	2010/01/26
		イーストアングリア大学	保健学部	*	医学系研究科	2018/09/24
			薬学部	*	薬学研究科	2017/11/29
			政治学部、哲学学部、言語・コミュニケーション学部	*	法学研究科	2018/06/29
				*	国際文化研究科	2019/07/18
		レスター大学	社会科学部		経済学研究科	2001/02/12
		ロンドン大学	インスティテュート・オブ・エデュケーション		教育学研究科	1999/04/26
		マンチェスター大学	工学部	*	工学研究科	2007/03/26
		レディング大学	心理学・臨床言語科学学部		加齢医学研究所	2016/09/14
		ヨーク大学	教育学部		教育学研究科	2005/02/04
	国際機関（2）	国連開発計画			災害科学国際研究所	2015/08/04
		国連大学グローバルヘルス研究所（UNU-IIGH）			医学系研究科	2019/08/19

研究者等交流状況

外国人研究者等受入状況

（2022年度実績）

地域	国・地域	合計	文学部・文学研究科	教育学部・教育学研究科	法学部・法学研究科	経済学部・経済学研究科	理学部・理学研究科	医学部・医学系研究科	歯学部・歯学研究科	薬学部・薬学研究科	工学部・工学研究科	農学部・農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	金属材料研究所	加齢医学研究所	流体科学研究所	電気通信研究所	多元物質科学研究所	災害科学国際研究所	サイバーサイエンスセンター	病院	高度教養教育・学生支援機構	高等研究機構	材料科学高等研究所	学際科学フロンティア研究所	未来科学技術共同研究センター	マイクロシステム融合研究開発センター	先端スピントロニクス研究開発センター	東北メディカル・メガバンク機構	研究推進・支援機構	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	東北アジア研究センター	電子光理学研究センター	ヨッタンインフォマティクス研究センター	タフ・サイバーフィジカル2研究センター	国際放射光イノベーションスマート研究センター	本部事務機構
アジア	インド	45					5	2	2		5	1		1	1			6		2	3	3			3			5		2		3		1						
	インドネシア	57	1				1	6	11		12	3		2	1	4	1	1		4		2						3	2				2							1
	韓国	56	2	1			3	1	15		4	1		1	1			7		3	2	1	2		2			4		2		1	1	1			1			
	カンボジア	1							1																														
	シンガポール	26						6						2			1			8	8		1																
	スリランカ	5							1		2			1						1																			
	タイ	48		1				1	16		7	1		1	4			2		1		2	3				4	3					1			1			
	台湾	87	2	1		1	2	1	16	1	4	1			1	1		2	1	23	10	4			1			4	1				2	2		1			5
	中国（香港含む）	247	5	4	2		8	6	7	1	74	9	1	7	1	7	5	23	3	15	4	15	5		11			14	8	4				3			5			
	ネパール	1					1																																
	パキスタン	3																					1								1		1						
	バングラデシュ	14						1				5				1						4						1		1			1						
	フィリピン	16						2	11		1										2																		
	ベトナム	18							1		2							1				1					2	1	5		1							1	3
	マレーシア	11							1		3		1			1			1													4						
	ミャンマー	2						1			1																												
	モンゴル	9		1				1							1	3																			2			1	
中近東	アラブ首長国連邦	1						1																															
	イスラエル	4									1								1														1		1				
	イラン	8									1																2											1	4
	サウジアラビア	5																		4		1																
	シリア	1						1																															
	トルコ	6				2					1									3																		
	ヨルダン	1																										1										
アフリカ	アルジェリア	1					1																																
	エジプト	10					1	1			2				3					1	1	1																	
	エチオピア	1										1																											
	ガーナ	2	2																																				
	カメルーン	2						1												1																		
	ケニア	1								1																													
	ザンビア	1						1																															
	タンザニア	1										1																											
	チュニジア	1																											1									
	ナイジェリア	1										1																											
	ボツワナ	1														1																						
	南アフリカ	7	2								1									2								1								1			
オセアニア	オーストラリア	38	1		1			1	2	1	4			1	1			1		3	4	6					1						1						10
北米	アメリカ合衆国	109	7				7	7	1		10	1	4	7	2	1		2	3	8	6	3	4			1		7	1					17		4	2			4
	カナダ	18	4				2				2			1				1		2	3							1						1			1			
中南米	アルゼンチン	1										1																											
	エルサルバドル	17														17																							
	グアテマラ	1									1																												
	コロンビア	3			1											1				1																			
	チリ	3									2				1																								
	ニカラグア	1							1																														
	ブラジル	4												1											1			1										1		
	ベネズエラ	1									1																												
	ペルー	4														1					1		2																
	ボリビア	2																		1				1															
	メキシコ	3									1			1						1																			
ヨーロッパ	アイルランド	2	1																																				1
	イギリス	64				1	1	3			7		2		1			1	3	7	4		1					5	3				8	6		3				8
	イタリア	24	11				3	2			2			1	1													1						3					
	エストニア	1			1																																		
	オーストリア	2											1		1																								
	オランダ	10	7	1				1																				1										
	サイプラス（キプロス）	1													1																							
	スイス	6			1															1		2					1	1										
	スウェーデン	12					1	1			1				1				1	2	3								1		1								
	スペイン	6					1									2					2							1											
	スロバキア	1																													1								
	チェコ	1						1																															
	デンマーク	6																1			3												1			1			
	ドイツ	58	1		2	4	4				7			1	3		3	5	1	3	1	2	2					3			2		2	7				1	4
	ノルウェー	1													1																								
	ハンガリー	3						2									1																						
	フィンランド	7											1								1							1								4			
	フランス	85	6		1	2	2				4			4	1			13	1	28	1	12	2			1	3	1	1					1						1
	ベルギー	10					1	1							1																								7
	ポーランド	7	1				1											2			1	1				1													
	ポルトガル	2									1																	1											
	リトアニア	1																											1									
	ウクライナ	3									1							1										1											
	ロシア連邦	9	1								1					1					1							2						1		1		1		
合計		1,228	54	9	9	10	45	52	86	4	166	26	10	32	28	41	11	69	15	125	61	60	23	1	18	3	3	62	27	17	4	7	22	46	0	22	5	2	1	4	48

本学教職員海外渡航状況

（2022年度実績）

地域	国・地域	合計	文学部・文学研究科	教育学部・教育学研究科	法学部・法学研究科	経済学部・経済学研究科	理学部・理学研究科	医学部・医学系研究科	歯学部・歯学研究科	薬学部・薬学研究科	工学部・工学研究科	農学部・農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	金属材料研究所	加齢医学研究所	流体科学研究所	電気通信研究所	多元物質科学研究所	災害科学国際研究所	サイバーサイエンスセンター	高度教養教育・学生支援機構	材料科学高等研究所	学際科学フロンティア研究所	未来科学技術共同研究センター	マイクロシステム融合研究開発センター	先端スピントロニクス研究開発センター	国際連携推進機構	東北メディカル・メガバンク機構	未踏スケールデータアナリティクスセンター	研究推進・支援機構	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	東北アジア研究センター	電子光理学研究センター	ニュートリノ科学研究センター	タフ・サイバーフィジカルAI研究センター	国際放射光イノベーション・スマート研究センター	病院	本部事務機構
アジア	インド	35					12				2	1						8			4	5	2										1							
	インドネシア	81							9		5	3		2		8				1		1	49				2	1												
	韓国	143		16	1		8	7	4	4	6	5	7	24	1	3		1		1	9	13	6		8	3	3	8						3		1				1	
	カンボジア	7							2																										5					
	シンガポール	38					3	1		3	7										1	1	3	2		9				2			1							5
	スリランカ	2									2																													
	タイ	64		6	2		4		6		6	5		1	4	1					1		6		2	8								1		9		1		1	
	台湾	68		8	1		8	2	3		2	1		7		4				4	1	9		4	6	1	2		2									1	2
	中国	31			2	4		1			5			1			1						1			3		6									7			
	ネパール	2																					2																	
	バングラデシュ	5						2				2										1																		
	フィリピン	39						26				6	1										6																	
	ブルネイ	1			1																																			
	ベトナム	23			1	1	2				1	1										3			9			1	2	1						1				
	マレーシア	17					1	2	1		4	1		1	1							3	1													2				
	モルディブ	5																					5																	
	モンゴル	9		1									4			3																				1				
	その他(アジア地域)	1									1																													
中近東	アラブ首長国連邦	8									2			5												1														
	イスラエル	5									1															3	1													
	オマーン	1														1																								
	サウジアラビア	7									1									6																				
	トルコ	5									2		1										2																	
アフリカ	エジプト	10									1						1	1		1			2													4					
	エチオピア	1																																		1					
	ケニア	2					1			1																															
	コートジボワール	3	3																																					
	ザンビア	17						17																																
	セネガル	1	1																																					
	タンザニア	1										1																												
	チュニジア	1																								1													
	マダガスカル	1										1																												
	モロッコ	1					1																																	
	南アフリカ	41					7									1						30													1					1
オセアニア	オーストラリア	78		1	11		1	12			5	1		1	1			3		9	1	6	1			6	3	7							2				6	1
	ニュージーランド	11			1		1				6			1							2																			
北米	アメリカ合衆国	540	1	1	2	1	42	45		2	86	5	4	28	6	3	7	31	4	27	24	21	40	14	24	9	11	18	3			11	1		8	2	20	4	10	18	7
	カナダ	62		1	1	1	5	8		2	3	1	1	7				1		11	5	4	1	2	2	3	1							1		1				
中南米	アルゼンチン	9						4														1				1													3	
	エルサルバドル	12														12																								
	コロンビア	1																								1													
	チリ	5					1					1		3																										
	ドミニカ共和国	1									1																													
	ブラジル	9			4		2							3																										
	ペルー	1																					1																
	メキシコ	4																			1							1									2		
ヨーロッパ	アイスランド	3					2																			1													
	アイルランド	4					2					2																												
	イギリス	146	2	8	3	2	18	7			35	3	1	5	1		1		2	1	13	2	13		13	5	1				1			1			1		1	6
	イタリア	75	8				18	3			5			4	3		1			4	6		1			2	4	2							6	7			1	
	エストニア	3									3																													
	オーストリア	40				1	2	4			1	5	3			3			1			6	4			2	1					2			2	2				1	
	オランダ	55					2	1		1	5	14		2	1	2	4	2		1	5	2	2	2		6		1												1	1
	ギリシア	11					3					1	1	1						4																		1			
	スイス	52	1		1		4	3		2	12			1						1	6	1	11				1								1		1	2	3		1
	スウェーデン	18					2	1	1		5							1	1	2		1	2	1															1		
	スペイン	46	1				8	4	1	1	7	1				1		1		1	4	1			7		3	1			2						2			
	スロバキア	3											1													2														
	スロベニア	2									1			1																										
	セルビア（ユーゴスラビア）	2																										2												
	チェコ	20					3				3	3	3	2	1			1					1			3														
	デンマーク	19			1		2				5				2								3			3									2				1	
	ドイツ	130			3		25	1	3	7	16	2	4	10	2	1		4		2	6	6	6	3	2	7	3	6	6						1			4		
	ノルウェー	9													4							3												1				1	
	ハンガリー	11			2			4	1						2					1	1																		
	フィンランド	13					3	2						2	1									1											4					
	フランス	178		2	7	2	32			1	23	4	2	5	2	4		9	4	35	7	3	7			8	6	4					1		2	2	1	1			4
	ベルギー	25					5				3							5		2	4						3		2											1
	ポーランド	4					3	1																																
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	2																																	2					
	ポルトガル	14					2	3			1		1		2			2						1		2														
	リトアニア	3					1														1														1					
	ルーマニア	3			1		1																											1						
	ルクセンブルグ	2									2																													
	その他（ヨーロッパ地域）	1																																	1					
合計		2,303	17	44	45	12	237	161	31	24	276	70	34	117	35	46	16	69	12	114	98	122	181	32	73	90	45	58	15	1	2	16	1	2	8	38	27	29	22	18	36	29

外国人留学生数

外国人留学生数（国・地域別、費用、学籍別）

（2023年5月1日現在）

地域	国・地域	費用別人数							学籍別人数												
		国費		私費				計	学部学生	大学院生				研究生				その他		
				政府派遣		その他				修士・前期2年	専門職学位	後期3年	博士（医歯薬）	学部	大学院	研究所等	日本語研修コース研修生	特別聴講学生	特別研究学生	科目等履修生
		男	女	男	女	男	女													
アジア（16ヵ国・地域）	インド	11	6			13	2	32	5	7		18	1				1			
1,760人　82.1%	インドネシア	32	16	2	4	27	22	103	26	29		32	8	4				3	1	
	韓国	14	3	6	1	48	13	85	39	14		20	2	2	1			7		
	シンガポール	3	1			4	1	9	4	1			1					3		
	スリランカ	2	2			2	1	7	1	3		2	1							
	タイ	23	11			17	10	61	20	8		11	6	3			1	5	7	
	台湾					37	25	62	7	21		17	4	3				6	4	
	中国	27	16	19	11	667	575	1,315	64	512	16	483	91	64	21	11		19	34	
	パキスタン	2	3				3	8				5	1	1			1			
	バングラデシュ	3	4			4	3	14	2	2		8	1				1			
	フィリピン	7	1			2	1	11	2	3		5	1							
	ブータン	1						1									1			
	ベトナム	5	1			6	9	21	4	9		5	1					2		
	マレーシア	6	3	1		2	3	15	4	3		3					3	2		
	ミャンマー	1	2				3	6		3		2	1							
	モンゴル	3	2			1	4	10	3	2		2		1				2		
中近東（7ヵ国・地域）	アフガニスタン	1						1				1								
33人　1.5%	イラン	1	4			3	3	11	1	1		5	1	1	1		1			
	サウジアラビア						1	1							1					
	シリア	2				3	2	7	2			2	3							
	トルコ	1	3	1	1	1	2	9	1	2		4						1	1	
	パレスチナ	2						2		1							1			
	ヨルダン	2						2				2								
アフリカ（18ヵ国・地域）	アンゴラ共和国	1						1		1										
50人　2.3%	ウガンダ		1					1		1										
	エジプト	2	1		1	1	3	8		3		1	3	1						
	エチオピア	3						3				1	1				1			
	ガーナ	2				2		4				3			1					
	ケニア	2	1					3		1		2								
	ザンビア	1						1				1								
	ジンバブエ		1					1				1								
	スーダン	3	2					5		1		2			1		1			
	タンザニア	1						1					1							
	チュニジア	1	1					2				1			1					
	ナイジェリア	1	1			4	4	10				9						1		
	ナミビア共和国						1	1		1										
	ブルキナファソ		1					1				1								
	ボツワナ		2					2		1		1								
	南アフリカ	1						1		1										
	モザンビーク					1		1				1								
	モロッコ	2	1			1		4	1	2							1			
大洋州（3ヵ国・地域）	オーストラリア	4	1			2	1	8		3		2						3		
10人　0.5%	サモア		1					1		1										
	ソロモン諸島	1						1									1			
北米（2ヵ国・地域）	アメリカ合衆国	7				27	12	46	2	8		5		1			1	29		
54人　2.5%	カナダ	1	1			3	3	8		3		1		1				3		

外国人留学生数

（2023年5月1日現在）

地域	国・地域	費用別人数							学籍別人数												
		国費		私費				計	学部学生	大学院生				研究生				その他		
				政府派遣		その他				修士・前期2年	専門職学位	後期3年	博士（医歯薬）	学部	大学院	研究所等	日本語研修コース	特別聴講学生	特別研究学生	科目等履修生
		男	女	男	女	男	女													
中南米（15カ国・地域）	アルゼンチン	1	2					3		1		2								
41人　1.9%	エクアドル						1	1				1								
	エルサルバドル	1				3		4		3		1								
	グァテマラ	1						1									1			
	コスタリカ	3						3		2							1			
	コロンビア	1				1		2				2								
	チリ	2				1		3		1		2								
	パナマ		2					2		1		1								
	パラグアイ	2	1					3		1		1					1			
	ブラジル	5	1				2	8	1	2		4		1						
	ベネズエラ					1		1	1											
	ペルー	3				1		4				2	1	1						
	ボリビア	1					1	2					1				1			
	ホンジュラス	1						1									1			
	メキシコ					1	2	3		1								1	1	
欧州（29カ国・地域）	アイルランド	1				1	1	3		1		1						1		
197人　9.2%	アゼルバイジャン	1	1					2		1							1			
	イギリス	2				8	2	12	2	1		3						5	1	
	イタリア	2	2			6	8	18	1			6	1		1		1	6	2	
	ウクライナ						1	1										1		
	ウズベキスタン	1						1		1										
	エストニア					1		1				1								
	オーストリア	1				1		2						1					1	
	オランダ					5	2	7		4			1					2		
	カザフスタン						1	1	1											
	北マケドニア		1					1				1								
	クロアチア	1						1							1					
	スイス					2	1	3										3		
	スウェーデン					6	4	10				1						6	3	
	スペイン	2	1			4		7		4		1						2		
	スロベニア						1	1											1	
	チェコ					3		3											3	
	ドイツ					21	14	35				2						11	22	
	ノルウェー					1	1	2		1									1	
	ハンガリー	1				2	2	5		1					1			2	1	
	フィンランド					2	1	3										1	2	
	フランス	1	2			32	24	59		21		10						16	12	
	ブルガリア	1						1	1											
	ベルギー	1				1	1	3				1						2		
	ベラルーシ	1						1						1						
	ポーランド		1				1	2	2											
	モルドバ	1						1	1											
	ルーマニア						3	3										3		
	ロシア	2	1			2	3	8		2		4		1				1		
合計　（90カ国・地域）		222	108	29	18	984	784	2,145	198	697	16	706	132	87	30	11	22	149	97	

外国人留学生数

外国人留学生数（国・地域別、部局別）

（2023年5月1日現在）

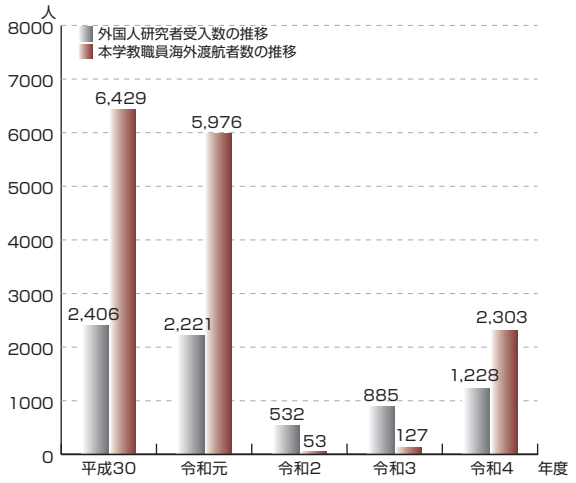
地域	国・地域	在籍者数	部局別在籍者数																									
			文学部・文学研究科	教育学部・教育学研究科	法学部・法学研究科	公共政策大学院	経済学部・経済学研究科	会計大学院	理学部・理学研究科	医学部・医学系研究科	歯学部・歯学研究科	薬学部・薬学研究科	工学部・工学研究科	農学部・農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	金属材料研究所	加齢医学研究所	流体科学研究所	多元物質科学研究所	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	東北アジア研究センター	高度教養教育・学生支援機構	学務審議会
アジア（16ヵ国・地域）	インド	32	1						5	1			12		1	6	2	2	1							1	
	インドネシア	103	5						26	5	5		28	9	3	4	3	12	2								1
	韓国	85	7		3		1		5	3	3		45	9	2	2		2									3
	シンガポール	9			1				1	1		1	3	1													1
	スリランカ	7									1		5					1									
	タイ	61	5						5	3	8		19	2	3	5		5	1							1	4
	台湾	62	5		2		5		7	4	3	2	20	3	1	4	2	1	1								2
	中国	1,315	193	53	31	2	114	14	79	100	33	19	341	58	81	78	37	53	12	4	1	1	3	1	1		6
	パキスタン	8								1			1	1		2			2							1	
	バングラデシュ	14							6	1			2	1			1	1	1							1	
	フィリピン	11							3	1			5	1				1									
	ブータン	1																								1	
	ベトナム	21			1		3		1	1		1	5	3	2	1		1									2
	マレーシア	15							2		1		4	1			1	1								3	2
	ミャンマー	6					1			1	1		1		2												
	モンゴル	10					1		1				7														1
中近東（7ヵ国・地域）	アフガニスタン	1																1									
	イラン	11	2						1	3			2			1		1								1	
	サウジアラビア	1														1											
	シリア	7								2	1		3	1													
	トルコ	9	1				1		1				2		2		1		1								
	パレスチナ	2											1													1	
	ヨルダン	2					1						1														
アフリカ（18ヵ国・地域）	アンゴラ共和国	1					1																				
	ウガンダ	1																	1								
	エジプト	8								1	5	1				1											
	エチオピア	3								1							1									1	
	ガーナ	4					1						2	1													
	ケニア	3											2		1												
	ザンビア	1														1											
	ジンバブエ	1																	1								
	スーダン	5							1			2	1													1	
	タンザニア	1								1																	
	チュニジア	2								1			1														
	ナイジェリア	10							2	1						2	2	2									1
	ナミビア共和国	1									1																
	ブルキナファソ	1					1																				
	ボツワナ	2							1				1														
	南アフリカ	1											1														
	モザンビーク	1												1													
	モロッコ	4							1				2													1	
大洋州（3ヵ国・地域）	オーストラリア	8								1			3			1		1									2
	サモア	1											1														
	ソロモン諸島	1																								1	
北米（2ヵ国・地域）	アメリカ合衆国	46	1				1		10				18	5	2	3	1	2								1	2
	カナダ	8							1			1	1		1		1										3

外国人留学生数

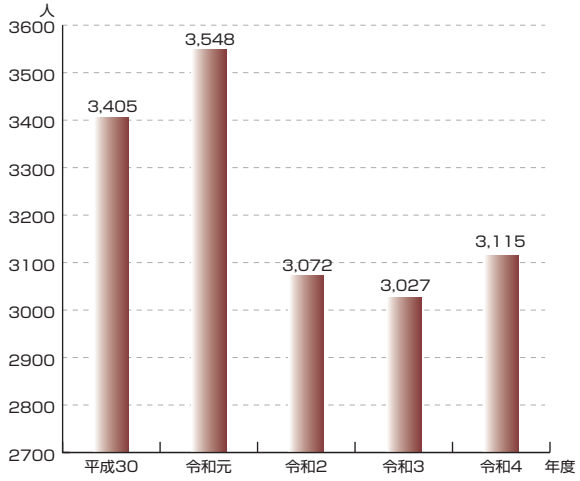
（2023年5月1日現在）

地域	国・地域	在籍者数	部局別在籍者数																									
			文学部・文学研究科	教育学部・教育学研究科	法学部・法学研究科	公共政策大学院	経済学部・経済学研究科	会計大学院	理学部・理学研究科	医学部・医学系研究科	歯学部・歯学研究科	薬学部・薬学研究科	工学部・工学研究科	農学部・農学研究科	国際文化研究科	情報科学研究科	生命科学研究科	環境科学研究科	医工学研究科	金属材料研究所	加齢医学研究所	流体科学研究所	多元物質科学研究所	サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	東北アジア研究センター	高度教養教育・学生支援機構	学務審議会
中南米（15ヵ国・地域）	アルゼンチン	3							1				1			1												
	エクアドル	1																1										
	エルサルバドル	4							1									3										
	グァテマラ	1																								1		
	コスタリカ	3													1				1							1		
	コロンビア	2					1		1																			
	チリ	3											3															
	パナマ	2					2																					
	パラグアイ	3					2																			1		
	ブラジル	8	2										3		2	1												
	ベネズエラ	1											1															
	ペルー	4					1			1			2															
	ボリビア	2								1																1		
	ホンジュラス	1																								1		
	メキシコ	3					2						1															
欧州（29ヵ国・地域）	アイルランド	3							1	1			1															
	アゼルバイジャン	2														1										1		
	イギリス	12			1				2				4	1														4
	イタリア	18	6						1	1			4					1								1		4
	ウクライナ	1																										1
	ウズベキスタン	1														1												
	エストニア	1	1																									
	オーストリア	2					1						1															
	オランダ	7	1				1			4																		1
	カザフスタン	1											1															
	北マケドニア	1													1													
	クロアチア	1							1																			
	スイス	3	1																									2
	スウェーデン	10											3				1	1										5
	スペイン	7	2						1				1		1													2
	スロベニア	1											1															
	チェコ	3							1				1			1												
	ドイツ	35	1		1		4		5	1			13			6		1										3
	ノルウェー	2					1						1															
	ハンガリー	5	5																									
	フィンランド	3											2			1												
	フランス	59	1		1				7	1			23			10		2										14
	ブルガリア	1		1																								
	ベルギー	3	2										1															
	ベラルーシ	1											1															
	ポーランド	2					1						1															
	モルドバ	1							1																			
	ルーマニア	3											1															2
	ロシア	8	2				1		1				1					2										1
計（90ヵ国・地域）		2,145	244	54	41	2	148	14	183	143	62	27	612	98	106	134	53	98	24	4	1	1	3	1	1	22	69

研究者等交流状況の推移



外国人留学生等受入数の推移



国際的な大学連合への加盟

（2023年5月1日現在）

	設立年月	設立の経緯	加盟国・地域（加盟大学）	本学の加盟年
東アジア研究型大学協会 AEARU (The Association of East Asian Research Universities)	1996.1	AEARU（アイール）は、東アジアの主要な研究型大学の研究者及び学生の交流、共同研究の推進、ワークショップ等の開催など、大学間の共通の関心に基づく交流を行うことを目的に、1996年結成された地域型のコンソーシアムです。	5（18）	1998年
環太平洋大学協会 APRU (Association of Pacific Rim Universities)	1997.6	APRU（アプル）は、環太平洋圏の主要大学間の相互交流を深めることを通じて、環太平洋地域社会にとって重要な諸問題に対し、教育・研究の分野から協力・貢献することを目的に、1997年に設立された地域型のコンソーシアムです。本学は2013年からマルチ・ハザードプログラムのプログラムハブを務め、毎年サマースクールやワークショップを開催しています。	19（60）	2008年
日独6大学アライアンス HeKKSaGOn (The German-Japanese University Alliance: Heidelberg, Kyoto, Karlsruhe, Tohoku (in Sendai), Göttingen, Osaka-network)	2010.7	HeKKSaGOn（ヘキサゴン）は、日本（京都大学、大阪大学、東北大学）とドイツ（ゲッティンゲン大学、ハイデルベルク大学、カールスルーエ工科大学）の大学の研究者及び学生の交流、共同研究の推進、サマースクール等の開催など、日独大学間の交流を推進することを目的に、2010年に結成された二国間型のコンソーシアムです。	2（6）	2010年
MIRAI 2.0　プロジェクト	2017	MIRAI（ミライ）プロジェクトは、研究、教育、イノベーションと次世代育成を通じてスウェーデンと日本の大学をつなぐことを目的として開始されました。2020年から始まった第二期では、MIRAI2.0として材料科学、持続可能性、高齢化、人工知能、イノベーション・アントレプレナーシップの分野において、加盟大学間での協働を通じて今日の社会が研究大学に期待するものに応えることを目指しています。本学は第二期となるMIRAI2.0から参画しています。	2（20）	2020年
日英大学間連携プログラム RENKEI (Japan-UK Research and Education Network for Knowledge Economy Initiatives)	2012	RENKEI（レンケイ）は、日英の大学が新たな国際共同研究を創出し、政府、産業界、民間非営利団体との協働を通じてグローバル社会が抱える課題の解決への貢献を目指すことを目的に、2012年に設立された二国間型のコンソーシアムです。日本からは大阪大学、九州大学、東北大学、立命館大学、慶應義塾大学の5大学が、英国からはエディンバラ大学、サウサンプトン大学、ニューカッスル大学、リーズ大学、リバプール大学、ダラム大学の6大学が加盟しています。	2（11）	2012年

海外拠点

（2023年5月1日現在）

海外代表事務所

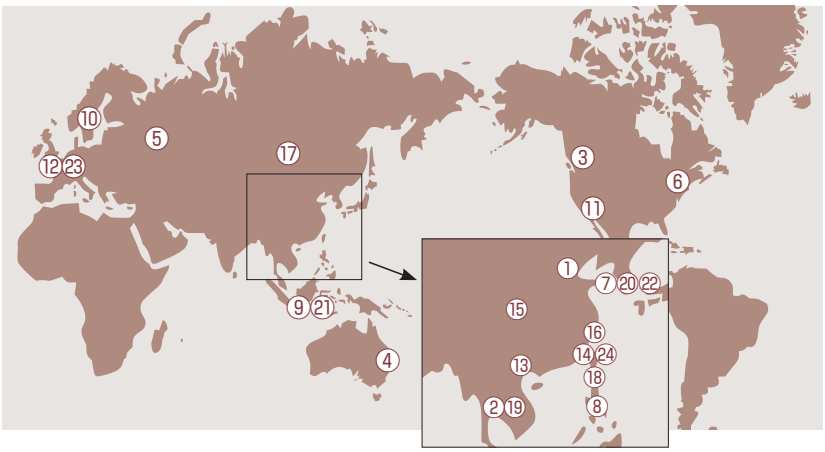
	拠点名（設置場所）	設立
①	中国代表事務所（北京） Tohoku University China Office	2007年4月20日
②	タイ代表事務所（バンコク） Tohoku University Thailand Office	2016年3月14日
③	ワシントン大学ー東北大学　アカデミックオープンスペース（シアトル） University of Washington-Tohoku University: Academic Open Space（UW-TU: AOS）	2017年4月14日

リエゾンオフィス

	締結機関（設置場所）	国・地域（締結日）	拠点名	世話部局
④	ニューサウスウェールズ大学 （国際交流センター）	オーストラリア（2002年5月17日）	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所
⑤	モスクワ国立大学 （物理学部）	ロシア（2002年6月21日） ※2001年9月19日流体科学研究所との締結を発展したもの	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科
⑥	シラキュース大学 （計算機科学・工学部）	アメリカ（2003年11月19日）	東北大学流体科学研究所リエゾンオフィス	流体科学研究所
⑦	韓国科学技術院（機械工学部）	韓国（2003年12月18日）	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所
⑧	熱帯医学研究所	フィリピン（2007年5月1日）	東北大学-RITM 新興・再興感染症 共同研究センター （フィリピン拠点）	医学系研究科
⑨	バンドン工科大学	インドネシア（2011年8月2日）	環境科学研究科 国際環境セキュリティリーダーリエゾンオフィス （2015年3月23日：オフィス名変更に伴い再締結）	環境科学研究科
⑩	スウェーデン王立工科大学 （基礎工学研究科）	スウェーデン（2012年6月28日）	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科
⑪	カリフォルニア大学リバーサイド校	アメリカ（2013年2月1日）	東北大学センター	高度教養教育・学生支援機構
⑫	リヨン大学 （国立応用科学院リヨン校金属材料物理研究所）	フランス（2015年6月2日） ※2004年7月13日国立応用科学院リヨン校との締結を発展したもの	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 工学研究科 加齢医学研究所 医学系研究科
⑬	貿易大学	ベトナム（2015年12月19日） ※2023年3月31日にて常設オフィスの設置は終了したが、活動は継続中	東北大学ー貿易大学共同事務所	高度教養教育・学生支援機構
⑭	国立陽明交通大学 （電気・コンピューター工学部）	台湾（2017年5月4日） ※大学統合につき更新作業中	東北大学リエゾンオフィス	流体科学研究所 未来科学技術共同研究センター 材料科学高等研究所 歯学研究科 電気通信研究所
⑮	四川大学（華西口腔医学院）	中国（2018年3月1日）	東北大学大学院歯学研究科リエゾンオフィス	歯学研究科
⑯	国立陽明交通大学（歯学部）	台湾（2019年5月28日）	東北大学大学院歯学研究科リエゾンオフィス	歯学研究科
⑰	モンゴル国立医療科学大学	モンゴル（2019年6月6日）	東北大学大学院歯学研究科リエゾンオフィス	歯学研究科
⑱	高雄医学大学（口腔医学院）	台湾（2019年12月13日）	東北大学大学院歯学研究科リエゾンオフィス	歯学研究科
⑲	チュラロンコーン大学（歯学部）	タイ（2022年4月12日）	東北大学大学院歯学研究科リエゾンオフィス	歯学研究科
⑳	ソウル大学（歯学部）	韓国（2022年7月14日）	東北大学大学院歯学研究科リエゾンオフィス	歯学研究科
㉑	インドネシア大学（歯学部）	インドネシア（2022年9月13日）	東北大学大学院歯学研究科リエゾンオフィス	歯学研究科
㉒	延世大学（歯学部）	韓国（2022年10月14日）	東北大学大学院歯学研究科リエゾンオフィス	歯学研究科

国際ジョイントラボセンター

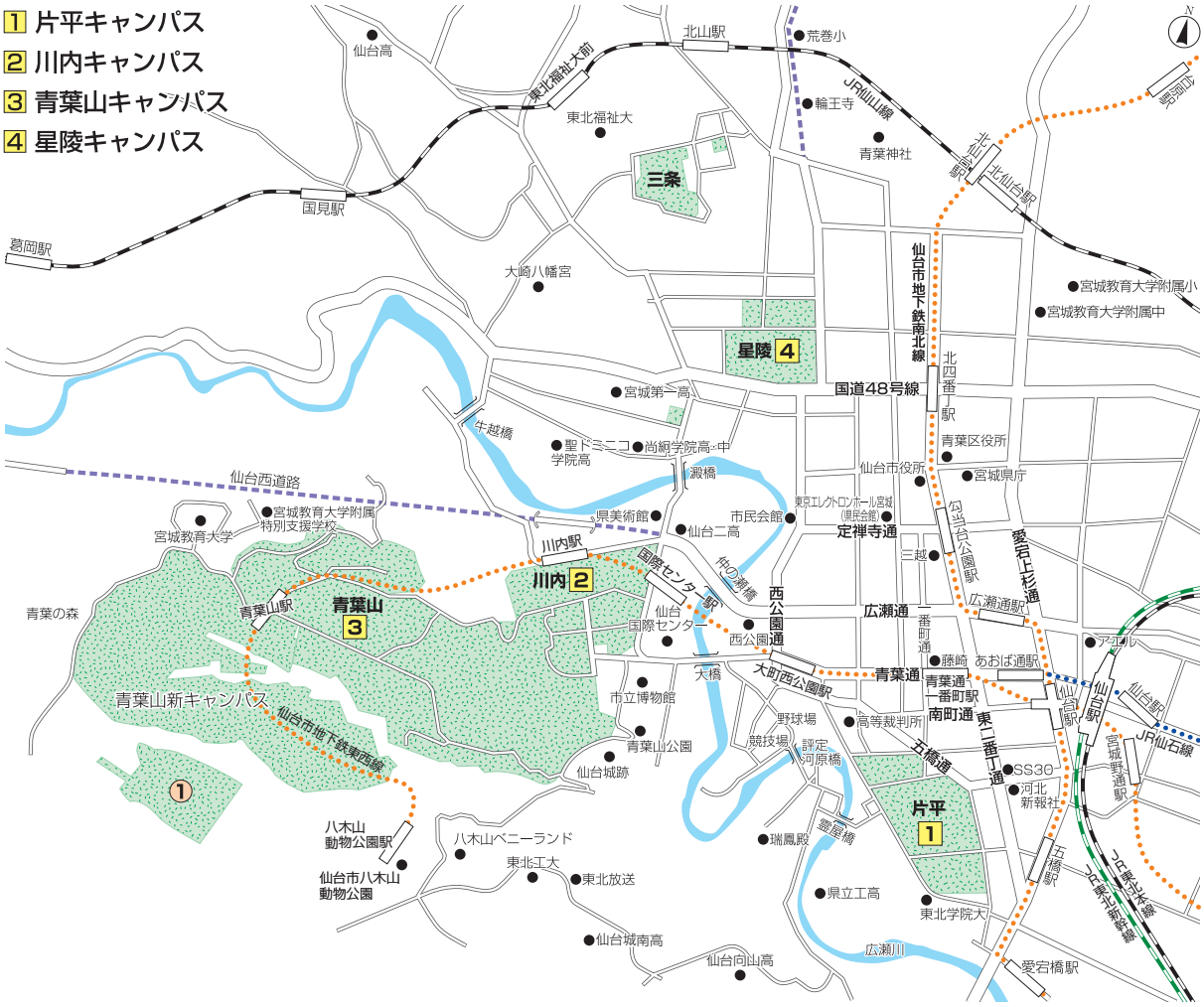
	締結機関（設置場所）	国・地域（締結日）	拠点名	世話部局
㉓	フランス国立科学研究センター、リヨン大学（国立応用科学院リヨン校、国立中央理工科学校リヨン校）	フランス（2015年10月27日）	日仏ジョイントラボラトリー（ELyTMaX）	高等研究機構
㉔	国立陽明交通大学	台湾（2018年8月20日）	東北大学・台湾国立陽明交通大学ジョイントラボラトリー	流体科学研究所



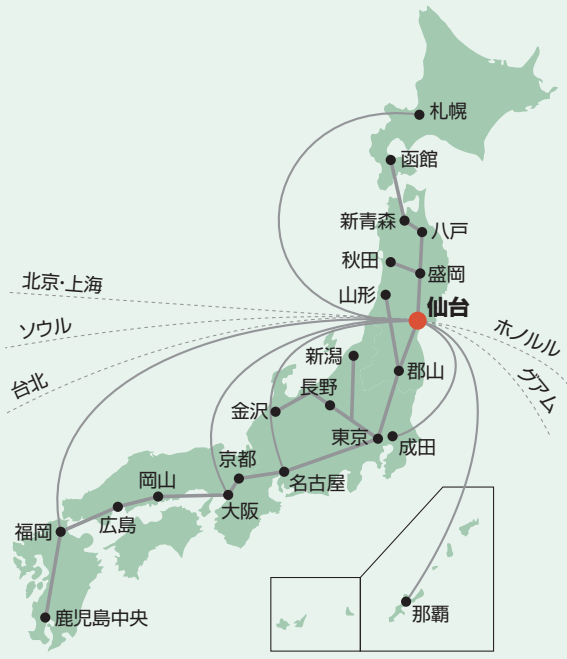
施設所在地一覧

主要地区

1 片平キャンパス
2 川内キャンパス
3 青葉山キャンパス
4 星陵キャンパス







空路（所要時間）

上　　海…3時間20分
上海/北京…7時間10分
ソ　ウ　ル…2時間30分
グ　ア　ム…4時間
台　　北…3時間50分
ホ ノ ル ル…11時間15分
札　　幌…1時間05分
成　　田…1時間05分
名 古 屋…1時間15分
大阪伊丹…1時間20分
福　　岡…1時間45分
那　　覇…3時間

※仙台空港アクセス鉄道
仙台空港−JR仙台駅間
（最速17分）

高速バス

東北5県主要都市及び東京、横浜、千葉、新潟、富山、金沢、名古屋、京都、大阪

新幹線

東　　京…1時間31分
八　　戸…1時間21分
秋　　田…2時間11分

その他の地区

施設名	住所・郵便番号（県名のないものは宮城県）	代表電話番号
① 東北大学西澤潤一記念研究センター（東北大学マイクロシステム融合研究開発センター）	〒980−0845　仙台市青葉区荒巻字青葉519-1176	022(229)4113
② 東北大学電子光理学研究センター	〒982−0826　仙台市太白区三神峯1-2-1	022(743)3400
③ 東北大学けんこうプラザ	〒989−3204　仙台市青葉区南吉成6-6-5	022(341)2453
④ 東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター	〒986−2248　牡鹿郡女川町小乗2丁目10-1	0225(53)2436
⑤ 東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター（教育関係共同利用拠点）	〒989−6711　大崎市鳴子温泉字蓬田232-3	0229(84)7312
⑥ 東北大学大学院生命科学研究科湛水生態系野外実験施設	〒989−4104　大崎市鹿島台町広長字内ノ浦134-2	0229(56)2020
⑦ 東北大学大学院理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター惑星圏蔵王観測所	〒989−0916　刈田郡蔵王町遠刈田温泉七日原	022(795)3499
⑧ 東北大学大学院生命科学研究科附属浅虫海洋生物学教育研究センター	〒039−3501　青森県青森市大字浅虫字坂本9	017(752)3388
⑨ 東北大学学術資源研究公開センター植物園八甲田山分園	〒030−0111　青森県青森市大字荒川十和田八幡平国立公園酸々湯集団施設	017(738)0621
⑩ 東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター（秋田地震観測所）	〒011−0936　秋田県秋田市将軍野南1-14-46	022(225)1950
⑪ 東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター（本荘地震観測所）	〒015−0091　秋田県由利本荘市大簾字西ノ角4	022(225)1950
⑫ 東北大学大学院理学研究科三陸研究施設	〒022−0101　岩手県大船渡市三陸町越喜来字小泊114	022(795)6358
⑬ 東北大学大学院理学研究科附属地震・噴火予知研究観測センター（遠野地震観測所）	〒028−0545　岩手県遠野市松崎町駒木4-120-74	0198(62)2800
⑭ 東北大学金属材料研究所附属量子エネルギー材料科学国際研究センター	〒311−1313　茨城県東茨城郡大洗町成田町2145-2	029(267)3181
⑮ 東北大学金属材料研究所附属産学官広域連携センター（大阪オフィス）	〒599−8531　大阪府堺市中区学園町1-2 大阪公立大学内 研究推進機構8階	072(254)6372
⑯ 東北大学大学院理学研究科附属惑星プラズマ・大気研究センター惑星圏飯舘観測所	〒960−1636　福島県相馬郡飯舘村前田	022(795)3499
⑰ 東北大学ニュートリノ科学研究センター液体シンチレータ反ニュートリノ観測施設	〒506−1205　岐阜県飛騨市神岡町東茂住上町408	0578(85)0030
⑱ 東北大学東京分室	〒100−0005　東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10階	03(3218)9612
⑲ 東北大学病院臨床研究推進センター（CRIETO）東京分室	〒103−0023　東京都中央区日本橋本町2-3-11	03(3273)3601
⑳ 東北大学東北メディカル・メガバンク機構日本橋分室	〒103−0022　東京都中央区日本橋室町3丁目2番1号	03(6225)2731
㉑ 東北大学オープンイノベーション事業戦略機構（東京オフィス）	日本橋室町三井タワー7階	03(6667)0220

ユニバーシティ・ハウス、国際交流会館、学寮

施設名称	収容定員	所在地	電話番号
ユニバーシティ・ハウス青葉山（日本人学生及び留学生の男女）	752名	〒980－8572　仙台市青葉区荒巻字青葉468-1	022-395-8002
ユニバーシティ・ハウス三条（日本人学生及び留学生の男女）	416名	〒981－0935　仙台市青葉区三条町19-1	022-274-7305
ユニバーシティ・ハウス三条Ⅱ（日本人学生及び留学生の男女）	216名	〒981－0935　〃	022-718-2021
ユニバーシティ・ハウス三条Ⅲ（日本人学生及び留学生の男女）	208名	〒981－0935　〃	〃
ユニバーシティ・ハウス上杉（日本人学生及び留学生の男子）	32名	〒980－0011　仙台市青葉区上杉6-3-2	〃
ユニバーシティ・ハウス長町（日本人学生及び留学生の男女）	48名	〒982－0011　仙台市太白区長町8-6-10	
ユニバーシティ・ハウス片平（外国人研究者）	81名	〒980－0811　仙台市青葉区一番町1-14-15	022-797-9301
国際交流会館三条第一会館（留学生の男女、外国人研究者）	254名	〒981－0935　仙台市青葉区三条町19-1	022-275-9901
国際交流会館三条第二会館（留学生の男女）	108名	〒981－0935　仙台市青葉区三条町10-15	022-718-7850
国際交流会館東仙台会館（留学生の男女）	70名	〒983－0833　仙台市宮城野区東仙台6-14-15	022-293-5591
松風寮（日本人学生の男子）	150名	〒980－0011　仙台市青葉区上杉6-3-2	022-275-1221
明善寮（日本人学生の男子）	160名	〒980－0011　〃	022-234-0134
以文寮（日本人学生の男子）	96名	〒982－0832　仙台市太白区八木山緑町16-3	022-229-5392
齋風寮（日本人学生の男子）	81名	〒982－0832　〃	022-229-4954
日就寮（日本人学生の男子）	103名	〒982－0832　〃	022-229-1858
如春寮（日本人学生の女子）	64名	〒981－0935　仙台市青葉区三条町19-1	022-272-9857

課外活動施設

施設名称	住所
評定河原陸上競技場・合宿所	〒980-0815　仙台市青葉区花壇2-1
釜房ボート艇庫	〒989-1505　柴田郡川崎町大字小野字西田10-5
戸田ボート艇庫・合宿所	〒335-0024　埼玉県戸田市戸田公園5-50
岩沼ボート艇庫・合宿所	〒989-2422　岩沼市空港南6-4-3
七ヶ浜ヨット艇庫	〒985-0802　宮城郡七ヶ浜町吉田浜字浜屋敷61-1
萩雪ヒュッテ	〒990-2301　山形県山形市蔵王温泉荒敷820-1
清渓小屋	〒989-0800　刈田郡蔵王町字倉石岳国有林305ロ林小班
片平体育館	〒980-8577　仙台市青葉区片平2-1-1
片平第(2･5･6)ホール	〃
富沢野球場	〒982-0826　仙台市太白区三神峯1-5
富沢自動車練習場	〒982-0826　仙台市太白区三神峯1-6
馬場	〒980-8578　仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
川内体育館	〒980-8576　仙台市青葉区川内41
川内サブアリーナ	〃
川内課外活動共用施設(川内ホール)	〃
川内サークル部室棟､川内サークル部室棟Ⅱ	〃
川内課外活動共用施設A	〃
川内課外活動共用施設B	〃
サークルE･F･G棟	〃



ユニバーシティ・ハウス青葉山

建物配置図

1片平キャンパス

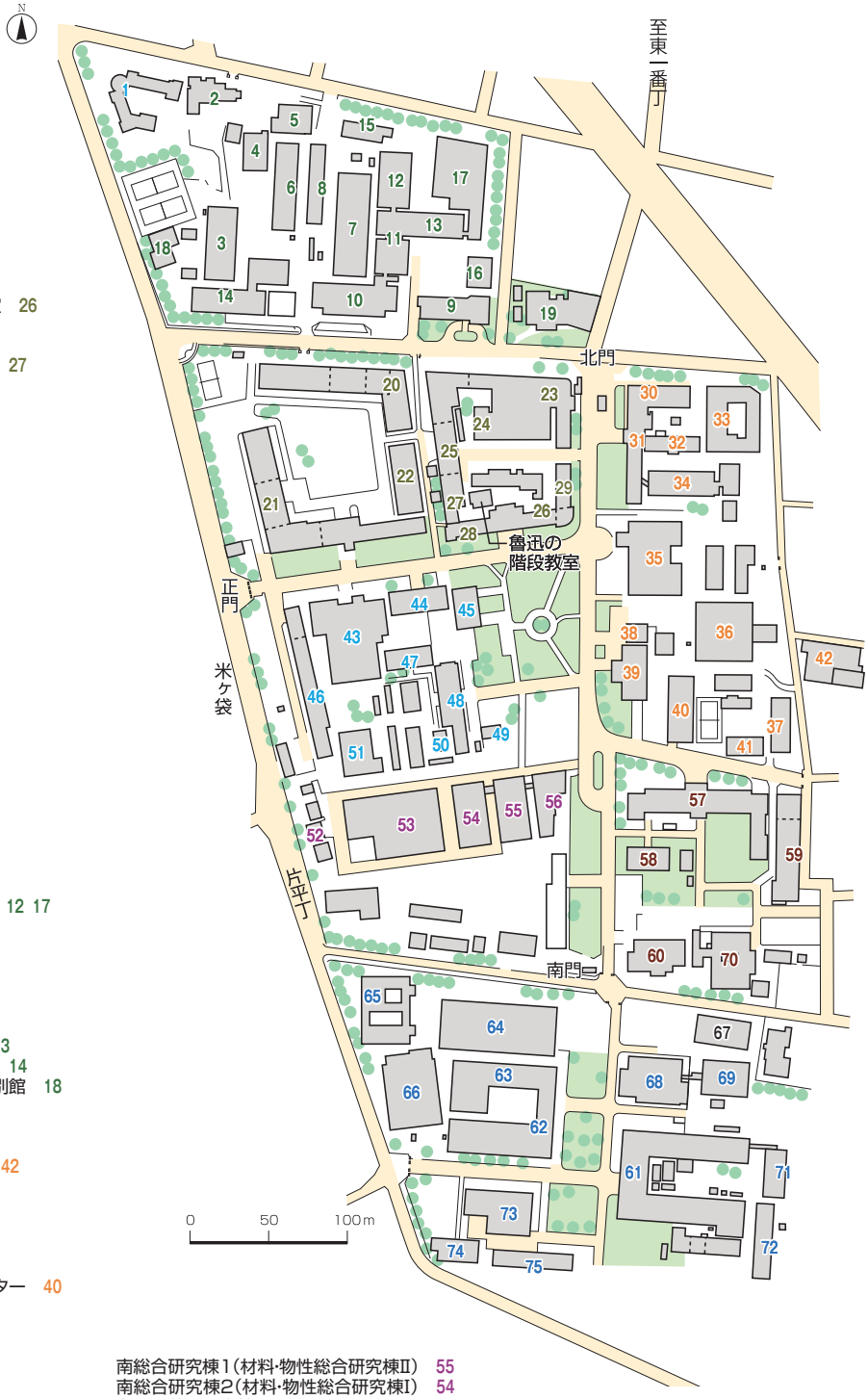
●土地：229,613㎡　●建物：199,211㎡（2023年5月1日現在）

〒980-8577　仙台市青葉区片平二丁目1-1　　電話番号案内　022(717)7800

大学本部、研究所



エクステンション教育研究棟



本部事務機構
- 総長・プロボスト室経営企画スタッフ室　26
- 総務企画部総務課　26
- 総務企画部社会連携課　28
- 総務企画部法務・コンプライアンス課　27
- 総務企画部国際企画課　25
- 総務企画部広報室　28
- 人事企画部人事企画課　25
- 人事企画部人事給与課　25
- 人事企画部人事労務課　50
- 環境・安全推進センター　50
- 財務部　25
- 産学連携部特定事業戦略室　27
- 研究推進部研究推進課　25
- 施設部　48
- 情報部オンライン業務推進課　27
- 監査室　27

経済学研究科
- 地域イノベーション研究センター　35

生命科学研究科
- 事務室　43
- 生命科学研究科本館　46
- 生命科学プロジェクト総合研究棟　43
- 環境制御実験棟　51

法科大学院、公共政策大学院
- 事務室　35

会計大学院
- 事務室、研究室　47
- 講義室　35

金属材料研究所
- 本多記念館（事務室）　9
- 1号館、2号館、3号館、4号館　10 11 12 17
- 共同研究プロジェクト棟　4
- スーパーコンピュータ棟　5
- アルファ放射体実験室　6
- 技術棟I、技術棟II　7 8
- 共通ラボ棟　15
- 国際教育研究棟　16
- 附属新素材共同研究開発センター　13
- 附属強磁場超伝導材料研究センター　14
- 附属強磁場超伝導材料研究センター別館　18
- 極低温科学センター　3

流体科学研究所
- 事務室　39
- 流体研1号館、2号館、3号館　39 40 42
- 高速流実験棟　36
- 衝撃波学際応用実験棟　37
- 低乱風洞実験棟　73
- 流動ダイナミクス棟　38
- ジョイントラボラトリー棟　41
- 附属総合流動科学国際研究教育センター　40

電気通信研究所
- 事務室　64
- 通研本館　64
- 通研1号館、2号館　61 62 63
- ブレインウェア研究開発施設　68 69
- 評価分析センター　71
- 共同研究棟　72
- ナノ・スピン実験施設　53
- 21世紀情報通信研究開発センター　74 75

多元物質科学研究所
- 事務部棟　58
- 多元研東1号館（反応化学研究棟1号館）　31
- 多元研東2号館（反応化学研究棟2号館）　34
- 多元研東3号館（反応化学研究棟旧館）　32
- 多元研西1号館（科学計測研究棟S棟）　21
- 多元研西2号館（科学計測研究棟N棟）　20
- 多元研西工場（工場棟）　22
- 多元研南1号館（素材工学研究棟1号館）　57
- 多元研南2号館（素材工学研究棟2号館）　60
- 多元研南3号館（素材工学研究棟3号館）　70
- 南総合研究棟1（材料・物性総合研究棟II）　55
- 南総合研究棟2（材料・物性総合研究棟I）　54
- 多元研共同研究棟　59
- 多元研図書室　24

材料科学高等研究所（AIMR）
- 事務室　23
- AIMR本館　23
- AIMRラボ棟　17
- AIMR別館　30

史料館　44
研究教育基盤技術センター片平分室　43
先端電子顕微鏡センター　45
共創戦略センター　27
埋蔵文化財調査室　48 52
キャンパスデザイン室　48
情報公開室　27
産学連携先端材料研究開発センター　33
エクステンション教育研究棟　35
文化財収蔵庫　49
片平北門会館　19
- ユニバーシティ・ハウス片平、エスパス、セリシィール、北門ラウンジ
- 厚生施設（さくらショップ）
- 厚生施設（さくらキッチン・レストラン萩）

片平会館　2
さくらホール　56
片平体育館　66
知の館　29
ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センター　35
耐災害ICT研究センター　67
東北大学ギャラリーひすとりあ／放送大学宮城学習センター　1
教育研究基盤支援棟20　65

②川内キャンパス

●土地：817,777㎡　●建物：140,367㎡（2023年7月1日現在）

人文社会科学学部、全学教育

川内北キャンパス　〒980-8576　仙台市青葉区川内41
川内南キャンパス　〒980-8576　仙台市青葉区川内27-1
電話番号案内　022(717)7800



本部事務機構
　教育・学生支援部（教育・学生総合支援センター）　10
　教育・学生支援部入試課　24
文学部・文学研究科
　事務室　30
　文学研究科・法学研究科合同研究棟　33
教育学部・教育学研究科
　事務室　26
法学部・法学研究科
　事務室　32
　文学研究科・法学研究科合同研究棟　33
経済学部・経済学研究科
　事務室　28
　演習室　28 29
国際文化研究科
　事務室　9
　附属言語脳認知総合科学研究センター　9
附属図書館 本館　25
東北アジア研究センター
　事務室・研究室　4
　分室　24
高度教養教育・学生支援機構
　事務室　4
　保健管理センター　7
　学生相談・特別支援センター（学生相談所）、
　ハラスメント全学学生相談窓口　8
　入試センター　24
　学生相談・特別支援センター（特別支援室）　3
　キャリア支援センター　10
　大学教育支援センター　4
　学習支援センター（SLAサポート）　14
　グローバルラーニングセンター　1 10
　教養教育院　1

植物園
　本館　34
　津田記念館　35
教育情報基盤センター　14

学生実験棟　2
川北合同研究棟　4
講義棟A棟、B棟、C棟　11 12 13
マルチメディア教育研究棟　14
文科系総合講義棟　36
中講義棟　31
文科系総合研究棟　26
文科系合同研究棟　27
サークルE棟　6
サークルF・G棟　21
厚生施設（川内北キャンパス厚生会館）　23
川内サブアリーナ　22
川内体育館（川内アリーナ）　19
川内課外活動共用施設B　16
川内課外活動共用施設A　17
教育研究基盤支援棟4　3
教育研究基盤支援棟5　5
川内サークル部室棟　18
川内サークル部室棟Ⅱ　15
川内課外活動共用施設（川内ホール）　20
百周年記念会館（川内萩ホール）　38
厚生施設（文系食堂）　37



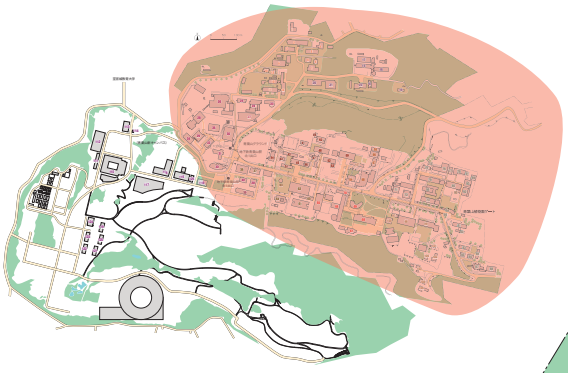


川内キャンパス

建物配置図

3 青葉山キャンパス

理工系学部





<青葉山キャンパス>

本部事務機構
- 情報部情報基盤課 29
- 産学連携部 37
- 産学連携機構 37

理学部・理学研究科
- 事務棟 12
- 理学研究科合同A棟・B棟 24
- 理学研究科合同A棟別館 25
- 理学研究科大講義棟 8
- 理学研究科合同C棟 27
- 数学系研究棟 7
- 物理系研究棟 2
- 物理系講義棟 3
- 物理・化学合同棟 5
- 化学系研究棟 9
- 地球科学系研究棟 11
- 生物学系研究棟 10
- 超伝導核磁気共鳴装置棟 13
- 数理科学記念館 6
- 巨大分子解析センター棟 14
- 附属大気海洋変動観測研究センター 2
- 附属惑星プラズマ・大気研究センター 27
- 附属地震・噴火予知研究観測センターA棟 104
- 附属地震・噴火予知研究観測センターB・C棟 105
- 機器開発研修棟 4

薬学部・薬学研究科
- 事務室 15
- 薬学研究科A棟 15
- 薬学研究科B棟 16
- 薬学研究科C棟 17
- 薬学研究科D棟 18
- 附属薬用植物園管理棟 19

工学部・工学研究科
- 事務室(中央棟) 68
- 事務室(管理棟) 66
- 電子情報システム・応物系1号館(事務室) 59
- 電子情報システム・応物系2号館 48
- 電子情報システム・応物系3号館 31
- 電子情報システム・応物系 教育研究実験棟 52
- 電子情報システム・応物系 復興記念教育研究未来館 53
- 電子情報システム・応物系南講義棟 107
- 教育研究基盤支援棟6 33
- 教育研究基盤支援棟7 50
- 教育研究基盤支援棟12 55
- 教育研究基盤支援棟11 56
- 教育研究基盤支援棟10 57
- 化学・バイオ系研究棟本館(事務室) 45
- 化学・バイオ系実験棟 42
- 総合実験棟 41
- 化学・バイオ系大講義棟 43
- 化学・バイオ系講義棟 51
- 化学・バイオ系研究棟分館 46
- 化学・バイオ系第二研究棟 47
- 超臨界溶媒工学研究棟 49
- マテリアル・開発系教育研究棟(事務室) 98
- マテリアル・開発系マテリアル共同研究棟 100
- マテリアル・開発系 革新材料研究棟 101
- マテリアル・開発系実験・工場棟 102
- マテリアル・開発系革新プロセス研究棟 106
- マテリアル・開発系材料実験棟 99
- マテリアル・開発系大講義棟 97
- 人間・環境系教育研究棟(事務室) 62
- 建築CLTモデル実証棟 63
- 教育研究基盤支援棟19 60
- 社会環境工学実験棟 61
- 工学系総合研究棟 65
- 創造工学センター 54
- 建築実験所 35
- 建築実験棟 64
- 附属先端材料強度科学研究センター 65
- 附属先端材料強度科学研究センター電力未来技術研究室 91
- 附属超臨界溶媒工学研究センター 65
- マイクロ・ナノマシニング研究教育センターマイクロマシニング棟 92
- マイクロ・ナノマシニング研究教育センターナノマシニング棟 93
- 技術社会システム専攻 65
- 機械系講義棟(機械・知能系事務室) 96
- 機械系1号館 73
- 機械系実験棟I 74
- 機械系実験棟J 75
- 機械系実験研究棟 76
- 機械・知能系教育実験棟・高機能試作センター 77
- 機械系環境材料強度研究棟 78
- 機械系2号館 79

●土地：1,581,547㎡ ●建物：395,390㎡（2023年5月1日現在）

工学研究科・工学部・医工学研究科・未来科学技術共同研究センター　〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6
農学研究科・農学部、環境科学研究科、災害科学国際研究所　〒980-8572 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
理学研究科・理学部・薬学研究科・薬学部　〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
情報科学研究科　〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3-09
電話番号案内 022(717)7800


青葉山キャンパス


中央棟

機械・知能系共同棟　80
量子エネルギー工学専攻本館　81
量子エネルギー工学専攻講義棟　82
放射線同位元素実験室　83
放射能災害再生工学研究センター研究棟　84
放射能災害再生工学研究センター実験棟　85
先進核融合炉工学総合実験棟　86

高速中性子実験棟　87
臨界未満実験装置室　88
ナノ医工学実験棟　89
ナノ医工学研究棟　90
情報科学研究科
教育研究棟・事務室　32
研究室　31 32 48 50 59 62 65 73 79 80

生命科学研究科
研究室　9 10 24 25

環境科学研究科
研究棟　71
エコラボ　72
医工学研究科
事務室　66
研究室　48 59 66 73 90
附属図書館 北青葉山分館　21
附属図書館 工学分館　58
ニュートリノ科学研究センター　22
総合学術博物館　23
自然史標本館　23
国際高等研究教育院　28
学際科学フロンティア研究所　28
サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター　26
未来科学技術共同研究センター
本館　37
未来情報産業研究館　36
未来産業技術共同研究館　40
ハッチェリースクエア　70
極低温科学センター　1
サイバーサイエンスセンター　29
サイバーサイエンスセンター2号館　34
産学連携機構　37
環境保全センター　103
青葉山体育館　30
厚生施設（けやきダイニング）　44
厚生施設（北青葉山厚生会館）　20
厚生施設（あおば食堂）　68
青葉記念会館　67
厚生施設（こもれびカフェ、コンビニエンスストア）　94
自動車の過去・未来館　95
厚生施設「BOOOK」（ブックカフェ、売店）　69

建物配置図

3 青葉山キャンパス

●土地：1,581,547㎡　●建物：395,390㎡（2023年5月1日現在）

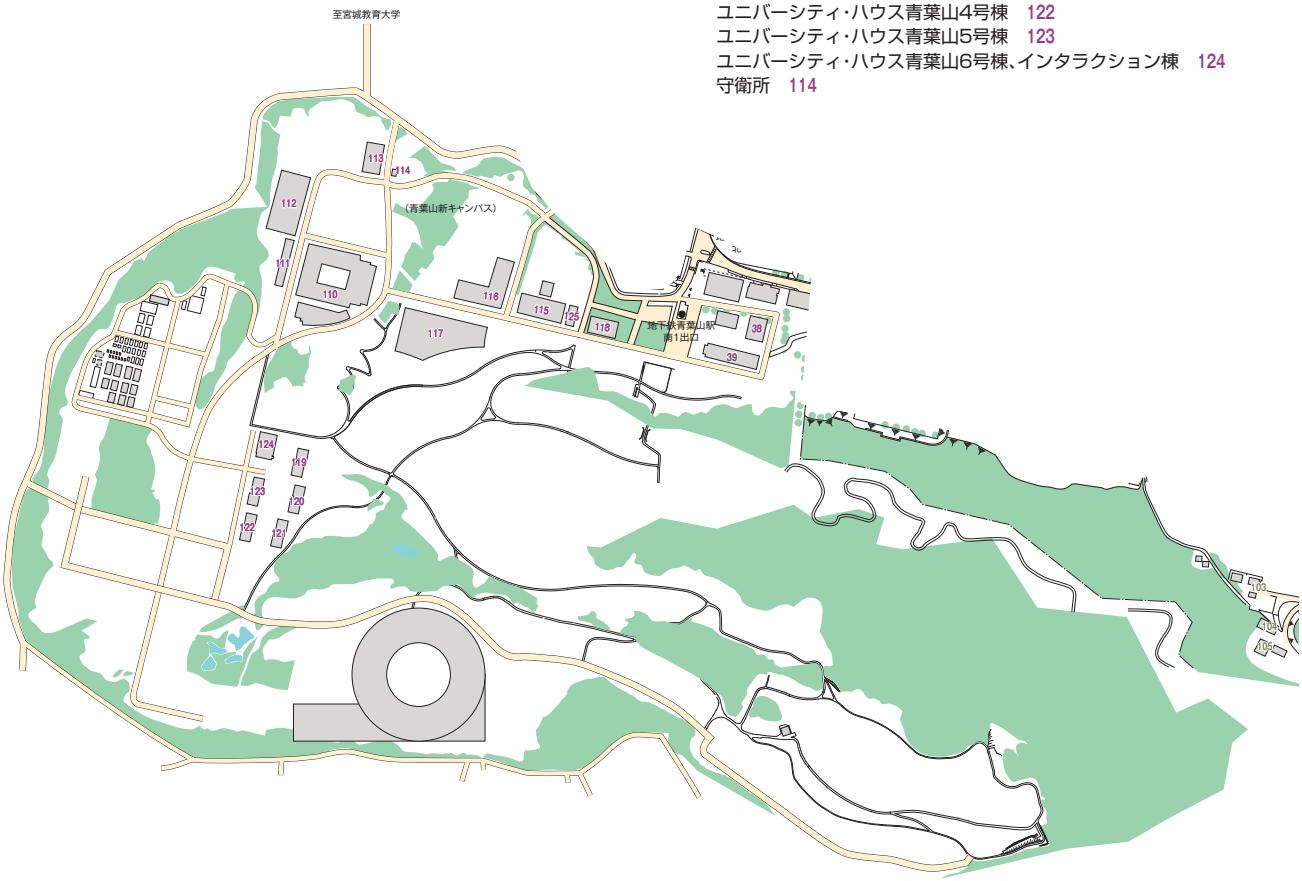
理工系学部

工学研究科・工学部・医工学研究科・未来科学技術共同研究センター　〒980-8579　仙台市青葉区荒巻字青葉6-6
農学研究科・農学部、環境科学研究科、災害科学国際研究所　〒980-8572　仙台市青葉区荒巻字青葉468-1
理学研究科・理学部・薬学研究科・薬学部　〒980-8578　仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
情報科学研究科　〒980-8579　仙台市青葉区荒巻字青葉6-3-09
電話番号案内　022(717)7800



<青葉山新キャンパス>

農学部・農学研究科
　事務室　110
　総合研究棟　110
　附属動物研究棟　111
環境科学研究科
　環境科学研究科本館　115
災害科学国際研究所
　災害科学国際研究所棟　116
青葉山コモンズ　117
　附属図書館農学分館
　厚生施設（みどり食堂）
　厚生施設（みどりショップ）
国際集積エレクトロニクス研究開発センター　112
エネルギーセンター　113
レジリエント社会構築イノベーションセンター　38
レアメタル総合棟　39
マテリアル・イノベーション・センター　125
青葉山みどり厚生会館　118
ユニバーシティ・ハウス青葉山1号棟　119
ユニバーシティ・ハウス青葉山2号棟　120
ユニバーシティ・ハウス青葉山3号棟　121
ユニバーシティ・ハウス青葉山4号棟　122
ユニバーシティ・ハウス青葉山5号棟　123
ユニバーシティ・ハウス青葉山6号棟、インタラクション棟　124
守衛所　114



4 星陵キャンパス

●土地：179,214㎡ ●建物：334,620㎡（2023年5月1日現在）

医・歯学部、病院

病院　〒980-8574　仙台市青葉区星陵町1-1
医学部・医学系研究科　〒980-8575　仙台市青葉区星陵町2-1
東北メディカル・メガバンク機構　〒980-8573　仙台市青葉区星陵町2-1
歯学部・歯学研究科／加齢医学研究所　〒980-8575　仙台市青葉区星陵町4-1
電話番号案内　022(717)7000



医学部・医学系研究科
- 事務室　32
- 医学部0号館　34
- 医学部1号館　32
- 医学部2号館　38
- 医学部3号館　39
- 医学部4号館　31
- 医学部5号館　28
- 医学部6号館　27
- 保健学科A棟　20
- 保健学科B棟　19
- 保健学科C棟　24
- 保健学科D棟　21
- 教育研究基盤支援棟　25
- フロンティア研究棟　22
- プリオン研究実験棟　45
- 動物実験施設　46
- 実習講義棟　33
- 臨床講義棟　35
- 創生応用医学研究センター　28
- オートプシー・イメージングセンター　19
- 環境遺伝医学総合研究センター　27
- オープンイノベーション事業戦略機構　28
- 総合地域医療研修センター　49
- 東北大学クリニカル・スキルスラボ　49

歯学部・歯学研究科
- 事務室　14
- 歯学基礎研究棟　15
- 歯学実習講義棟　16
- 歯学臨床研究棟　14

歯学先端教育支援棟　17

薬学研究科
- 研究室　27

医工学研究科
- 研究室　6 14 25 27 30 31 32 38 39
- 医工学実験棟　30

加齢医学研究所
- 事務室　5
- 加齢研実験研究棟　6
- プロジェクト総合研究棟　5
- スマート・エイジング研究棟　7
- ブレインイメージング研究棟　8
- ブレインダイナミクス研究棟　9
- 腫瘍動物実験棟　10
- 先進フロンティア研究棟　11
- 先端医療実験棟　12
- 動物資源実験棟　13

附属図書館　医学分館　37

病院
- 事務室　36 39
- 外来診療棟　36
- 中央診療棟　43
- 西病棟　40
- 東病棟　41
- 臨床研究推進センター　44
- 先端医療技術トレーニングセンター　29
- 星陵レジデンス　18
- 先進医療棟　42
- 臨床検査棟　50
- PET検査棟　51

動物・遺伝子実験支援センター　48
東北メディカル・メガバンク棟　26
RI星陵サブセンター　47
星陵学生サークル棟　1
星陵体育館　2
弓道場　3
看護師宿舎　4
星陵会館（厚生施設）医学部開設百周年記念ホール一星陵オーディトリアム　23
医学部艮陵会館　49


星陵キャンパス

東北大学概要 2023

［編集・発行］
2023年9月
東北大学総務企画部広報室
〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1
Tel.022-217-4977

http://www.tohoku.ac.jp/

